

名古屋大学医学部保健学科

教 育 ・ 研 究 年 報

第13卷



*Annual Report
of
Nagoya University School of Health Sciences*

2010

名古屋大学医学部保健学科

教育・研究年報

第十三卷(二〇一〇)

目 次

| | |
|----------------|-----|
| 1. 各専攻の教育・研究活動 | 1 |
| 2. 公開講座 | 21 |
| 3. 業績 | 27 |
| 看護学専攻 | 29 |
| 放射線技術科学専攻 | 61 |
| 検査技術科学専攻 | 83 |
| 理学療法学専攻 | 103 |
| 作業療法学専攻 | 123 |

1. 各専攻の教育・研究活動
(平成21年度)

看護学専攻

看護学専攻における教育の目標は、学部教育では看護専門職を総合的に理解し、教育・指導できる幅広い教養と知識を身につけた人材の育成である。看護学教育内容においては看護教育学や看護研究法を充実し、将来を担う教育・研究者の育成を目指している。大学院医学系研究科博士前期課程では、専門看護師認定制度も視野にいた高度専門職業人の育成、国際的視野で教育・研究できる実践活動の蓄積と修了後はさらに専門職として社会に寄与できる人材の育成を目標としている。さらに、博士後期課程では、教育・研究・実践活動で得た新規性を備えた創造的かつ先駆的な研究者の育成と様々な看護課題について多角的な問題解決法を看護モデルに基づいた視点と立場で解明できることを目指している。平成16年度より、国立大学法人における中部地区唯一の看護学博士前期・後期課程教育システムを備えた大学として、その責務を果たすために、①看護学専攻における重点課題の明確化、②看護学研究課題の共有化・独自性の確保、③他専攻、他分野との合同研究推進（トータルヘルスプランナー育成や高度専門医療の実践家養成）に取り組んでいる。

1. 運営

1) 教員の構成

専攻は4講座（基礎看護学、臨床看護学、発達看護学、地域・在宅看護学）で構成、運営している。教員数は基礎看護学講座9名、臨床看護学講座9名、発達看護学講座8名、地域・在宅看護学講座8名の34名である。教育内容や教育方法の向上及び研究の活性化は教員の責務である。

2) 運営の執行状況

教育・研究の円滑な推進のために看護学専攻教授会・看護学専攻大学院委員会・看護学専攻会議（全教員）は定例で月1回開催し、必要に際して臨時にも開催している。教育に関連する諸課題や学生指導に関する諸問題、予算措置などについて検討し、先見をもって対処できるように努めている。また、効果的な実習を行うために附属病院看護部との専門委員会（附属病院看護部長・副部長はじめ看護師長全員と看護学専攻教員全員の出席による）を年数回、地域看護学領域、在宅看護学領域、助産学領域においても各実習施設との委員会を適宜開催、運営を行っている。

2. 教育活動

1) 学生について

平成21年3月、保健学科第7期生の卒業式が行われ、看護学専攻卒業生88名が社会人として巣立っていき、同年4月、新入生85名と編入生10名が入学した。更に、平成21年3月に医学系研究科前期課程17名、後期課程6名を送り出し、同年4月、前期課程18名（基礎看護学分野5名、臨床看護学分野9名、発達看護学分野4名）、後期課程6名（健康障害看護学分野4名、健康発達看護学分野2名）入学した。

2) ガイダンスについて

平成21年4月6～10日に、学部新入生（1年、編入生）および新2～4年生に対してガイダンスを行った。ガイダンスの内容は学習関係、学生生活および諸手続、図書・情報関係などである。同様に、大学院前期・後期新入生に対しては入学式後に学修関係、図書・情報関係についてガイダンスを行い、その後、教員や在学生在を交えて意見交換会を行った。

3) 新入生合宿研修

新入生に対する合宿研修は4月18日（土）～19日（日）の期間に愛知県青年の家（岡崎市）において実施し、新1年生、編入3年生、上級生、合宿担当教員等が参加した。合宿を契機に教員や上級生と交流をもち、看護学に関する事柄や学生生活での内容について意見交換や質疑応答を行った。

4) 感染対策

看護学専攻として専攻内感染対策委員会を中心に学生ガイダンスをはじめとして、感染予防における検査やワクチン接種等の指導・実践を行っている。また、実習における感染予防対策についても、看護部や病院の感染対策窓口

と有機的連携のもと、感染予防に努めている。

5) オープンキャンパス

平成21年8月7日(金)に大幸キャンパスで実施し、申込者数300名に対して来場者数は276名であった(対昨年度増減率148.3%, 対定員比3.07)。看護学専攻の教育の特色と卒業後の進路の説明、施設内見学、在校生による学校紹介およびQ&A コーナーを企画し、午前・午後ともに2時間ずつ実施した。アンケート結果より参加者の満足を確認でき、概略オープンキャンパスの目的を達成できた。

6) 博士前期課程(平成21年4月～平成22年3月まで)

平成21年度は16名が修士論文を提出し、学位を取得した。以下に学生名と論文題目を記す。

がん看護 CNS 教育においては平成19年3月に看護系大学協議会からコース認可され、臨床看護学分野の教員が中心になり教育を推進している。また、平成19年10月に文部科学省のプロジェクトに申請し、名古屋大学を中心とした東海がんプロフェッショナル養成プランがスタートし、特任講師として阿部まゆみ氏を迎え、がん看護領域の看護専門職養成を着実に進めている。

加えて、小児看護学領域における専門看護師養成コースの検討を開始した。

| 氏名 | 修士論文テーマ |
|-------|--|
| 赤川 陽子 | 葬祭業従事者の現状を踏まえた遺体管理における看護師の役割 |
| 赤松 園子 | 出生後に集中治療室へ緊急搬送された先天性疾患をもつ子どもの家族の体験 —先天性心疾患の子どもをもつ夫婦サブシステムに焦点を当てて— |
| 今川 良枝 | スーパーマーケットにおける笑い誘発を特化したストレス緩和プログラムの効果に関する検討 |
| 小野沙矢香 | 産褥早期の乳汁漏れに使用する母乳パッド内の細菌学的環境とセルフケア指針の検討 |
| 駒田 絹子 | 慢性腎臓病と動脈硬化危険因子との関連 |
| 川谷 陽子 | プレホスピタルケアにおけるフライトナースの外傷看護実践 —混沌から秩序を生み出す技— |
| 加藤 勝子 | 1歳6か月児健康診査における保護者の不安・ストレスの現状 —要観察の有無に着目して— |
| 杉浦 和子 | 臨床助産師の抱える倫理的問題とその類型化 |
| 杉田 淳美 | 放射線診療における看護師の知識と役割の実態について —放射線防護教育の視点から— |
| 柴田亜弥子 | 在宅移行困難事例に対するがん看護専門看護師の介入の視点 |
| 田中菜美子 | 看護者の認識を通じた新生児が亡くなる過程における母親の反応とその影響要因 —母性の特徴に注目して— |
| 則竹 宏美 | 痛み日記によるがん性疼痛マネジメントの効果に関する研究 |
| 濱本 律子 | 女性介護者の介護義務感と生活習慣および生活習慣病との関連 |
| 林 亜希子 | 外来がん化学療法患者の自己効力感に関連する要因—患者背景・有害事象・療養ニーズ |
| 廣畑加代子 | 緩和ケア病棟でがん看護に携わる看護師のワーク・エンゲイジメント |
| 山北奈央子 | 子どもを尊重した看護師と医療保育士との協働における両者の認識 |

3. 研究活動

各教員が現在取り組んでいる研究課題の一部を紹介する。

《基礎看護学》

- 太田勝正 教授：患者情報の共有における情報プライバシーの問題
緊急被ばく医療における看護のあり方に関する研究
地理情報システムを利用した地域保健データベースの構築に関する研究
- 藤本悦子 教授：看護技術の検証と開発
睡眠に関する研究
血流・リンパに関する研究
組織再生を促すドレッシング材の開発

- 玉腰浩司 教授：肥満をはじめとする生活習慣病の疫学的病態解明
胎内環境と成人期生活習慣病との関連
- 山内豊明 教授：看護におけるフィジカルアセスメント教育に関するアウトカム評価研究
医療事故防止対策に関する学際的探索研究
訪問看護実践に必要とされるアセスメント技能に関する研究
- 堀 容子 准教授：在宅における家族介護者の心身の健康に関する研究
スーパーマーケットにおけるヘルスプロモーション活動に関する研究
- 藤井徹也 准教授：看護技術教育における専門基礎知識に関する研究
看護技術の検証に関する研究
- 新實夕香理 助 教：患者情報プライバシーに関する研究
- 永谷幸子 助 教：体位変換時の判断と実施方法に関する研究
- 大島千佳 助 教：看護実践へ向けた新しい温罨法の開発

《臨床看護学》

- 安藤詳子 教授：緩和ケア病棟・緩和ケアチーム・在宅ホスピスに関連する研究
がんの集学的治療及び高度先端医療における看護に関連する研究
- 池松裕子 教授：心タンポナーデ患者の Dysphoria
- 河野由理 准教授：精神障害者の退院支援や地域ケアに関する研究
精神看護の技術および評価に関する研究
- 横内光子 准教授：救急看護、周手術期看護、災害看護に関するケアの方法論
医療システムシミュレーション
- 国府浩子 准教授：がん患者の意思決定支援に関する研究
乳がん看護領域に関する研究
- 會田信子 准教授：老年者のリハビリテーションと介護予防
模擬患者役市民の負担尺度開発と教育
- 竹井留美 助 教：ストーマ保有者とその家族に関する研究
- 永井邦芳 助 教：精神障がい者家族に関する研究
- 左合伸江 助 教：がん患者とその家族の支援に関する研究

《発達看護学》

- 浅野みどり 教授：アレルギーをもつ子どもと家族の QOL 向上（食物アレルギー，AD）
予防的育児支援に関する研究（広汎性発達障害の子どもを養育する家族への育児ライフスキルの促進，多胎児をもつ家族への支援）
- 鈴木和代 教授：ライフサイクルにおける性教育に関する研究
- 奈良間美保 教授：家族を主体とした医療者との協働による小児在宅ケアプランの実践とガイドライン作成
- 立岡弓子 准教授：女性のドメスティックバイオレンスに関する研究
- 田辺圭子 准教授：二世世間の母子健康手帳による妊娠出産経過の関連
IUGR 児の発育発達のフォローアップ研究
- 新家一輝 助 教：小児の入院と母親の付き添いが兄弟に及ぼす影響と支援
病気や障害をもつ子どもの兄弟への影響と支援
- 山口香苗 助 教：断乳が母子に及ぼす影響
- 赤尾さく美 助 教：途上国のへき地の看護師に対するフィジカルアセスメント教育の検討に関する調査研究

《地域・在宅看護学》

- 梶田悦子 教授：地域高齢者の大腿骨頸部骨折予防のための地域看護モデルの構築
エビデンスに基づいた骨粗鬆症予防対策の有効性評価
- 榊原久孝 教授：生活習慣病予防支援プログラムの開発
肥満と産業ストレスとに関する研究
生活習慣病予防の保健活動に関する研究
- 平井真理 教授：在宅医療におけるインターネット活用に関する研究
—インターネット対応心電計による伝送心電図等の応用—
- 前川厚子 教授：ストーマ保有者の生きる意欲に及ぼす WOC 看護の国際比較研究
小児炎症性腸疾患の発症に関与する因子の疫学的検討
- 吉田久美子 准教授：子ども虐待予防ネットワーク構築の検討
- 保利美也子 助 教：認知症ケアにあたる在宅介護者の支援に関する研究
- 岡村雪子 助 教：地域・老年看護学領域における研究
- 伊藤尚子 助 教：地域高齢者の健康管理に関する看護社会学的研究

4. 対外的な活動

1) 附属病院看護部との関係

- ①教員による臨床指導者研修講師を派遣し、有機的な連携をはかっている。
- ②ユニフィケーション委員会

看護の質の向上推進のため、看護部との円滑な協力関係をはかることを目的に、主任および基礎看護、臨床看護、発達看護、地域在宅看護各講座長、看護部からは看護部長、教育担当副看護部長、実習調整師長等が中心となり、隔月1回程度の委員会をもっている。

主な内容は病院における効果的な実習体制や方法、学生実習に対する感染対策、就職に関連すること等である。

③実習委員会

学部における実習全般に関する事項を取り扱い、学内外の調整を行っている。また、感染対策委員と協力して、学生の感染対策を強化するとともに、「事故発生時の対応経路」「事故、ヒヤリ・ハット報告書」の検討などを進め、事故対策の整備をすすめた。最近では個人情報保護に関連して検討を加えている。

2) 日本看護系大学協議会開催の研修会への出席

日本看護系協議会総会、看護教育ワークショップに看護教員が持ち回りで参加した。

5. 今後に向けての課題

- 1) 名古屋大学医学部保健学科看護学専攻として、看護師・保健師・助産師の養成プログラムについて吟味し、優秀な人材を社会に輩出すべく、教育内容を構築する。
- 2) 看護学博士前期・後期課程一貫教育の下に、新たな時代にふさわしい高度実践看護専門職と研究職を養成し、名古屋大学ブランドにおける新規性、独自性に富む研究成果を生み出す。
- 3) そのためには、看護学専攻全体が志を一つとして教育研究体制の大幅な改善を図っていきたい。

(主任：安藤詳子)

放射線技術科学専攻

放射線技術科学専攻、並びに、大学院医学系研究科・医療技術学専攻・医用量子科学分野における教育と研究の目標は、医療現場で使われている放射線を利用した種々の医療機器の原理や特性をよく理解し、その能力を最大限引き出すとともに、診断画像からの確かな情報を取り出したり、治療のため人体に的確に放射線を照射したり、また、医療放射線が人体に及ぼすかも知れない影響についての幅広い知識と応用力、さらには専門知識ばかりでなく豊かな人間性を合わせ持つ人材の育成、また、これらの人々を指導していく人材の育成である。一方、研究活動を通しては、将来、医療技術者、研究者、教育者として、日進月歩する医療分野の進歩を理解し、それに適応できるばかりでなく、自ら医療の進歩を創生することが出来る科学者の育成を教育・研究の目標としている。

1. 運営

放射線技術科学専攻（大学院医学系研究科・医療技術学専攻・医用量子科学分野を含む）は、基礎放射線技術学講座と医用放射線技術学講座の2つの講座より構成されている。教育・研究の目標を達成するためには講座単位ではなく専攻全体としての運営が必要であり、教育に関するさまざまな問題、教育研究費の予算配分等の運営は、毎月1回の専攻会議、並びに専攻教授会の合議に基づいて行われている。

2. 教育活動

学部教育：

平成21年度の新生学生は、新1年生が42名、3年次編入者は5名であった。2年生は40名、3年生は46名（編入生5名を含む）、4年生は49名（編入生5名を含む）で、4年生は12名の教員のもと、それぞれの研究室で卒業研究を行った。また、3年生以下の学生も、12名の教員が指導教員となり、勉学、生活の両面で指導を行っている。

診療放射線技師国家試験は卒業生42名が受験し、そのうち39名が合格した。編入生を含む卒業生46名の進路は、医療機関に35名、企業に1名、その他2名、大学院進学が8名であった。

学部教育は、専任教員による授業の他に、非常勤講師を招いた特別講義、臨床実習、臨床現場の見学（名古屋大学医学部附属病院をはじめ、学生の出身地や学生の希望就職病院など）、放射線管理に関連して原子力発電所の見学（中部電力浜岡原子力発電所）など、将来、医療あるいは生産現場で役に立つと思われる教育活動が行われている。

大学院教育：

平成14年に大学院医学系研究科・医療技術学専攻が創設され、平成21年度は、博士課程前期課程1年15名、2年13名、博士課程後期課程1年1名、2年6名、3年7名の計42名であった。前期課程の最終年度にあたる学生13名が修士論文を提出し、修士の学位を取得した。以下、学生名と修士論文題目を記す。

| | |
|------|---|
| 阪井洋平 | 診断領域 X 線での後方散乱解析におけるイメージングプレートの応用 |
| 藤原敦代 | 拡散方程式に基づく X 線画像の雑音除去法に関する検討 |
| 石山貴規 | カオス理論に基づく X 線デジタル画像の画質評価 |
| 江本裕樹 | 頭部血管撮影検査での患者被ばく線量解析におけるモンテカルロシミュレーションの応用 |
| 加藤友理 | 位相コントラストマンモグラフィ（PCM）のエアギャップ効果における画質特性の検討 |
| 川浪亮太 | Gafchromic EBT 2 Film に対する基礎的検討 |
| 中條裕貴 | モンテカルロシミュレーションを用いた胸部一般撮影におけるフィルタリング最適化の検討 |
| 中曾裕子 | マンモグラフィでの平均乳腺線量解析におけるモンテカルロシミュレーションの応用 |
| 羽原幸作 | 外部放射線治療における腫瘍位置確認用金マーカーの散乱線による影響の基礎的検討 |
| 堀真由美 | 超音波診断装置に搭載されている液晶モニタの輝度特性に関する研究 |
| 真野祥代 | 乳腺超音波画像における後方エコーの歪みに基づく組織性状の判定に関する研究 |
| 安井啓祐 | 192-Ir 線源を用いた表在性病変への均一照射の基礎的検討 |

後期課程の最終学年にあたる 7 名のうち 2 名が博士論文を提出し、博士の学位を取得した。以下、学生名と博士論文題目を記す。

藤井 啓輔 成人および小児 CT 検査における患者の被ばく線量と放射線防護に関する研究
林 直樹 定位放射線治療専門機を用いた定位放射線照射の空間的不確かさに関する研究

3. 研究活動

当専攻の教員は幅広い専門分野を研究領域としているため、個々の教員が独自の研究活動を行っている。一部にグループによる研究活動、専攻以外との共同の研究活動も行っている。以下には各教員の研究領域を示し、外部と協力して実施している研究活動の一部を示す。

青山 隆彦 教授：小型の電子式線量計を多数組み込んだ人体等価ファントム被ばく線量計測システムの開発。各種医学診断 X 線による成人および小児の被ばく線量の測定・評価と、その放射線防護に関する研究。

池田 充 教授：関数解析学を応用した医用画像における画像処理・雑音解析に関する研究。ROC 解析の手法に関する研究。

石 博 信 人 教授：PET 施設における職業被ばくの実態とその低減法。内部被ばく線量評価手法の開発：(a) 体外計測装置の校正方法、(b) 種々の経路により摂取された放射性核種の体内挙動の計算シミュレーション。

伊藤 茂樹 教授：マルチスライス CT を用いた画像診断技法の開発とその臨床応用。腹部（特に肝胆膵領域）の画像診断。胸部（特に肺癌）の画像診断。心血管系の画像診断。vascular interventional radiology.

今井 國治 准教授：数理統計学及び情報理論を用いた CAD のための画質評価法の構築。高電圧下における誘電・絶縁材料の放電劣化・破壊現象に関する研究。

緒方 良至 助教（学部内講師）：水素同位体分離に関する研究。環境放射能の測定—特に環境レベルのトリチウムの測定に関する研究。放射線取扱施設の安全管理に関する研究。PET サイクロトロン周辺の放射化に関する研究。PET サイクロトロン室内外の中性子束の測定に関する研究。¹⁸O 水の純化処理時の空気中トリチウム濃度に関する研究

小幡 康範 教授：原体照射法。生物学的線量評価法・治療領域線量測定法。

川浦 稚代 助教（学部内講師）：人体ファントム計測システムを用いた医療被ばくの測定・評価。日本人乳幼児人体ファントムの開発。動態解析に基づいた寄生線虫の環境応答に関する研究。

加藤 克彦 教授：脈絡膜悪性黒色腫および皮膚原発悪性黒色腫における¹⁸F-DOPA PET/CT、¹²³I-IMP SPECT、¹⁸F-FDG PET/CT の診断能の比較に関する研究。¹⁸F-FDG PET/CT における膵癌、腫瘍形成性膵炎の鑑別に関する研究。¹²³I-IMP を使用した SPECT 検査における新しい低侵襲性脳血流定量測定法の確立に関する研究。¹¹C-choline PET/CT による動脈のアテローム硬化病変の予測診断に関する研究。

小寺 吉衛 教授：医用画像の評価法の開発。検出器、表示系を含む医用画像の解析・評価。画質の向上と被曝線量の低減を目的としたデジタル画像処理。3次元画像表示システムの開発。

小森 雅孝 准教授：放射線治療における線量分布評価に関する研究。粒子線治療における照射野形成法に関する研究。

小山 修司 講師：診断領域 X 線の計測法の研究。医学における知能情報学の応用。X 線 CT の患者・術者の被ばく線量計測。診断領域 X 線のエネルギー計測。マンモグラフィにおける線量計測。

島本佳寿広 教授：乳腺・甲状腺の画像診断における、特に超音波による悪性腫瘍の診断に関する研究。フィルムレス読影の診断能に与える因子を明らかにし、診断能に悪影響を与えないモニタの基準、読影環境、端末の操作性等を確認する研究。画像診断をすすめる際の診断論理過程を明らかにするとともに、診断医の判断の再現性と一致度を解析することにより、その診断論理の妥当性を検証する研究。

下郷智弘 特任助教：放射線治療領域の放射線計測法に関する研究。治療領域 X 線スペクトルの数値解析算出法に関する研究。

津坂昌利 准教授：術中 MRI を用いた脳外科手術ナビゲーションシステムの精度に関する研究。医療用液晶モニタの画質評価。診断用 X 線スペクトル測定とその応用に関する研究。IT 活用による医療技術者教育システムの開発。高速画像ネットワークの技術開発と応用。暗号化通信技術の遠隔医療への応用。

成田憲彦 助教：骨密度測定に関する研究。放射線被ばく線量評価に関する研究。

福山篤司 助教（学部内講師）：脳血管疾患の画像診断において、MRI を用いた血管内血流速度の研究。CR 装置を応用したデジタル化技術の開発とその有用性に関する研究。

本間光彦 助教（学部内講師）：放射線治療領域における放射線計測法に関する研究。CR の応用利用法。人体解剖実習前の X 線撮影に関する研究。放射線カウンセリング。

4. 対外的な、または社会に関わりある活動

- 1) 国際放射線防護委員会 (ICRP) 第2専門委員会委員および内部被ばく線量評価に関するタスクグループ「INDOS」委員として、ポルトでの ICRP 第2専門委員会会議、オタワでの INDOS2009年会議に出席する等、第2専門委員会の刊行物の原稿執筆に専門家の立場から参画した（石樽）。
- 2) 文部科学省放射線審議会委員および同審議会基本部会委員として、関係府省における放射線障害の防止に関する技術的基準の斉一化に関する審議に専門家の立場から参画した（石樽）。
- 3) 内閣府原子力安全委員会放射線防護専門部会委員として、原子力の安全確保に関する専門の事項の審議に専門家の立場から参画した（石樽）。
- 4) 経済産業省原子力安全・保安院総合資源エネルギー調査会ウランクリアランスレベル検討ワーキンググループ委員として、クリアランス制度の整備に関する審議に専門家の立場から参画した（石樽）。
- 5) 独立行政法人放射線医学総合研究所物理学的線量評価ネットワーク会議委員として、原子力災害・放射線被ばく事故時における国としての迅速な線量評価体制の整備および技術上の指針に関する審議に内部被ばく線量評価の専門家の立場から参画した（石樽）。
- 6) 一般社団法人日本 IHE 協会理事として、会の企画・運営に関わった（小寺）。
- 7) 社団法人日本放射線技術学会会長として学会運営を行うとともに、春（横浜市）と秋（岡山）の学術大会、学会誌（年12冊）、英語論文誌（年2冊）、放射線技術学関係の叢書、教科書の発刊ならびに3回の市民公開シンポジウム「暮らしの中での放射線、医療放射線ってなんだろうー知って、学んで、理解しようー」（平成21年度文部科学省科学研究費補助金研究成果公開促進費補助事業）：千葉市、「認知症の診断から治療の最前線」：岡山市、「前立腺の診断と治療の最前線」：京都市などを企画、開催した（小寺）。
- 8) 有限責任中間法人日本ラジオロジー協会（JRC）の副理事長として、横浜市で開催された JRC2009の企画・運営に関わった（小寺）。
- 9) 社団法人日本原子力産業協会中部原子力懇談会の放射線専門部会委員として、11月12日、静岡県立科学技術高等学校において、放射線について理解を深めるための講義と実験による「出張授業」を行った（青山）。
- 10) 社団法人日本生体医工学会の実施する第2種 ME 技術実力検定試験・試験委員長として、試験問題の作成、試験を実施した（津坂）。
- 11) 有限責任中間法人日本医療情報学会の実施する医療情報技師検定試験において、試験委員として問題作成と試験の運用を行った（津坂）。

- 12) 日本医療機器学会の実施する MDIC（医療機器情報コミュニケーター）認定制度において、第 2 回 MDIC 認定セミナー講師、および第 1 回 MDIC 検定試験の試験委員として問題作成と試験の運用を行った（津坂）。
- 13) 放射線取扱主任者中部支部委員として、支部活動の企画・運営にあたった（緒方）。
- 14) 応用物理学会プログラム編集委員として春季および秋季に行われる応用物理学会放射線分科会のプログラム編成に従事した（緒方）。
- 15) 2月20日、放射線取扱主任者定期講習において、使用施設の安全管理に関する項目の講師を勤めた（緒方）。
- 16) 4月19日、日本ラジオロジー協会主催の小学生高学年および中学生を対象とした「キッズセミナー」において「霧箱の作製およびはかるくんによる測定」に関する講師を務めた（緒方）。
- 17) 5月18日、日本アイソトープ協会主催の第21回教育訓練講習会講師として密封 RI の安全取扱に関する講義を担当した（緒方）。
- 18) 10月23日、電子科学研究所主催の X 線作業主任者受験講習会において X 線の測定に関する項目で講師を務めた（緒方）。
- 19) 10月31日、愛知・岐阜・三重地区の小中高校教諭を対象としたエネルギー・環境・放射線セミナーにおいて講師を務めた（緒方）。

（主任：青山隆彦）

検査技術科学専攻

本専攻は、高度に専門化した医療に対応できる基礎力と応用力を備え、かつ医療人として不可欠な倫理観に裏付けられた豊かな人間性を備えた臨床検査技師、さらに検査技術科学を学問として追及する教育・研究者を育成することを目的としている。病態解析分野は、環境病因解析学、病態化学解析学、病因病態解析学、生体生理解析学、形態情報解析学、分子病態解析学の6領域からなり、先端的研究、学際的な病態解析、技術開発を進めるとともに、先端医学につながる病態解析学研究を遂行できる能力の育成、指導的立場に立つのに必要な高度な専門知識・技術を有する人材を育成することを目的としている。

1. 運営

本専攻は2つの大講座（基礎検査学講座と病因・病態検査学講座）によって構成されているが、講座の壁をなくし、専攻が一丸となって運営している。専攻の運営は全教員が参加する専攻会議の決定に従って行われた。専攻会議は第1と第2水曜日の12時および第4水曜日の17時から開催された。

2. 教育活動

- 1) 4月に第12期の入学生43名（推薦入学生17名、前期日程入学生26名）を迎えた。
- 2) 4月の新入生ガイダンスには専攻主任、学生生活委員、教育委員、教員と1年生全員が参加し、専攻の教育と学生生活のガイダンス、教員の紹介、指導教員の紹介、学生の自己紹介などが行われた。
- 3) 4月の第10期編入生（入学生3名）ガイダンスでは専攻主任、学生生活委員、教育委員が教育と学生生活、教員紹介、研究室紹介、研究指導教員などについて説明した。
- 4) 4月22日には検査技術科学専攻の2年生が中心になって教員と共に新入生歓迎会を大幸厚生会館にて開催した。
- 5) 8月26日に第9回大学院医学系研究科医療技術学専攻病態解析学分野（博士前期課程）の入学試験を実施し、15名の合格者を決定した。また、27日には第7回の大学院同（博士後期課程）の入学試験を実施し、3名の合格者を決定した。
- 6) 8月に第11回の3年次編入試験を行い、3名の合格者を決定した。
- 7) 5月に第9期生の臨地実習を充実させることを目的に医学部附属病院検査部の教員および技師との合同会議（臨床検査専門委員会）を開催した。
- 8) 平成22年3月には本専攻の第9期生の卒業生として、編入生を含め43名を社会に輩出した。そのうち10名が大学院博士前期課程へ進学し、就職希望の33名は主に国公立大学病院、公私立病院等の検査部に就職し、就職率は100%であった。
- 9) 第9期生の第56回臨床検査技師国家試験（平成22年2月24日）の準備として全教員による教育指導と4回の模擬試験を実施した。9期生の第56回臨床検査技師国家試験合格率は97.5%であった。

3. 研究活動

本専攻では4月5日に博士前期課程に5名の第8期生、博士後期課程に5名の第4期生を迎えた。8月19日に5名のD3院生による第4回大学院医療技術学専攻病態解析学分野博士後期課程研究発表会（予備審査会）を行った。平成22年1月24日に第4回の病態解析学分野博士前期課程研究発表会（修士論文発表会）を開催し、前期課程・第7期生14名が発表した。学部関係では5月23日に第9期生による卒業研究発表が開催された。以下に各講座における卒業研究発表内容を示す。

【血液系（分子病態解析学）】 担当教員：村手 隆、小嶋哲人、高木 明

1. 血清除去によって誘導される Sphingosine kinase 2 発現の増加機序
2. フレンド赤白血病細胞株の分化における SPHK 1, 2 の役割
3. TGW 細胞における SPHK 1 に依る GAP-43発現機序および関連転写因子の解析
4. 血清除去培養下での SH-SY 5 Y 細胞における酸性セラミダーゼ (ACDses) の発現増加

5. プロテイン C 欠損症の遺伝子解析
6. 先天性アンチトロンビンの遺伝子解析
7. 血小板無力症患者における遺伝子異常解析
8. 血友病 A 症例における FVIII 遺伝子解析
9. 血友病 B 患者 6 症例における FIX 遺伝子解析

【分析系（病態化学解析学・環境病因解析学）】 担当教員：高木健三、涌澤伸哉、高木健次、近藤高明、上山 純

1. フラボノイドの構造による HO-1発現誘導能の差と抗アレルギー作用の相関
2. Footprint 法を用いた足底接地面積計測による扁平足判定基準の設定
3. 非喫煙成人女性での尿中コチニン値と受動喫煙との関連
4. 健常成人集団での血清カロテノイド値の分布と関連要因
5. 健常成人集団での血清カロテノイド値と骨密度との関連
6. 鉄過剰負荷による MAPK/ERK の活性化と細胞内グルタチオン減少の関連性
7. ヒトの主要胆汁酸による細胞内グルタチオンの減少とウルソデオキシコール酸の抑制作用
8. ジアゾカップリング法による γ -glutamyl transpeptidase 活性測定法の検討
9. ヒト尿中殺虫剤代謝物濃度を用いた生物学的モニタリングに及ぼす採尿方法の影響
10. ピレスロイド系殺虫剤代謝物のグルクロン酸抱合に関与する UDP-グルクロン酸転移酵素 (UGT) 分子種の同定
11. ペルメトリンおよび代謝物の体内動態に及ぼす有機リン系殺虫剤混合暴露の影響

【病理系（形態情報解析学）】 担当教員：長坂徹郎、橋本克訓

1. 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) における肺・気管支病変の病理組織学的、形態計測的解析
2. 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) における肺血管病変の病理組織学的、形態計測的解析

【免疫・微生物系（病因病態解析学）】 担当教員：川部 勤、川村久美子、松島充代子

1. 腺癌細胞の中間径フィラメントの発現に及ぼす過酸化水素の影響
2. 尿路病原性大腸菌における基質特異性拡張型 β -ラクタマーゼ産生菌の動向とその解析

【生理系（生体生理解析学）】 担当教員：古池保雄、永田浩三、野田明子

1. Dahl-S/Slc-fa/fa ラットの基本病態の検討（♀編）—ヒトのメタボリック症候群の優れたモデルとなり得るか？—
2. Dahl-S/Slc-fa/fa ラットの基本病態の検討（♂編）—ヒトのメタボリック症候群の優れたモデルとなり得るか？—
3. 副腎摘出 Dahl 食塩感受性ラットにおけるグルココルチコイドの血圧及び心血管系への効果の検討
4. 健常人における睡眠時の自律神経活動解析
5. 下肢振動による自律神経活動への影響
6. 健常人における伏臥位が生理機能へ及ぼす影響
7. 閉塞性睡眠時無呼吸症候群における側臥位睡眠効果
8. 中高年健常人における弁逆流
9. 地域住民における睡眠障害に関する検討

4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

A) 国際交流

村手 隆教授は 9 月に第 50 回 International Conference on the Bioscience of Lipid (Regensburg, Germany) にて 2 題の保健学科での研究成果を発表した。

小嶋哲人教授は、7 月にボストン・コンベンション&エキシビション・センター（米国）で開催された第 22 回国際血栓止血学会 (ISTH) に出席し、保健学科における指導大学院生 2 人（後期課程 3 年・山田貴之、前期課程 2 年・鈴木敦夫）によるポスター演題を共同演者として発表した。前者は Young Investigator Award と Top Third Award を、後者は Top Third Award をそれぞれ受賞した。また、Genetics of Venous Thrombosis II の Oral session での Chairperson を務め、演題に関する討論を通じた国際交流活動を行った。

川部 勤教授は、5 月に米国胸部疾患学会 (American Lung Association/American Thoracic Society, San

Diego) で2 演題の発表を行い、9月に欧州呼吸器学会議 (European Respiratory Society, Vienna, Austria) で2 演題の発表を行った。また7月には東京で開催された19th Congress of Interasthma Japan North Asia で1 演題の発表を行った。

B) 大学間交流—国立大学臨床検査技師教育協議会—

平成21年度は弘前大学医学部保健学科を会長校として、4月24日(金)に第46回国立大学臨床検査技師教育協議会が開催された(出席者:村手教授)。主な議題:1) 役員の選出について、2) 平成21年度予算案について、3) 臨床検査技師養成校における教員の基準定員について、4) 3年時編入学制度について、5) 指定科目およびその授業科目の実施内容の見直し、6) その他として国立大学臨床検査技師教育協議会国家試験問題基準検討委員会要綱の改正について審議した。承合事項としては、1) 臨床教授、臨床準教授の制度について、2) その他などを話し合った。

C) 地域との連携

古池保雄教授は、野田助手とともに平成11年から睡眠外来を継続し、学会認定技師の資格取得を可能にすべく、本学の検査技術科学の教育研究の向上への努力を継続している。また、東海地区の検査技師技術向上を目指して脳波検討会(中部脳波検討会)を定期的に開催し、さらに、「名古屋臨床脳波検討会」、「東海パーキンソン病研究会」、「自律神経懇話会」などの研究会継続に努力している。

高木健三教授は、愛知・岐阜在宅酸素療法研究会の会長、東海喘息研究会および愛知成人喘息研究会の代表世話人として活動した。また、日本アレルギー協会理事(東海支部長)として、東海4県のアレルギー週間行事を統括するなど地域社会への啓発活動を推進している。

村手 隆教授は、愛知県特定疾患認定審査会議委員として申請書類の審査に関わった。

長坂徹郎教授は、専門である婦人科腫瘍の病理診断学の立場から、婦人科腫瘍を中心に病理診断のコンサルテーションを行い、婦人科領域の診療・研究に貢献した。また、1月からは日本婦人科病理学会の理事長に就任し、会の設立、運営に携わった。日本臨床細胞学会東海連合会幹事として運営に携わり、臨床検査技師、細胞検査士の育成、生涯教育に貢献した。

小嶋哲人教授は、愛知県特定疾患研究協議会において血液凝固異常症調査研究ならびに門脈血行異常症調査研究を行った。

高木健次准教授は、名古屋市を中心とした愛知県下にある殺虫剤、殺鼠剤、シロアリ防除剤などの薬剤を取り扱う作業集団の薬剤曝露による健康影響の調査・研究を平成21年8月および平成22年2月に行った。本活動は中小企業の産業保健のあり方及び労働衛生管理において有用な成果を提供した。

近藤高明教授は、犬山市健康プラン推進委員会に学識者委員として出席し、助言を行った。愛知県職員に対しては健康管理アドバイザーとして2回の講演を行った。2月と8月には愛知県内の防虫作業従事者を対象とした撒布作業に関連する特殊検診に調査員として参加した。さらに8月には北海道八雲町での生活習慣病リスク調査のフィールド調査に参加し、結果を学術的にまとめるとともに地域住民の健康増進に還元した。この活動について、10月に開催されたホームカミングデーでの市民向け講演で報告した。その他、岩倉市や尾張旭市で行政が主催する市民向けの講演や健康相談事業に協力した。学内では大幸医療センターで自由診療外来を担当し、ピロリ菌検査希望者に対する除菌治療を行い、除菌薬代謝酵素に関連する遺伝子多型の判定結果を用いた除菌効果の向上に努めた。また検査技術科学専攻のホームページ管理を担当し、情報公開に寄与した。

永田浩三准教授は10月に日本内科学会東海支部主催第209回東海地方会において循環器4の座長をつとめた。2010年3月に第74回日本循環器学会総会・学術集会においてPoster Session (English) 060 (M) 「Heart Failure (Basic) 3」の座長をつとめた。

川部 勤教授は、松島充代子助教とともに平成18年度から開始した平野眞一前総長、濱口道成総長をプロジェクト統括責任者とする文部科学省先端融合領域イノベーション創出拠点の形成「分析・診断医工学による予防早期医療の創成」に研究分担者として参加した。名古屋大学大学院工学研究科本多裕之教授、日本ガイシ株式会社とともにアレルギー診断用ペプチドアレイを作成するチームの医学部側代表として医療のニーズと基礎免疫学的な考え方を工業製品に結び付けるための模索を行った。また、名古屋大学大学院工学研究科式田光宏准教授と気管支内呼吸

吸気計測を実現するカテーテル型流量センサの開発を、さらに大阪大学大学院工学研究科西澤典彦准教授と HOYA 株式会社 PENTAX ライフケア事業部と共同研究のもと胸腔鏡に応用可能な OCT システムの構築を行っている。このように新規の検査器機の開発を通して医工・産学の研究者とともに共同研究を行い、検査技術科学の発展への努力を継続している。3月に第9回名古屋呼吸器領域卒後専門教育セミナーのプログラム委員として、喘息・アレルギー領域のセミナーを企画実行した。名古屋市公害健康被害認定審査会ならびに愛知県公害健康被害認定審査会委員として地域の健康管理に参加した。また、東海分子呼吸器研究会、東海喘息研究会、東海成人喘息研究会、呼吸器疾患研究会等の世話人として呼吸器・アレルギー疾患の基礎ならびに臨床研究の活性化に尽力した。また、5月には愛知県保険医協会主催の内科臨床研究会で、11月に名古屋市東区医師会で講演を行った。

高木 明助教 / 学内講師は、血液凝固検査に関する研究会・東海 KOAG 研究会の代表幹事として活動し、4月の第10回東海 KOAG 研究会において特別講演 I 「生活習慣病と血栓」、特別講演 II 「DIC の臨床と血液検査」の座長を務めた。11月には愛知県臨床衛生検査技師会 遺伝子染色体検査研究班の講演会「遺伝子学的解析手法を用いた研究室におけるトピックス」において、重症血友病 A に見られる遺伝子逆位の新解析法について講演し、臨床検査技師の卒後教育に貢献した。

(主任：涌澤伸哉)

理学療法学専攻

本専攻の教育・研究目標は、高度医療・技術を支える豊かな人間性の形成を基本とし、理学療法に必要な基礎・臨床医学的知識を身体機能と障害の観点から再編して体系化し、機能と障害を生体の情報として分析・評価し、それらの回復や予防への科学的関連づけを可能にすることである。これにより新たな理学療法を理論的に構築し、より高度な知識と技術を身に付けた理学療法士を養成するとともに、最近必要性が高まりつつある健康医科学領域への道を拓き、さらに高齢社会に対応できるよう地域や高齢者に対する理学療法を強化する。さらには、理学療法研究を通じて理学療法学を実証的の学問として確立し、医療の場、教育の場、地域において指導的役割を果たすことができる教育・研究者の養成を目指すものである。

本専攻は、東海地区では唯一の博士課程を有する理学療法士の教育・研究機関である。博士課程の専攻はリハビリテーション療法学専攻であり前期と後期課程からなる。前期課程は理学療法学分野と作業療法学分野に分かれるが、後期課程は2分野には分かれずリハビリテーション療法学専攻のみである。前期、後期課程とも大学院生が活発な研究活動を展開している。

1. 運営

本専攻は基礎理学療法学講座と病態理学療法学講座の2大講座から構成されているが、専攻運営は、講座の壁をはずし全教員（総数10名）による専攻会議（毎週水曜日12時から開催）における協議・決定にしたいがが進められている。さらに、学部運営では関係の深い作業療法学専攻との両専攻会議（毎月第3水曜日）を行い、また大学院の運営に関しては関係教員によるリハビリテーション療法学教員会議（毎月第1水曜日）を行っている。

- (1) 基礎理学療法学講座：理学療法研究の基礎となる知識や技術を開発・発展させるための生体の構造と機能に関連づけた体系的な基礎教育、身体運動からみた人体機能の体系的教育、機能と障害に重点を置いた臨床医学実践の基盤となるような基礎（医学）教育、機能異常や障害を病態として把握し的確な分析・評価能力を培う教育を実践しつつ、それらを裏付けるための研究を推進している。
- (2) 病態理学療法学講座：理学療法の実践に必要な科学的知識と技術を発展させるため、経験や感覚に頼りがちな生体反応の認識を生体情報として定量的に評価すること、障害を機能的に分析し理学療法の適用との理論的関連を追求すること、またそれらを通して障害からの回復のための治療法・障害の予防方略などに科学性を持たせることを目標とし教育・研究を行っている。

これらの教育・研究を実践するため、全教員が基礎的テーマと臨床的テーマをできるだけ合わせ持つようにして、研究を推し進めている。

2. 教育活動

学部生としては、4月に保健学科理学療法学専攻第12期生として22名の学部学生を迎え入れた。選抜方法による内訳は、推薦入学7名、前期日程試験入学15名、性別では男子学生9名、女子学生13名であった。また、国立大学としては初めての試みである2年次編入に合格した学生3名が加わった。大学院には、前期課程に10名（一般選抜9名）、後期課程に3名が入学した。こうして、理学療法学専攻としての学生数は、1年生22名、2年生23名、3年生23名、4年生24名、大学院博士前期課程リハビリテーション療法学専攻理学療法学分野の1年生10名、2年生10名、後期課程のリハビリテーション療法学専攻理学療法学関係は1年生3名（一般選抜1名）、2年生2名（一般選抜1名）、3年生2名（一般選別1名、社会人特別選抜1名）となった。

新学期には4月5日(日)に入学式、編入2年生に対する編入ガイダンス、大学院生ガイダンス、6日(月)に新入生、編入3年生および在校生（各学年）ガイダンスをおこなった。また、作業療法学専攻と共同で、全教員との顔合わせと新入生に対して学生生活のガイダンスを行った。在校生ガイダンスでは、共通科目については理学療法学専攻・作業療法学両専攻合同で、専門科目については理学療法学専攻単独で、各学年別に1時間ずつを使い、本年度のカリキュラムの説明、学生生活のルールの再確認を行った。これらにより、本専攻に所属する学部学生、大学院生のすべてに対して、カリキュラムの説明、学生生活のルールの説明・再確認がおこなわれた。説明は主任、教育委員、学生生

活委員、授業担当教員が担当した。

4月18日(土)には、専攻内での新入生歓迎会を行った。新2年生が幹事となり、土曜日半日を使い、在校生、新入生、教員が参加し、全員の自己紹介、懇親会(大幸厚生会館)を通じて人間的交流・連携の強化を達成した。

4月中旬から臨床実習Ⅱ、Ⅲが始まる4年生に対し、各教員が臨床実習に必要な項目についての学内実習をおこない、4月20日(月)から実際の医療機関での臨床実習が始まった。この実習は各種疾患を観察し、臨床実習指導者のもとに基本的評価および理学療法プログラムの作成を目的としている。学生は多くの不安を抱きながら、実習先に向かったが、5週ごとの反省会で、種々の問題点などが指摘されながらも、全員無事この実習を終えることが出来た。4年前から開始した臨床実習前の学内実習もあって、各学生とも実りの多い臨床実習を経験できたものと思われた。臨床実習は7月3日(金)に終了した。4年生は7月6日(月)に臨床実習反省会とともに、地域理学療法学実習のガイダンスをおこなった。地域理学療法学実習は訪問理学療法の実際を見学できる貴重な実習である。

医学部主催の人体解剖トレーニングセミナーで解剖されたご遺体が提供された。学生にとっては人体構造と機能の理解を深めるとともに、ご遺体に対する感謝の念を通して人の命の尊厳を考え、将来の医療人としてのあり方を考えるよい機会となった。

8月25日(火)には平成22年度2年次編入学、26日(水)には大学院博士前期課程、27日(木)には同、後期課程の入試を実施し、2年次編入に3名、リハビリテーション療法学専攻博士前期課程理学療学分野に10名(一般選抜8名、社会人特別選抜2名)、博士後期課程理学療法学関係に3名(一般選抜2名、社会人特別選抜1名)が合格した。

9月30日(水)には博士後期課程の論文発表会(予備審査会)が本館第5講義室で行われ、理学療法関係からは3名の学生が発表した。

学年を超えた学生間、学生と教員が密に交流する機会として、1泊2日の日程で岐阜県多治見市の文化施設「地球村」へ出かけて講演会、親睦会、バーベキューを楽しんだ。これには約70名の学生が参加し、専攻の絆を深めた。

後期授業では4年生の卒業研究の後半部分が再開され、11月25日(水)に本館第1講義室において最終発表会が開催された。22題の発表があり、教員ならびに在学生との活発な討論が交わされた。1、2年生にとっては将来の自身の研究の参考になったと思われる。また、3年生の卒業研究中間発表会は平成22年3月12日(金)に本館第2講義室で行われた。合計23題の発表があり、1、2年生からの質問も多く、活発な発表会となった。中間発表会終了後に、3年生に対し大学院ガイダンスと就職ガイダンスがおこなわれた。

大学院では、平成20年2月12日(金)に作業療法学専攻を含むリハビリテーション療法学専攻理学療学分野(博士前期課程)2期生の修士論文ならびに博士後期課程博士論文発表会が行われ、前期課程16題、後期課程2題、合計18題の発表があった。また、3月13日(土)には前期課程1年生(9期生)の中間報告会が行われ、理学療学分野から10題の発表があった。博士前期課程修了者は9名で、就職6名、博士後期課程進学者3名であった。博士後期課程修了者のうち、1名が学位を取得した。

3月1日(日)には理学療法士国家試験が施行され、本専攻学部平成20年度卒業生23名が受験し22名が合格した。2月28日(水)には保健学科第9期生の卒業式が執り行われた。本専攻は編入学生を含め22名の新卒業者を世に送り出した。そのうち15名が病院に就職し、6名が大学院へ進学、その他1名であった。

3. 研究活動

本専攻では、加藤智香子助教が平成22年3月末で退職した。

前述の通り本専攻は、全教員が基礎的テーマと臨床的テーマを可及的に併せ持つように努力し、研究を進めている。各教員の研究テーマは、以下の通りである。

河村守雄 教授：実験的異所性骨化と関節運動および不動化の関係、骨形成因子の特性と臨床応用、脊髄損傷モデルマウスの病態、慢性腰痛症状保有者の再発予防対策

鈴木重行 教授：培養筋細胞を用いた機械的刺激の影響、筋ストレッチングと疼痛抑制法の臨床的効果、女性尿失禁に対するバイオフィードバック療法、糖尿病と関節拘縮モデルラットを用いた理学療法効果の検証

山田純生 教授：循環器疾患の運動介入・疾病管理、骨格筋パワーを用いた運動処方、運動習慣化を促進する指導方策、電気刺激療法と運動耐容能、運動中の換気様式に関する研究
鳥橋茂子 教授：マウス ES 細胞を用いた骨格筋形成機構の研究、間葉系幹細胞の研究、消化管の発生研究
内山 靖 教授：姿勢・運動の制御と運動学習に関する研究、動作の観察と分析、症候障害学、理学療法学教育に関する実践的研究
河上 敬介 准教授：機械刺激に対する培養細胞の形態応答のメカニズムの解明、伸張刺激による骨格筋の可塑性のメカニズム、筋・筋膜連結の形態と臨床的意義
石田和人 講師：脳出血モデル動物における中枢神経の病理変化と運動療法の効果に関する研究、ニューロン障害の最初期像の解析とその予後に関する研究、糖尿病モデルラットを用いた理学療法効果の検証
加藤智香子 助教：高齢者の身体活動量・筋力・バランス・QOL など、転倒予防、ヒッププロテクターに関する研究
太田 進 助教：骨関節のバイオメカニクス、高齢者の運動機能向上、スポーツ傷害予防、介護予防に関する研究
林 久 恵 助教：末梢循環障害に対する理学療法、重症虚血肢に対する物理療法、過熱水蒸気を用いた物理療法機器の開発、糖尿病足病変の予防に関する研究

現在上記の研究テーマをもとに、リハビリテーションに関係した臨床系の研究、生体の微細構造究明に関する研究、物理療法機器の開発と治療効果に関する研究、モデル動物を用いた各種病態究明と治療・予防法の確立に関する研究の4本柱を構築し、それぞれの研究室を整備・充実させているところである。

4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

臨床実習指導者連絡協議会（スーパーバイザー会議）は7月22日(水)に行った。内容は、臨床実習全般（理学療法イントロダクション、同コミュニケーション、I a、I b、II、III）についての報告と反省、臨床実習前の学内実習である技能実習試験の実際とその学習効果、さらに臨床実習II、IIIについて本学の理念や目的と実習施設における実習目的との差などについて協議した。更に、後期より始まる臨床実習I a、理学療法コミュニケーション、同イントロダクションについて協議した。

専攻代表が出席した学外関係会議は、臨床実習東海地区理学療法士養成施設連絡協議会（平成21年9月4日(金)、会場：藤田保健衛生大学）、第12回国立大学理学療法士・作業療法士教育施設協議会（9月24日(木) - 25日(金)、担当：京都大学）である。

毎年夏に催される名古屋大学・大学説明会（オープンキャンパス）は8月7日(金)に行われた。昨年度より保健学科は大幸キャンパスを主会場とし、保健学科全体の説明がなされた後、参加した高校生に本専攻の特徴などについて鳥橋教授が説明した。その後、本専攻主催の説明会には185名が参加し、教員と学生が施設を案内し、質問に答えた。質問も多く、高校生の興味の深さが伺われた。

鳥橋教授、河上准教授が中心となり、保健学科解剖実習室を使用して、東海地区の理学作業療法学を含む14施設から延べ396名の学生が解剖標本見学の受託実習を行なった。

10月9日(金)には防災訓練が行われ、保健学科全体で、教職員、学生が多数参加し、救助袋による避難訓練、初期消火訓練として消火器の取扱説明、消化栓による放水などがおこなわれた。

全国PT・OT学校連絡協議会のもとに、東海地区（愛知、岐阜、三重、静岡）の理学療法・作業療法に関係する各養成校の教員及び関連する教育に関わる専門職の資質向上を目的とした東海地区教育部会主催の研修会が平成21年8月9日(日)愛知医療福祉専門学校で「臨床実習における学生支援」をテーマに開催された。

その他、大幸医療センターでの相談外来は、河村教授の腰痛相談室、加藤助教の転倒予防教室（転ばん大幸教室、名古屋市との共同主催）、鈴木教授の女性尿失禁相談外来が引き続き行われた。

(主任：鳥橋茂子)

作業療法学専攻

作業療法学専攻は、作業療法に関する学問的体系の確立と高度専門職業人の育成、および教育者、研究者の育成を目的として設置された。本専攻は、作業療法士専門職教員と医師教員から構成され、それぞれの専門を活かした教育・研究活動を通して作業療法学の発展に努めている。

1. 運営

平成21年度の本専攻は、寶珠山教授（主任）ほか3名の教授、准教授2名、講師1名、助教3名より構成されている。専攻の運営については、全教員が参加する作業療法学専攻会議（毎週水曜日開催）によって教育および研究活動の具体的な方針を決定している。専攻会議では、名古屋大学の学年暦および保健学科の諸行事に合わせて専攻の年間行事、事業についての計画とその計画進行状況の確認をはじめとして、予算に関する事案、学生の教育に関する事案（成績関連、単位認定、進級関連、卒業進路など）、学生生活に関する事案、臨床実習に関する事案（実習計画、臨床実習施設との連携など）、その他保健学科全体の抱える諸問題について専攻としての方針や考え方を討議決定している。特に、個々の学生への対応など具体的な問題について詳細な検討や問題解決への方策を決定している。

また、専攻会議の他に人事など教授専任事項については月1回の専攻教授会議にて審議を行っている。この会議は構成メンバー全員の意見の一致を原則として運営されている。

リハビリテーション領域で密接な連携関係にある理学療法学専攻と共に毎月両専攻会議を設け、作業療法学・理学療法学の全教員が参加し、両専攻共通の課題に取り組み、連携・協力を図っている。

大学院運営の機構としては、作業療法分野は理学療法分野とともにリハビリテーション療法学専攻を構成し、両分野の大学院担当教員によって月1回の大学院・リハビリテーション療法学専攻会議を開いている。

2. 教育活動

平成21年4月に保健学科作業療法学専攻第11期生として20名学部学生が入学した。選抜方法による内訳は、推薦入学7名、前期日程試験入学13名、性別では男子学生8名、女子学生12名であった。また平成19年度より募集を開始した2年次編入生は2名（男女各1名）の入学者を受け入れ、2年次からのカリキュラムを受けている。

平成21年度の大学院博士課程前期課程作業療法学分野にはブラジルからの国費留学生を含めた7名（一般選抜3名、社会人入学4名）が、博士課程後期課程作業療法学分野には1名がそれぞれ入学した。

○ 平成21年度の教育活動

- 1) 平成21年4月5日の入学式以後、6日～：新生・編入生および学年別ガイダンス。毎年度始めには新生および編入生のみならず在校生各学年別に年度当初ガイダンスを実施し、当該年度における教育内容、学生生活に関する説明と確認を行っている。近年では、大学生生活における安全衛生に関する諸注意、大学生として守るべき個人情報に関する注意など、情報化社会に対応した諸注意が重要であり、この点にも留意したガイダンスとなるよう努めている。大学における学修と生活の基本的内容については作業療法学専攻および理学療法学専攻と合同で行い、個別の内容について専攻別にガイダンスを行っている。この時期4年生については臨床実習が既に始まっているために、ガイダンスは前年度末までに行われている（下記）。
- 2) 平成21年4月18日～19日：犬山ガイダンス。通称犬山ガイダンスは、一泊二日の日程で行われる学部と大学院の新生・在校生合同（学部4年生を除く）の年度当初ガイダンスである。本年度も昨年と同じく愛知県犬山市犬山国際ユースホテルで開催した。新入の学部学生および大学院生が円滑に快適で充実した学生生活を送るという目的で開催され、本専攻の教員や2年生3年生先輩からの公私的な示唆や助言などを通して行われた。同時に学年相互の交流・親睦を目的として種々のイベントを開催した。
- 3) 平成21年4月1日～8月上旬：4年生臨床実習実施。学部4年生を対象とし最終年次前期期間中、学内外の臨床施設（名古屋大学医学部附属病院を含め50施設）にて臨床実習を行った。実習期間を3期に分けて身体障害分野、精神障害分野、発達障害分野および老年期障害分野の医療機関・施設で臨床実習を行なった。総計18週間の実習を行った。4年生の学外臨床実習に際しては、各施設に担当教員を配置し、実習学生の学修状況や体調、実習の

進捗状況を把握するように努めた。学生の実習進捗状況はメールおよび毎週の専攻会議で報告され、問題の生じた事例については、全教員で検討し、指導教員、実習担当教授、施設担当教員、実習担当教員が対応に努めた。

- 4) 平成21年6月24日：博士課程後期課程大学院生研究課題中間発表会。リハビリテーション療法学専攻作業療学分野2年生に在籍する大学院生（2名）が研究テーマについての進捗状況を報告した。研究発表会では今後の研究方針について教員からアドバイスがなされた。
- 5) 平成21年8月7日：オープンキャンパス開催。大幸キャンパスにおいて保健学科全体および作業療法学専攻の大学説明会を実施した。説明会参加者に対して、講義室や実習室等を案内し、本学における本専攻の教育理念、方針、具体的教育内容について説明した。
- 6) 平成21年8月25日：学部2年次編入生入学試験。
- 7) 平成21年8月26日：大学院博士課程前期課程入学試験。
- 8) 平成21年8月27日：大学院博士課程後期課程入学試験。
- 9) 平成21年9月11日：卒業研究中間発表会（学部4年生）。卒業研究の途中経過の報告と教員による指導の機会として行われた。
- 10) 平成21年9月中旬：作業療法入門実習（学部1年生）。本専攻に入学してから最初の臨床実習である。作業療法における主要な分野（身体障害分野、精神障害分野、発達障害分野、老年期障害分野）の関連の機関・施設6ヶ所の見学実習を行なった。
- 11) 平成21年9月下旬～12月下旬：作業療法基礎学実習（学部2年生）。作業療法の対象となる施設や対象者を理解する目的で2年後期に実施している。学生は、身体障害分野、精神障害分野、発達障害分野の医療機関・施設それぞれ1ヶ所、計3ヶ所で3日間の実習を体験した。
- 12) 平成21年11月5日：愛知県豊田西高校から大学説明会の依頼があり教授を派遣した。
- 13) 平成21年12月11日：卒業研究発表会（学部4年生）。卒業研究の最終発表会であり、続いて論文の作成が行われた。研究発表会の内容は、卒業研究論文集として発刊した。
- 14) 平成22年2月10日：学部の推薦入学試験。
- 15) 平成22年2月12日：大学院博士課程前期課程および後期課程学位論文発表会。本専攻からは博士課程前期課程7名、後期課程1名が発表を行なった。
- 15) 平成22年2月18日：臨床実習指導者会議。4年次に行われる臨床実習での実習協力施設の実習指導者を招いて、臨床実習指導者会議を開催した。議題は主として平成21年度臨床実習報告、22年度実習計画であり、学外の実習指導者と本専攻教員の意見交換等を行なった。
- 16) 平成22年2月25～26日：一般選抜前期日程入学試験。
- 17) 平成22年2月28日：理学療法士作業療法士国家試験実施。本専攻から卒業予定者22名（受験者全員）が合格した。
- 18) 平成22年3月13日：博士課程前期課程中間発表会。前期課程1年在籍の7名が現在の研究状況を報告した。
- 19) 平成22年3月25日：学部および大学院卒業式。本年度は学部学生22名（男性3名、女性19名）が卒業した。大学院リハビリテーション療法学専攻作業療学分野では修士号7名、博士号1名の取得があった。

3. 研究活動

本専攻では作業療法各分野および基礎的研究各分野における研究が大学院教育とともに行われている。研究は教員による個人研究が中心であるが、企業や他施設との共同研究も行われている。

(1) 共同研究

- 1) 厚生労働省難治性疾患克服事業（スモンに関する研究班：寶珠山・美和・清水・伊藤・上村・星野）
- 2) 青年期の精神病理学的研究（学生相談総合センターと共同研究）（鈴木）
- 3) ①重度心身障害者のポジショニングと情動を表す表情についての研究（京都：花ノ木医療福祉センター・辛島）
②自閉症スペクトラム児の情動的コミュニケーションを基盤にした事例研究（京都：花ノ木医療福祉センター・辛島）
- 4) 中高年者の高次脳機能と筋・運動機能及び生活習慣との関連に関する研究（環境学研究科、医学系研究科・整

形外科) (伊藤)

- 5) 大学共同利用施設磁気計測装置 (生理学研究所) における感覚運動連関に関する研究 (寶珠山)
- 6) ミストサウナの応用に関する研究 (東邦ガス株式会社と共同研究) (美和)
- 7) 精神科作業療法システムに関する研究 (総合心療センターひながと共同研究) (美和)
- 8) 温泉の効果に関する研究 (小山田記念温泉病院と共同研究) (美和)
- 9) 作業療法士の地域医療における役割に関する研究 (精神障害 CBOT 研究会) (星野)
- 10) 軽度発達障害分野における治療教育的支援事業 (名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター) (浅野)

(2) 個人研究

- 1) 統合失調症の精神病理学的研究 (鈴木)
- 2) 神経症の精神分析学的研究 (鈴木)
- 3) 発達障害の青年期に関する研究 (鈴木)
- 4) 介護老人保健施設等における作業療法介入の効果に関する研究 (田川)
- 5) 認知症高齢者の問題処理能力等の定量的評価法の開発 (田川)
- 6) 自閉症スペクトラム児の情動的コミュニケーションを基盤とした作業療法の効果 (辛島)
- 7) 最重度知的障害者へのサービスの質を「幸福の表情」で測定する方法の開発 (辛島)
- 8) 知的障害者のノーマライゼーションの具現化と作業療法 (辛島)
- 9) 運動と体性感覚誘発脳反応に関する研究 (寶珠山)
- 10) 意識と感覚情報処理能力に関する研究 (寶珠山)
- 11) 障害者乗馬の効果に関する研究 (美和)
- 12) 精神障害に対する作業療法介入効果に関する研究 (美和)
- 13) 作業療法と自律神経機能に与える影響に関する研究 (美和)
- 14) 作業活動における認知機能と運動機能との関連に関する研究 (清水)
- 15) 自己関連情報の認知的処理特性に関する研究 (清水)
- 16) 生活習慣と健康との関連に関する研究 (伊藤)
- 17) 前頭葉機能検査に関する研究 (伊藤)
- 18) 自己効力感と高次脳機能の関連に関する研究 (伊藤)
- 19) 精神障害者の就労支援に関する研究 (星野)
- 20) 精神障害領域における作業療法士の専門性と役割に関する研究 (星野)
- 21) うつ病女性の家庭復帰における作業療法介入に関する研究 (星野)
- 22) うつ病休職者の復職支援に関する研究 (星野)
- 23) 人の脳における言語情報処理能力に関する研究 (上村)
- 24) 5歳児健診における子どもの運動発達に関する研究 (浅野)
- 25) 地域通園施設に通う自閉症スペクトラム児に対する作業療法介入効果 (浅野)

4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

- 1) 愛知県作業療法士会現職者共通研修 (上村)
- 2) 名古屋市介護保険認定審査会 (伊藤・清水)
- 3) 名古屋市特別支援教育スーパーバイザー (辛島)
- 4) 名古屋市特別支援教育アドバイザー (浅野)
- 5) 機関誌「作業療法」編集 (辛島・美和)

(主任：寶珠山稔)

2. 公開講座 (平成21年度)

平成21年度名古屋大学医学部保健学科市民公開講座

テーマ：こんな生活習慣病を知っていますか
— COPD って何？ 飲みすぎるとどうしていけないの？ —

平成21年度の市民公開講座は、10月3日土曜日に、「こんな生活習慣病を知っていますか—COPD って何？ 飲みすぎるとどうしていけないの？—」をテーマとして開催しました。

本講座は昭和58年以来、名古屋大学の知的財産を地域の皆様に還元することを目的とし、一般市民を対象に健康や医療の問題を中心に私たちの生活に深く関わるテーマで毎年開催しています。また、多くの方々に参加していただけるよう18年度から受講料を無料としております。日程は、昨年に引き続き土曜日の午後に行い、各1名の学内外講師のもと約2時間の講演とコンパクトにしました。

平成21年度は、検査技術科学専攻が担当し、あまり世間の認知度が低い生活習慣病にテーマを絞り、ポスター配付や名古屋大学及び医学部保健学科のホームページで広く参加者を募集しました。新型インフルエンザが蔓延する可能性があり、その場合は公開講座を中止することも考えなくてはならない状態でしたが、無事に開催でき63名（男性：22名、女性：41名）の参加がありました。参加者は熱心に聴講され、講演後は会場から多くの質問があり、盛会のうちに公開講座を終了することができました。

平成21年度名古屋大学医学部保健学科市民公開講座の実施要項は以下のとおりです。

テーマ：こんな生活習慣病を知っていますか —COPD って何？ 飲みすぎるとどうしていけないの？—

テーマ説明文：メタボ検診をはじめ、メタボリックシンドロームを中心とする生活習慣病については広く情報が得られるようになってきております。しかし原因がある程度ははっきりしている生活習慣病のなかにもまだまだ情報が十分とはいえない病気があります。本講座では喫煙が原因で起こり、最近ではCOPDと訳される慢性閉塞性肺疾患やアルコールによる肝障害についてこの機会に十分な知識を得ていただきたいと思います。

開講日時：平成21年10月3日（土）13：00～14：50

開講場所：名古屋大学医学部保健学科 東館大講義室（東館4階）

募集人員：100名

開講時間・題目・講師：

| | | | | |
|-----|-------------|------------------|-----------|--------|
| 第1講 | 13：00～13：50 | COPD って何？ | 検査技術科学専攻 | 川部 勤教授 |
| 第2講 | 14：00～14：50 | 飲みすぎるとどうしていけないの？ | 愛知学院大学薬学部 | 林 久男教授 |

公開講座開催後に参加者に協力していただいたアンケート結果は以下の通りです。

アンケート結果 [参加者数63名（男性：22名、女性：41名）のうち58名（男性：22名、女性：36名）にアンケートの回答を得た]

①性別、②年齢構成

| | 男 | 女 | 計 | % |
|------|----|----|----|-----|
| 10代 | 0 | 2 | 2 | 3 |
| 20代 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| 30代 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 40代 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 50代 | 1 | 4 | 5 | 9 |
| 60代 | 9 | 7 | 16 | 28 |
| 70代 | 9 | 20 | 29 | 50 |
| 80代 | 2 | 2 | 4 | 7 |
| 計(名) | 22 | 36 | 58 | 100 |

③職業

| | 男 | 女 | 計 | % |
|------|----|----|----|-----|
| 学生 | 1 | 2 | 3 | 5 |
| 会社員 | 2 | 2 | 4 | 7 |
| 自営業 | 2 | 0 | 2 | 3 |
| 主婦 | 0 | 20 | 20 | 34 |
| その他 | 4 | 1 | 5 | 9 |
| 無職 | 13 | 11 | 24 | 41 |
| 未記入 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計(名) | 22 | 36 | 58 | 100 |

④本講座を何で知りましたか

| | 男 | 女 | 計 | % |
|---------|----|----|----|-----|
| 新聞、TV | 1 | 0 | 1 | 2 |
| 区役所 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 社教センター | 0 | 5 | 5 | 9 |
| 図書館 | 2 | 1 | 3 | 5 |
| 友人情報 | 1 | 5 | 6 | 10 |
| その他・未記入 | 18 | 24 | 42 | 72 |
| 計(名) | 22 | 36 | 58 | 100 |

⑤感想を聞かせてください

| | 男 | 女 | 計 | % |
|--------------|----|----|----|-----|
| 役に立った | 14 | 30 | 44 | 76 |
| まあ役に立った | 6 | 6 | 12 | 21 |
| あまり参考にならなかった | 1 | 0 | 1 | 2 |
| その他 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| 未記入 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計(名) | 22 | 36 | 58 | 100 |

⑥実施方法について

A. 全体の時間について

| | 計 | % |
|------|----|-----|
| 長い | 0 | 0 |
| 丁度よい | 54 | 93 |
| 短い | 2 | 3 |
| 未記入 | 2 | 3 |
| 計(名) | 58 | 100 |

B. テーマ毎の時間について

| | 計 | % |
|------|----|-----|
| 長い | 0 | 0 |
| 丁度よい | 55 | 95 |
| 短い | 2 | 3 |
| 未記入 | 1 | 2 |
| 計(名) | 58 | 100 |

C. 講演形式について

| | 計 | % |
|---------|----|-----|
| 講演型式 | 46 | 79 |
| 参加型セミナー | 7 | 12 |
| その他 | 3 | 5 |
| 未記入 | 2 | 3 |
| 計(名) | 58 | 100 |

D. 希望テーマ・感想について

★今後の講演のテーマ

- ・腎臓病や肝臓病を含めメタボリック症候群などの予防と治療（特に食事療法）について。
- ・免疫力についての講演。
- ・健康維持について理想的な食事・運動（長続きする運動）。サプリメントの功罪について。
- ・中高年齢者の癌とその治療法。
- ・脳血栓、くも膜下出血等その他、脳血管障害について。（血液サラサラなどを含めて）

- ・前立腺肥大の治療について。
- ・薬の飲み合わせによる注意事項について。
- ・整形外科分野の疾患について。
- ・加齢により機能が低下することによりおこる障害・疾患の解説と対策について。
- ・最新の認知症情報（治療法について等）について。
- ・摂食障害について。
- ・うつ病について。

★感想

- ・やわらかい話で分かりやすく楽しかった。
- ・スライドの資料をプリントして配布してほしい。

総括

日頃よく耳にし、最近ではメタボリック症候群として説明される高血圧・高脂血症・糖尿病などの生活習慣病とは異なり、今回はアルコールや煙草による生活習慣病を市民公開講座で取り上げました。演題は2題で各講演時間は50分、全体で2時間程度と昨年よりさらに短縮したが、アンケート結果ではテーマごとの時間は丁度よく（95%）、全体の時間も昨年度のアンケートで見られた長いと思われた参加者はなく多少短い可能性はあるも程良い時間であった（93%）と考えられます。講演内容についてほとんどの参加者が有意義であった（役に立った76%、まあ役に立った21%であり、合計97%）と満足していただけるものではありませんでしたが、スライドの資料をプリントして配布してほしいという意見もあり、今後は手持ち資料をどうするかが一つの問題のように考えられました。また、今回愛知学院大学教授 林久男先生にご講演を頂きましたが、今後、外部講師を招聘する際の謝金等の予算確保が問題としてあります。

本年度の保健学科市民公開講座は一般市民を対象に「こんな生活習慣病を知っていますか」をテーマとして名古屋大学の知的財産を十分に地域に還元できたと考えます。次年度以降は公開講座を運営企画してきた委員会も地域貢献委員会として新たに活躍を開始し、単に公開講座のみではなく、さらに地域に名古屋大学の知的財産を還元することを目指すことになりました。

（公開講座委員長：川部 勤）

3. 業 績 (2009年)

凡 例

◎収録した業績は2009(平成21)年1月～12月に発表された保健学科所属教員の著作である。

◎業績を下記の種別に分類して掲載した。

- * 著書
- * 原著論文
- * 総説・解説・その他
- * 科研費・班研究等
- * その他の印刷物等
- * 学会発表
- * 公開講座・講演会

◎業績は ①専攻, ②業績種別に分けて掲載し, 業績種別内の掲載順位は以下のとおりとした。

- * 著書 ～ その他の印刷物等
 - ①専攻に所属する著者(単独著作でない場合は初出の著者)のアルファベット順
 - ②著書・掲載誌等の文字コード順
 - ③部分著作の掲載順
- * 学会発表 ～ 公開講座・講演会
 - ①会合の開始日順
 - ②会合名(回次等を除く)の文字コード順

◎著作にかかわった人物の名称を, 当該専攻所属教員のみゴシック体で表記した。

看護学専攻

1 看護学専攻

〔著書〕

前田憲志, 湯沢八江, 永田智子, 山羽能里子, 伊藤清美, 山口千恵子, 加藤裕子, 富田真佐子, 佐橋道広, 林由紀子, 桜井志保美, 堀井直子, 石井英子, 河野由理, 角田直枝, 祖父江正代, 廣畑加代子, 藤田紀見, 牧野雅子, 星野純子, 村井 強, 当間麻子, 堀 容子

第15章 在宅看護分野の研究

『在宅医療と訪問看護・介護のコラボレーション』(前川厚子編著) オーム社, 2009. pp 308-325

河野由理

身体疾患に精神障がいを合併している事例への在宅ケア

『在宅医療と訪問看護・介護のコラボレーション』(前川厚子編著) オーム社, 2009. pp 187-193

前川厚子

がん治療に伴う副作用

『がん化学療法・バイオセラピー看護実践ガイドライン (Chemotherapy and biotherapy guidelines and recommendations for practice (2nd ed.))』(Martha Polovich, Julie M. White, Linda O. Kelleher 編著, 佐藤禮子監訳) 医学書院, 2009. pp 181-190

前川厚子

『在宅医療と訪問看護・介護のコラボレーション』(前川厚子編著) オーム社, 2009

大須賀美智, 奈良間美保

33 児童相談所

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編) 医歯薬出版, 2009. pp 56-57

松岡真理, 奈良間美保

50 採血: TIPS

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編) 医歯薬出版, 2009. p 88

松岡真理, 奈良間美保

60 浮腫: 腎臓性浮腫 ①ネフローゼ症候群

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編) 医歯薬出版, 2009. p 106

松岡真理, 奈良間美保

60 浮腫: 川崎病

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編) 医歯薬出版, 2009. p 107

大須賀美智, 奈良間美保

90 ステロイド

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編) 医歯薬出版, 2009. pp 158-159

大須賀美智, 奈良間美保

92 転倒: Key3. 小児の骨折の特徴

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編) 医歯薬出版, 2009. p 163

松岡真理, 奈良間美保

116 麻疹

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編) 医歯薬出版, 2009. pp 209-210

松岡真理, 奈良間美保

117 発疹

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版, 2009. pp 211-212

松岡真理, 奈良間美保

118 水痘

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版, 2009. pp 213-214

大須賀美智, 奈良間美保

119 気管支喘息

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版, 2009. pp 215-216

新實夕香理

3 口腔

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版, 2009. pp 5-6

新實夕香理

5 血清

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版, 2009. pp 8-9

新實夕香理

11 C 反応性蛋白

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版, 2009. p 18

新實夕香理

22 掻痒

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版, 2009. pp 37-38

新實夕香理

32 成年後見制度

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版, 2009. pp 54-55

新實夕香理

41 心音

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版, 2009. pp 71-72

新實夕香理

46 看護計画

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版, 2009. pp 79-80

新實夕香理

61 肥満

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版, 2009. pp 108-109

新實夕香理

62 腹囲

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版, 2009. p 110

新實夕香理

63 血糖

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. p 111

新實夕香理

64 血糖値

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 112-113

新實夕香理

65 糖尿病

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 114-115

新實夕香理

66 運動療法

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. p 116

新實夕香理

67 食事療法

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 117-118

新實夕香理

73 点滴静脈内注射

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 127-128

新實夕香理

82 ペースメーカー

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 142-143

新實夕香理

85 胃瘻

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 148-149

新實夕香理

88 体位ドレナージ

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 154-155

新實夕香理

92 転倒: Key1. 高齢者が転倒を起こす要因

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. p 162

新實夕香理

92 転倒: Key2. 転倒予防策

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 162-163

新實夕香理

93 おむつ

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 164-165

新實夕香理

94 関節

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 166-167

新實夕香理

95 予防

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 168-169

新實夕香理

98 視野

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 173-174

新實夕香理

99 骨粗鬆症

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 175-176

新實夕香理

100 認知症

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 177-178

新實夕香理

102 せん妄

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 181-182

新實夕香理

103 高齢者

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 183-184

新實夕香理

105 脱水

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 187-188

新實夕香理

106 パーキンソン病

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 189-190

新實夕香理

108 チアノーゼ:Key 1. チアノーゼについて

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. p 193

新實夕香理

108 チアノーゼ:Key 2. チアノーゼ時の看護

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 193-194

新實夕香理

127 訪問介護

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 230-232

新實夕香理

128 寝たきり

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 233-234

太田勝正

はじめに

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp iii-x

井口弘子, 前田樹海, 太田勝正

実力確認問題 select

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 247-252

竹井留美

16 黄色ブドウ球菌

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. p 26

竹井留美

23 脳血管疾患

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. p 39

竹井留美

39 意識レベル

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 67-68

竹井留美

44 スタンダードプリコーション

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. p 77

竹井留美

45 院内感染

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. p 78

竹井留美

74 経鼻胃管

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 129-130

竹井留美

107 麻痺

『看護師国家試験対策 KEY メモ BOOK』(太田勝正編)医歯薬出版,2009. pp 191-192

山内豊明

循環器系—体のすみずみまで血液を送るしくみ

『イメージできる解剖生理学—図表読解・調べ学習— (改訂2版)』(G supple 編集委員会, 林正健二編)メディカ出版,2009. pp 58-68

山内豊明

『基礎看護 第3版 (看護師・看護学生のためのなぜ? どうして? ; 1)』(山内豊明監修)メディックメディア,2009

山内豊明

特別インタビュー 日本人看護師の可能性を語る

『日本人ナースはなぜアメリカで評価されるのか? —アメリカ看護師試験「NCLEX-RN」の合格者に学ぶ成功論—』(中村 明著) 幻冬舎,2009. pp 55-63

山内豊明

監修のことば

『訪問看護アセスメント・プロトコル—生命・生活の両面から捉える—』(山内豊明監修, 岡本茂雄編)中央法規出版,2009. p i

山内豊明

第2章 訪問看護における生活視点でのフィジカルアセスメント 1. 生活視点でのフィジカルアセスメント

『訪問看護アセスメント・プロトコル—生命・生活の両面から捉える—』(山内豊明監修, 岡本茂雄編) 中央法規出版, 2009.
pp 47-61

山内豊明

第2章 訪問看護における生活視点でのフィジカルアセスメント 2. 訪問看護におけるフィジカルアセスメント

『訪問看護アセスメント・プロトコル—生命・生活の両面から捉える—』(山内豊明監修, 岡本茂雄編) 中央法規出版, 2009.
pp 62-68

横内光子, 竹井留美

外科侵襲と生体反応—術後合併症と術後感染症の理解と看護

『ハイリスク患者の周術期看護: 基礎疾患・リスク別 (Nursing mook 51)』(伊藤聡子編) 学研マーケティング, 2009. pp 38-46

[原著論文]

水野敏子, 坂井志麻, 小長谷百絵, 會田信子

高齢者高度医療専門病院における死亡前1ヵ月間における高齢者の苦痛
東京女子医科大学看護学会誌 4(1): 37-44, 2009

會田信子, 浦野真理, 齋藤加代子, 千代豪昭, 柳 修平, 久米美代子, 伊藤景一, 金井 Pak 雅子, 尾岸恵三子, 西原亜矢子,
佐伯晴子

模擬患者を導入した遺伝カウンセリング演習の試み
日本遺伝カウンセリング学会誌 29(2): 39-48, 2009

大橋幸美, 浅野みどり

親性とそれに類似した用語に関する国内文献の検討—親性の概念明確化に向けて—
家族看護学研究 14(3): 57-65, 2009

門間晶子, 浅野みどり, 野村直樹

シングルマザーの子育てに関する質的研究—英語文献レビュー1995-2007
家族看護学研究 15(1): 58-70, 2009

YAMADA Tomoko, **ASANO Midori**, ISHIGURO Ayako, SUGIURA Taichi

Collaboration between adolescent asthma patients and medical caregivers: state of collaboration from the perspective of child patients

J Jpn Soc Nurs Health Care (Nihon Kango Iryo Gakkai Zasshi) 11(1): 6-14, 2009

古澤亜矢子, 浅野みどり

学童期から思春期における広汎性発達障害をもつ子どもと家族の健康及び家族機能に関する文献検討
日本看護医療学会雑誌 11(2): 1-7, 2009

佐合真紀, 浅野みどり, 伊藤浩明, 二村昌樹, 杉浦太一

食物アレルギー児の母親の食生活管理の現状と負担の関係
日本小児難治喘息アレルギー疾患学会誌 7(1): 21-27, 2009

鈴木紀枝, 藤井徹也

在宅褥瘡予防の質改善に有効なポリウレタンフィルムの適切な使用方法に関する視聴覚教材の開発
医学と生物学 153(9): 378-383, 2009

赤川陽子, 佐藤好恵, 佐伯香織, 藤田 烈, 藤井徹也
死後処置の教育と今後の課題
医学と生物学 153(12): 620-627, 2009

岡村典子, 藤井徹也, 堀 良子
看護系大学における基礎看護技術修得に向けた教育に関する検討
日本看護学教育学会誌 19(1): 13-27, 2009

佐藤好恵, 藤井徹也, 佐伯香織, 新實夕香里, 篠田貢一, 小澤由紀, 中野 隆
臀部筋肉内注射部位における中臀筋表層血管および神経損傷の危険性の検討
日本看護技術学会誌 8(2): 91-96, 2009

FUJIMOTO Etsuko, SASAKI Ryo, ARITA Hiromi, **OHSHIMA Chika**

The effect of hot-pack warming on the deep body temperature : for the development of a nursing care instrument to induce sleep
Aino J 7(1): 13-19, 2009

OGAWA Satoshi, YAMASHITA Takeshi, YAMAZAKI Tsutomu, AIZAWA Yoshifusa, ATARASHI Hirotsugu, INOUE Hiroshi, OHE Tohru, OHTSU Hiroshi, OKUMURA Ken, KATOH Takao, KAMAKURA Shiro, KUMAGAI Koichiro, KURACHI Yoshihisa, KODAMA Itsuo, KORETSUNE Yukihiro, SAIKAWA Tetsunori, SAKURAI Masayuki, SUGI Kaoru, TABUCHI Toshifumi, NAKAYA Haruaki, NAKAYAMA Toshio, **HIRAI Makoto**, FUKATANI Masahiko, MITAMURA Hideo
Optimal treatment strategy for patients with paroxysmal atrial fibrillation: J-RHYTHM Study
Circ J 73(2): 242-248, 2009

YOSHIDA Naoki, YAMADA Takumi, MURAKAMI Yoshimasa, OKADA Taro, NINOMIYA Yuichi, TOYAMA Junji, YOSHIDA Yukihiko, TSUBOI Naoya, MUTO Masahiro, INDEN Yasuya, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki
Vagal modification can also help prevent late recurrence of atrial fibrillation after segmental pulmonary vein isolation
Circ J 73(4): 632-638, 2009

保利美也子, 久保田正和, 安藤功一, 木原武士, 高橋良輔, 木下彩栄
在宅認知症高齢者とその家族介護者に対するテレビ電話システムを用いたコミュニケーションの有効性
癌と化学療法 36(1): 36-38, 2009

KONDO Takaaki, KIMATA Akiko, YAMAMOTO Kanami, UHEYAMA Sayoko, UHEYAMA Jun, **HORI Yoko**
Effects of short-term variation in body mass index on blood pressure in middle-aged Japanese male workers
J Health Sci 55(1): 62-71, 2009

KONDO Takaaki, ABE Manami, UHEYAMA Jun, KIMATA Akiko, YAMAMOTO Kanami, **HORI Yoko**
Use of waist circumference and ultrasonographic assessment of abdominal fat distribution in predicting metabolic risk factors in healthy Japanese adults
J Physiol Anthropol 28(1): 7-14, 2009

KONDO Takaaki, KIMATA Akiko, YAMAMOTO Kanami, UHEYAMA Sayoko, UHEYAMA Jun, YATSUYA Hiroshi, TAMAKOSHI Koji, **HORI Yoko**
Multilevel analyses of effects of variation in body mass index on serum lipid concentrations in middle-aged Japanese men
Nagoya J Med Sci 71(1-2): 19-28, 2009

鈴木洋子, 星野純子, 堀 容子, 長澤伸江, 前川厚子, 近藤高明, 榎原久孝, 岡本和士
主介護者の食品群別摂取量と介護疲労感との関連—半定量食物摂取頻度調査法を用いて
栄養学雑誌 67(4): 168-177, 2009

星野純子, 堀 容子, 近藤高明, 前川厚子, 玉腰浩司, 榊原久孝
女性介護者における心身の健康的特性
日本公衆衛生雑誌 56(2): 75-86, 2009

TAMAKI Junko, IKI Masayuki, SATO Yuuho, **KAJITA Etsuko**, KAGAMIMORI Sadanobu, KAGAWA Yoshiko, YONESHIMA Hideo
Low bone mass is associated with carotid atherosclerosis in postmenopausal women: the Japanese Population-based Osteoporosis (JPOS) Cohort Study
Osteoporos Int 20(1): 53-60, 2009

大森ゆみ子, 増田美登里, 河野由理, 河野美智子
看護師が仕事と家庭生活や育児を両立するための工夫と利用した支援
日本看護学会論文集. 看護管理 39: 123-125, 2009

前田優雅, 国府浩子, 藤井徹也
治療中の乳がん患者に及ぼす同病者からの影響と関連する要因—乳がん患者会会員を対象として—
がん看護 14(6): 711-716, 2009

熊谷有記, 国府浩子, 大見由紀子
終末期在宅がん患者を支える家族に対する看護支援
死の臨床 32(1): 117-122, 2009

田中千代, 奈良間美保
思春期の胆道閉鎖症患児の健康にかかわる情報の入手とセルフエスティーム、自己の健康のうけとめの特徴
日本小児看護学会誌 18(1): 16-23, 2009

松永侑美, 奈良間美保
1歳児を持つ母親の事故防止行動の特徴と過去の経験、再発予防行動との関係
日本小児看護学会誌 18(3): 9-17, 2009

大島千佳, 有田広美, 藤本悦子
片足足浴による対側下肢への循環促進効果
日本看護技術学会誌 8(3): 65-73, 2009

NISHITANI Naoko, **SAKAKIBARA Hisataka**, AKIYAMA Izumi
Eating behavior related to obesity and job stress in male Japanese workers
Nutrition 25(1): 45-50, 2009

川村享平, 榊原久孝, 田中宏太佳
中心性頸髄損傷に対する手指機能アプローチ—手指の関節拘縮の実態と統計学的検討から—
作業療法ジャーナル 43(10): 1103-1107, 2009

原田直子, 榊原久孝
地域 well-rounded training 教室終了後7ヵ月間の自主活動における前期高齢女性の身体活動への影響
日本地域看護学会誌 12(1): 65-71, 2009

高橋はるか, 鈴木和代
産後1ヵ月健診時の母親における“抱っこ”の実態
愛知母性衛生学会誌 27: 63-71, 2009

MITSUHASHI Hirotsugu, YATSUYA Hiroshi, MATSUSHITA Kunihiko, ZHANG Huiming, OTSUKA Rei, MURAMATSU Takashi,

TAKEFUJI Seiko, HOTTA Yo, KONDO Takahisa, MUROHARA Toyoaki, TOYOSHIMA Hideaki, **TAMAKOSHI Koji**
Uric acid and left ventricular hypertrophy in Japanese men
Circ J 73(4): 667-672, 2009

TOYOSHIMA Hideaki, MASUOKA Nobutaka, HASHIMOTO Shuji, OTSUKA Rei, SASAKI Satoshi, **TAMAKOSHI Koji**, YATSUYA Hiroshi
Effect of the interaction between mental stress and eating pattern on body mass index gain in healthy Japanese male workers
J Epidemiol 19(2): 88-93, 2009

TAMAKOSHI Akiko, **TAMAKOSHI Koji**, LIN Yingsong, YAGYU Kiyoko, KIKUCHI Shogo, JACC Study Group
Healthy lifestyle and preventable death: findings from the Japan Collaborative Cohort (JACC) Study
Prev Med 48(5): 486-492, 2009

大塚 礼, 玉腰浩司, 下方浩史, 豊嶋英明, 八谷 寛
職域中高年男性におけるメタボリックシンドローム発症に関連する食習慣の検討
日本栄養・食糧学会誌 62(3): 123-129, 2009

SHINOZAKI Emiko, **YAMAUCHI Toyoaki**
Nursing competencies for physical assessment of the respiratory system in Japan
Nurs Health Sci 11(3): 285-292, 2009

IMAIISO Junko, **YAMAUCHI Toyoaki**
Caregiver suctioning education for Japanese patients with an invasive home ventilator
Nurs Health Sci 11(4): 422-429, 2009

山内豊明
チーム医療の根幹—分かって, 分かり合う—
医療 63(8): 501-504, 2009

[総説・解説・その他]

會田信子, 池亀俊美
シームレスな保健医療福祉サービスの実像と障壁、そして看護職にかせられた今後の課題
日本循環器看護学会誌 5(1): 12-14, 2009

岡本拓也, 本家好文, 安藤詳子
在院日数が短く、家族への説明が不十分と思われるケースへの対応
死の臨床 32(1): 75-77, 2009

浅野みどり
予防的育児支援の可能性と課題
日本小児看護学会誌 18(1): 142-147, 2009

浅野みどり, 古澤亜矢子
被虐待児へのケアと支援—ふだんのかかわりにおける看護の役割—早期発見から予防的支援へ—
小児看護 32(5): 524-531, 2009

篠田貢一, 藤井徹也
からだのしくみと考える看護技術：生体機能にかかわる技術 (1) 心臓の構造と正常心電図
看護技術 55(1): 6-8, 2009

篠田貢一, 藤井徹也

からだのしくみと考える看護技術：生体機能にかかわる技術 (2) 心筋梗塞時の心電図波形
看護技術 55(2): 110-112, 2009

西尾亜理砂, 藤井徹也

からだのしくみと考える看護技術：生体機能にかかわる技術 (3) 血圧測定
看護技術 55(3): 214-216, 2009

篠田貢一, 藤井徹也

からだのしくみと考える看護技術：生体機能にかかわる技術 (4) 高血圧と心臓の構造
看護技術 55(4): 318-320, 2009

太田慶一, 藤井徹也

からだのしくみと考える看護技術：生体機能にかかわる技術 (5) 脈拍測定
看護技術 55(6): 594-596, 2009

沼野美沙紀, 藤井徹也

からだのしくみと考える看護技術：保清にかかわる技術 (1) 口腔ケア
看護技術 55(10): 1010-1012, 2009

水野美香, 藤井徹也

からだのしくみと考える看護技術：保清にかかわる技術 (2) 皮膚・粘膜の清潔
看護技術 55(11): 1114-1116, 2009

春田佳代, 藤井徹也

からだのしくみと考える看護技術：注射 (1) 筋肉内注射・皮下注射 (上肢)
看護技術 55(13): 1400-1402, 2009

佐藤好恵, 藤井徹也

からだのしくみと考える看護技術：注射 (2) 筋肉内注射 (臀部)
看護技術 55(14): 1504-1506, 2009

平井眞理

放射線技師の皆さんに役立つ心電図の知識
健康文化 44: 33-38, 2009

池松裕子

集中治療領域の認定看護師と専門看護師
日本集中治療医学会雑誌 16(2): 151-156, 2009

河野由理, 大森ゆみ子, 増田美登里, 河野美智子

スタッフの育児と仕事を両立させる支援
ナースマネジャー 11(5): 36-40, 2009

国府浩子, 藤井徹也

からだのしくみと考える看護技術：生体機能にかかわる技術 (6) 呼吸状態の観察
看護技術 55(7): 698-700, 2009

国府浩子, 藤井徹也

からだのしくみと考える看護技術：生体機能にかかわる技術 (7) 呼吸音の聴取

看護技術 55(8): 802-804, 2009

谷口由美子, 黒柳いつ子, 今井美恵子, 清水 恵, 前川厚子, 西田政弘, 榊田美咲, 堀井直子, 桜井志保美, 熊谷有記, 大西丈二

工業技術と臨床看護実践知のコラボレーション—膝関節拘縮を有する高齢者のための除圧ピローの開発と効果の検証
ナーシング 29(24): 126-127, 2009

前川厚子

ストーマ保有者への尊厳あるエンゼルケアの推進

消化器外科 Nursing 14(3): 300-301, 2009

奈良間美保

小児在宅ケアのカギは病院と地域との“連携”—入院中からの継続的な支援のポイント—

コミュニティケア 11(7): 50-54, 2009

奈良間美保, 榊原久孝, 鈴木重行, 鈴木國文, 浅野みどり, 玉腰浩司, 山田純生, 河村守雄, 堀 容子, 會田信子, 石田和人, 清水英樹, 林 久恵, 大西丈二

大学院教育改革支援プログラム「専攻横断型の包括的保健医療職の育成」の取組み

日本看護医療学会誌 11(1): 1-5, 2009

新實夕香理

からだのしくみと考える看護技術—巻法

看護技術 55(9): 906-908, 2009

新實夕香理, 井口弘子, 太田勝正

看護業務と患者のプライバシーの保護の両立を目指す電子カルテ画面表示項目の検討

医療情報学 29(Suppl.): 1066-1071, 2009

新家一輝

小児の入院と母親の付き添いがきょうだいに及ぼす影響と支援

小児看護 32(10): 1370-1378, 2009

前田樹海, 太田勝正, 井口弘子, 新實夕香理, 中村 恵, 浅沼優子, 山内一史, 唐澤由美子, 門井貴子, 鈴木千智, 藤井徹也, 松田正巳

職種および関係性の違いによるカルテ情報の共有範囲：入院患者を対象とした全国調査より

医療情報学 29(Suppl.): 728-732, 2009

佐合絹子, 柴田 清, 安田宣成, 榊原久孝

特定健診における CKD の位置づけ

Progress in Medicine 29(8): 1969-1975, 2009

堀田 洋, 八谷 寛, 玉腰浩司, 豊嶋英明

臨床—冠動脈疾患危険因子とアディポサイトカイン— (血管とアディポサイエンス)

Adiposcience 6(2): 161-167, 2009

玉腰浩司, 高橋由紀, 藤井徹也, 工藤美子

臨床場面で役立つ形態機能学—子宮とつながる臓器、子宮を取り囲む臓器— (特集看護技術：こんなときどうする？困ったときの対応)

看護技術 55(5): 158-161, 2009

玉腰浩司, 高橋由紀, 藤井徹也

臨床場面で役立つ形態機能学—赤ちゃんの成長に合わせて大きくなる子宮— (特集看護技術: こんなときどうする? 困ったときの対応)

看護技術 55(5): 162-163, 2009

玉腰浩司, 高橋由紀, 藤井徹也

臨床場面で役立つ形態機能学—お母さんのお腹の上からとらえた子宮の変化 (特集看護技術: こんなときどうする? 困ったときの対応)

看護技術 55(5): 164-169, 2009

堀田 洋, 八谷 寛, 玉腰浩司, 松下邦洋, 竹藤聖子, 大磯ユタカ, 豊嶋英明

予防医学—アディポサイトカインから見た喫煙の悪影響—

現代医学 56(3): 545-553, 2009

高橋由紀, 玉腰浩司, 川部 勉, 鈴木和代, 田辺圭子

出産直後のカンガルーケアが母子に与える影響についての研究—愛着形成を促進する周産期の関わりについて—

明治安田こころの健康財団研究助成論文集 44(1): 58-65, 2009

野村雪乃, 田辺圭子

ピアカウンセラー養成講座が受講者に及ぼす影響

愛知母性衛生学会誌 27: 49-57, 2009

山内豊明

眠ったままで河を渡る

Expert Nurse 25(1): 16-17, 2009

山内豊明, 北川隆吉, 濱松加寸子

医学・看護を学んだ一医療者の視点で、ゴールを見据え、看護の本質を伝えつづける—現実の事象を整理するアセスメント学を通し、患者の命と暮らしを支えて—

Nurse eye 22(3): 62-76, 2009

山内豊明

急性期看護の知・技・心—第39回日本看護学会基調講演—

看護 61(4): 147-151, 2009

山内豊明, 田淵典子, 北村愛子, 岡本かおり, 山下さつき, 寺岡美千代

急性期看護の知・技・心—第39回日本看護学会シンポジウム—

看護 61(4): 152-159, 2009

山内豊明

書評「臨床看護の基礎となる新看護学テキスト—看護の革新を目指して— (日野原重明 著)」

看護 61(12): 106, 2009

山内豊明

看護師長がスタッフに伝える「患者を理解するためのフィジカルアセスメント」

看護管理 19(8): 608-616, 2009

山内豊明

専門分野 I フィジカルアセスメントの考え方と教育方略

看護教育 50(3): 210-215, 2009

山内豊明

訪問看護におけるフィジカルアセスメントに学ぶ 第1回 在宅療養を支援するフィジカルアセスメント
月刊ナーシング 29(10): 100-103, 2009

山内豊明

訪問看護におけるフィジカルアセスメントに学ぶ 第2回 自信がもてる呼吸音の聴診と評価
月刊ナーシング 29(11): 126-129, 2009

山内豊明

訪問看護におけるフィジカルアセスメントに学ぶ 最終回 異変を見抜く循環器系のアセスメント
月刊ナーシング 29(13): 142-145, 2009

山内豊明

フィジカルアセスメント症状別編 連載3 腹痛
ナース専科 29(1): 84-87, 2009

山内豊明

フィジカルアセスメント症状別編 連載4 呼吸困難
ナース専科 29(2): 84-87, 2009

山内豊明

フィジカルアセスメント症状別編 連載5 咳嗽・喀痰
ナース専科 29(3): 84-87, 2009

山内豊明

フィジカルアセスメント症状別編 連載6 意識障害
ナース専科 29(4): 92-95, 2009

山内豊明

フィジカルアセスメント症状別編 連載7 麻痺
ナース専科 29(5): 84-87, 2009

山内豊明

フィジカルアセスメント症状別編 連載8 脈・血圧
ナース専科 29(6): 84-87, 2009

山内豊明

フィジカルアセスメント症状別編 連載9 尿量の変化
ナース専科 29(7): 94-97, 2009

山内豊明

フィジカルアセスメント症状別編 連載10 チアノーゼ
ナース専科 29(8): 92-95, 2009

山内豊明

フィジカルアセスメント症状別編 連載11 脱水
ナース専科 29(9): 90-93, 2009

山内豊明

フィジカルアセスメント症状別編 連載12 ショック

ナース専科 29(10): 76-79, 2009

山内豊明

フィジカルアセスメント症状別編 連載13 悪心・嘔吐
ナース専科 29(11): 80-83, 2009

山内豊明

フィジカルアセスメント症状別編 連載14 下痢・便秘
ナース専科 29(12): 80-83, 2009

山内豊明

フィジカルアセスメント① フィジカルアセスメントって何だろう？
プチナース 18(1): 8-10, 2009

山内豊明

フィジカルアセスメント② 大事なことを見抜くアセスメント能力をつける
プチナース 18(2): 10-12, 2009

山内豊明

フィジカルアセスメント③ 呼吸のフィジカルアセスメント
プチナース 18(3): 12-15, 2009

[科研費・班研究等]

安藤詳子

愛知病院外来患者調査報告と緩和デイケア試行調査報告
受託研究「愛知病院における在宅療養がん患者と家族のための緩和デイケアの開発」事業報告書 22, 2009

葛谷雅文, 植村和正, 平川仁尚, 安藤詳子, 飯島 節, 小坂陽一, 近藤克則, 樋口京子
高齢者の在宅終末期ケアの標準化及び指針策定に向けた基礎的研究
平成20・21年度厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業総合研究報告書 80, 2009

山内豊明

看護実践能力育成につながる看護技術教育の方法の開発と評価規準の作成
平成19-20年度厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業総合研究報告書：看護実践能力育成につながる看護技術教育の方法の開発と評価規準の作成 1-10, 2009

山内豊明, 松井香奈

呼吸音の聴取における生体シミュレーターの活用の教育効果
平成19-20年度厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業総合研究報告書：看護実践能力育成につながる看護技術教育の方法の開発と評価規準の作成 11-25, 2009

山内豊明, 竹中裕子

心音の聴取における生体シミュレーターの活用の教育効果
平成19-20年度厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業総合研究報告書：看護実践能力育成につながる看護技術教育の方法の開発と評価規準の作成 26-49, 2009

山内豊明, 山内香奈

シミュレーターを用いたフィジカルアセスメント教育の効果の検討
平成19-20年度厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業総合研究報告書：看護実践能力育成につながる看護

看護技術教育の方法の開発と評価規準の作成 50-74, 2009

山内豊明, 三笠里香

シミュレーターを用いたフィジカルアセスメントに関する継続教育プログラム効果の検討

平成19-20年度厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業総合研究報告書：看護実践能力育成につながる看護技術教育の方法の開発と評価規準の作成 75-87, 2009

山内豊明

特定疾患患者の生活の質の向上に資するケアの在り方 人工呼吸器装着 ALS 在宅療養者への安全な気管内吸引実施能力に関する検討

平成19年度愛知県特定疾患研究協議会研究報告書 91-92, 2009

山内豊明

看護実践能力育成につながる看護技術教育の方法の開発と評価規準の作成

平成20年度厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業総括・分担研究報告書：看護実践能力育成につながる看護技術教育の方法の開発と評価規準の作成 1-2, 2009

山内豊明, 松井香奈

呼吸音の聴取における生体シミュレーターの活用の教育効果

平成20年度厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業総括・分担研究報告書：看護実践能力育成につながる看護技術教育の方法の開発と評価規準の作成 8-22, 2009

山内豊明, 竹中裕子

心音の聴取における生体シミュレーターの活用の教育効果

平成20年度厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業総括・分担研究報告書：看護実践能力育成につながる看護技術教育の方法の開発と評価規準の作成 23-46, 2009

横内光子, 高桑宗右エ門, WIJEWICKRAMA Athula

外来化学療法部門の稼働シミュレーションに向けた診療プロセスモデルの試作

平成19-21年度厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）平成20年度総括研究報告書 99-115, 2009

横内光子

外来化学療法部の運営状況

平成19年度 -21年度厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）平成21年度報告資料 80-114, 2009

横内光子

名古屋大学外来化学療法部門のタイムプロセスモデリングからシミュレーション

平成19-21年度厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）平成21年度報告資料 115-125, 2009

〔その他の印刷物等〕

會田信子

解説：遺伝カウンセリングの実際—Duchenne 型筋ジストロフィーの保因者を例として

『遺伝カウンセリングの実際—Duchenne 型筋ジストロフィーの保因者を例として（解説書付き DVD）』（會田信子, 齋藤加代子監修）医学映像教育センター, 2009

安藤詳子

名声会会報第39号発刊に当たり

名声会会報 39: 9-10, 2009

浅野みどり, 吉田久美子, 門間晶子, 大橋幸美, 古澤亜矢子, 山本真実, 山北奈央子
『すきっぷ・ママクラスリフレッシュセミナーテキスト』育児ライフスキルプログラム研究会, 2009

藤本悦子

高齢者の夜間の不眠不穏を改善するための研究② 入浴促進効果をもたらす用具の開発とその導入プログラムの作成
第39回三菱財団事業報告書 494-496, 2009

鈴木和代, ナーベルプラ座

巻頭言: ナーベルプラ座の10年間の軌跡

性教育活動報告書「ナーベルプラ座10周年を記念して」(鈴木和代(ナーベルプラ座)) 1-18, 2009

山内豊明

米国に学ぶ看護職の多様性・専門性

JANAMEF ニュース 33: 6, 2009

山内豊明

看護教育におけるシミュレータの可能性と期待

第3回臨床医学看護教育スキルラボ研究会レポート 2, 2009

[学会発表]

志賀朋美, 平井真理

CCUにおける人工呼吸器関連肺炎(VAP)発生率と危険因子

第23回心臓血管外科ウインターセミナー, 2009.1(軽井沢町, 長野)

国府浩子, 竹井留美, 横内光子, 澤井美穂

乳がん患者の初期治療決定の困難感とがんに対する取り組みとの関連(日本がん看護学会誌 23(Suppl.): 178, 2009)

第23回日本がん看護学会学術集会, 2009.2(宜野湾)

則竹宏美, 荻野晃子, 安藤詳子, 阿部まゆみ

スピリチュアルペインの表出により退院することができた40歳代の終末期がん患者に関する報告(日本がん看護学会誌 23(Suppl.): 238, 2009)

第23回日本がん看護学会学術集会, 2009.2(宜野湾)

熊谷有記, 前川厚子, 国府浩子, 阿部まゆみ

がん患者の家族と被介護者の介護負担感およびその関連(日本がん看護学会誌 23(Suppl.): 249, 2009)

第23回日本がん看護学会学術集会, 2009.2(宜野湾)

酒井幸子, 前川厚子, 熊谷有記, 廣畑加代子, 堀井直子, 竹井留美, 阿部まゆみ, 国府浩子, 藤田紀見

がん体験者の治療と症状がQOLに及ぼす影響(日本がん看護学会誌 23(Suppl.): 252, 2009)

第23回日本がん看護学会学術集会, 2009.2(宜野湾)

堀井直子, 前川厚子

肺がん患者の生活調整尺度の開発(日本がん看護学会誌 23(Suppl.): 255, 2009)

第23回日本がん看護学会学術集会, 2009.2(宜野湾)

牧野雅子, 前川厚子, 国府浩子

がんによる喉頭摘出者の代用音声評価(日本がん看護学会誌 23(Suppl.): 280, 2009)

第23回日本がん看護学会学術集会, 2009.2(宜野湾)

藤田紀見, 前川厚子, 熊谷有記, 酒井幸子, 竹井留美, 廣畑加代子, 堀井直子
終末期在宅がん患者に対する訪問看護師の専門的役割 (日本がん看護学会誌 23(Suppl.): 287, 2009)
第23回日本がん看護学会学術集会, 2009.2 (宜野湾)

池松裕子

クリティカルケア看護師に求められる倫理的センス (日本集中治療医学会雑誌 16(Suppl.): 318, 2009)
第36回日本集中治療医学会学術集会, 2009.2 (大阪)

祖父江正代, 前川厚子, 竹井留美, 馬場真子

ストーマ保有者にみられるスピリチュアルペイン構造 (日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 25(1): 62, 2009)
第26回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会, 2009.2 (青森)

吉田和枝, 高植幸子, 前川厚子

壮年期の潰瘍性大腸炎患者のセクシュアリティ (日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 25(1): 67, 2009)
第26回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会, 2009.2 (青森)

前川厚子, 竹井留美, 祖父江正代, 吉田和枝, 小林文子, 三浦ゆかり, 渡辺富美子

在宅看護学の教科書におけるストーマケアのコンテンツ (日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 25(1): 124, 2009)
第26回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会, 2009.2 (青森)

藤田紀見, 前川厚子, 奈良間美保, 榊原久孝

多職種連携とケアマネジメント トータルヘルスプランナーの理念から見た多職種連携とケアマネジメントのあり方 (日本在宅医学会雑誌 11(1): 93-94, 2009)
第12回日本在宅医学会大会, 2009.2 (千葉)

ASANO Midori, FURUZAWA Ayako, OHASHI Yukimi, KADOMA Akiko, YOSHIDA Kumiko, YAMAKITA Naoko

A pilot study: intervention outcomes from the skip-mamma program for mothers of children with autistic spectrum disorders (Proceedings. p 134, 2009)
12th East Asia Forum of Nursing Scholars, 2009.3 (Tokyo)

渡邊祥子, 安藤詳子

訪問看護ステーションにおける在宅緩和ケア実践の現状 (抄録集, 2009)
第13回日本看護研究学会東海地方会, 2009.3 (豊明)

YAMAUCHI Masaaki, INDEN Yasuya, YOSHIDA Naoki, KAMIYA Hiromi, KITAMURA Tomoya, UCHIKAWA Tomohiro, KITAMURA Kazuhisa, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki

Importance of frequency analysis of atrial electrocardiogram to detect the conversion of persistent atrial fibrillation by Bepridil (Circ J 73(Suppl.I): 298, 2009)
73rd Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2009.3 (Osaka)

UCHIKAWA Tomohiro, INDEN Yasuya, YAMAUCHI Masaaki, YOSHIDA Naoki, KAMIYA Hiromi, KITAMURA Tomoya, KITAMURA Kazuhisa, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki

Bepridil enhanced the transmural dispersion of repolarization more greatly than amiodarone at lower heart rates (Circ J 73(Suppl. I): 298, 2009)
73rd Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2009.3 (Osaka)

YOSHIDA Naoki, INDEN Yasuya, YAMAUCHI Masaaki, KAMIYA Hiromi, KITAMURA Tomoya, UCHIKAWA Tomohiro, KITAMURA Kazuhisa, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyoaki

Electrocardiographic characteristics of ventricular arrhythmias originating near the His bundle (Circ J 73(Suppl.I): 299, 2009)
73rd Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2009.3 (Osaka)

TATEMATSU Yasushi, YOSHIDA Yukihiro, YOSHIDA Naoki, INDEN Yasuya, YAMAUCHI Masaaki, KAMIYA Hiromi, KITAMURA Tomoya, UCHIKAWA Tomohiro, KITAMURA Kazuhisa, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyooki
Optimization of interventricular delay in cardiac resynchronization therapy using maximum LV dp/dt (Circ J 73(Suppl.I): 568, 2009)
73rd Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2009.3 (Osaka)

YOSHIDA Naoki, INDEN Yasuya, YAMAUCHI Masaaki, KAMIYA Hiromi, KITAMURA Tomoya, UCHIKAWA Tomohiro, KITAMURA Kazuhisa, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyooki
Mapping and ablation of ventricular arrhythmia originating near the His bundle guided by virtual electrograms using a noncontact mapping system (Circ J 73(Suppl.I): 616, 2009)
73rd Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2009.3 (Osaka)

KAMIYA Hiromi, INDEN Yasuya, YOSHIDA Naoki, YAMAUCHI Masaaki, KITAMURA Tomoya, UCHIKAWA Tomohiro, KITAMURA Kazuhisa, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyooki
Heart rate variability and QT dynamics in patients with Brugada syndrome (Circ J 73(Suppl.I): 652, 2009)
73rd Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2009.3 (Osaka)

YAMAMOTO Takashi, YOSHIDA Yukihiro, TATEMATSU Yasushi, YOSHIDA Naoki, INDEN Yasuya, YAMAUCHI Masaaki, KAMIYA Hiromi, KITAMURA Tomoya, UCHIKAWA Tomohiro, KITAMURA Kazuhisa, **HIRAI Makoto**, MUROHARA Toyooki
Preoperative eGFR and LVdp/dtmax predict the long-term effectiveness of cardiac resynchronization therapy (Circ J 73(Suppl.I): 675, 2009)
73rd Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2009.3 (Osaka)

前田 修, 藤原多子, 細野覚代, 寺内幹雄, 梶山広明, 柴田清住, 井篁一彦, 那波明宏, 山本真一, 玉腰浩司, 吉川史隆
質量解析を利用して見出した卵巣漿液性腺癌の白金製剤耐性の一翼を担う細胞膜骨格蛋白 spectrin α II- β II tetramers ー基礎的検証と抗癌剤感受性の指標としての臨床応用をめざしてー (日本産科婦人科学会雑誌 61(2): 427, 2009)
第61回日本産科婦人科学会学術講演会, 2009.4 (京都)

大野泰正, 玉腰浩司, 吉川史隆
分娩時発症型の妊娠高血圧症候群の母児予後と発症背景の検討 (日本産科婦人科学会雑誌 61(2): 730, 2009)
第61回日本産科婦人科学会学術講演会, 2009.4 (京都)

高橋 都, 加藤知行, 前川厚子, 小池真規子, 甲斐一郎
ストーマ保有者の性相談に関する ET/WOC ナース調査 相談の実態とナースの情報ニーズ (日本創傷・オストミー・失禁ケア研究会誌 13(1): 31, 2009)
第18回日本創傷・オストミー・失禁ケア研究会, 2009.5 (仙台)

高橋はるか, 鈴木和代
産後1ヵ月健診時の母親における“抱っこ”の実態
第27回愛知県母性衛生学会, 2009.5 (名古屋)

藤丸郁代, 榊原久孝
男性販売労働者の抑うつ症状と労働負担との関連 (産業衛生学雑誌 51(臨時増刊号): 416, 2009)
第82回日本産業衛生学会総会, 2009.5 (福岡)

西谷直子, 榊原久孝
勤務形態別での睡眠状態と白血球数との関係 (産業衛生学雑誌 51(臨時増刊号): 424, 2009)
第82回日本産業衛生学会総会, 2009.5 (福岡)

FURUZAWA Ayako, **ASANO Midori**

A literature review regarding families of children and adolescents with pervasive developmental disorder (Abstract p 153, 2009)
9th International Family Nursing Conference, 2009.6 (Reykjavik, Iceland)

ASANO Midori, FURUZAWA Ayako, KADOMA Akiko, OHASHI Yukimi, YAMAKITA Naoko, YAMAMOTO Mami, YOSHIDA Kumiko

Special feature on family value of the mothers who have child with autism spectrum disorders in Japan (Abstract p 154, 2009)
9th International Family Nursing Conference, 2009.6 (Reykjavik, Iceland)

KADOMA Akiko, **ASANO Midori**

Is clinical ethnography according to Kleinman useful to understand women's suffering?: narratives of a single mother (Abstract pp 170-171, 2009)

9th International Family Nursing Conference, 2009.6 (Reykjavik, Iceland)

太田勝正, 杉田淳美

看護学生の「ヒバク」という言葉のとらえ方とイメージ (第3報)

第43回日本保健物理学会研究発表会, 2009.6 (大阪)

HIRAI Makoto, YOSHIDA Yukihiko, INDEN Yasuya, MUROHARA Toyoaki, HIRAI Masaaki, SAIKAWA Tetsunori, SUGI Kaoru, YAMAUCHI Kazunobu

Framework study of MFER (Medical waveform Format Encoding Rules) - based ECG on e-learning and on clinical lifetime data storage

13th Congress of International Society for Holter and Noninvasive Electrocardiology, 2009.6 (Yokohama)

中井亜紗美, 宮部純子, 堀 容子, 立岡弓子, 鈴木洋子

健康行動に関する理論を用いた減量への支援についての検討 (日本循環器病予防学会誌 44(2): 108, 2009)

第45回日本循環器病予防学会・日本循環器管理研究協議会総会, 第74回生活習慣病予防講演会, 2009.6 (横浜)

小林淳美, 堀 容子, 今川良枝, 濱本律子, 鈴木洋子, 星野純子, 林 啓子

笑い誘発プログラムの短期効果に関する検討 (日本循環器病予防学会誌 44(2): 112, 2009)

第45回日本循環器病予防学会・日本循環器管理研究協議会総会, 第74回生活習慣病予防講演会, 2009.6 (横浜)

鈴木千智, 太田勝正, 松田正巳

地域看護領域における倫理に関する一考察 — Frances E.Racher が提案する倫理的基盤の考え方—

第2回日本看護倫理学会年次大会, 2009.6 (佐久)

伊藤千晴, 太田勝正

臨床現場における看護倫理に関する教育の現状と課題—特定機能病院について—

第2回日本看護倫理学会年次大会, 2009.6-7 (佐久)

萩原加寿巳, 岩本斉子, 久永みゆき, 橋本 淳, 野田淳子, 陶山元一, 鈴木有紀, 阿部まゆみ, 安藤詳子

緩和ケアの試行的運営に関する報告 (講演抄録集 p 215, 2009)

第14回日本緩和医療学会学術大会, 2009.6 (大阪)

鈴木有紀, 阿部まゆみ, 安藤詳子, 光行多佳子, 橋本 淳, 野田淳子, 萩原加寿巳, 岩本斉子, 久永みゆき, 渡邊 正

緩和ケア試行前における外来通院患者の在宅療養に関するニーズ (講演抄録集 p 217, 2009)

第14回日本緩和医療学会学術大会, 2009.6 (大阪)

保利美也子, 久保田正和, 安藤功一, 木原武士, 高橋良輔, 木下彩栄

在宅認知症高齢者とその家族介護者に対するテレビ電話システムを用いたコミュニケーションの有効性 (抄録集 p 94, 2009)

第20回日本在宅医療学会学術集会, 2009.6 (横浜)

OTA Katsumasa, IGUCHI Hiroko, MATSUDA Masami, **NIIMI Yukari**, YAMANOUCHI Kazufumi, MAEDA Jukai, ASANUMA Yuko, NAKAMURA Megumi, KADOI Takako, SUZUKI Chisato, FUJII Tetsuya, KARASAWA Yumiko
Patient perception of information privacy in Japan - development of the scale and nationwide survey -
24th Quadrennial Congress of ICN, 2009.6-7 (Durban, South Africa)

YAMANOUCHI Kazushi, **OTA Katsumasa**
Education for Japanese informatics nurses
10th International Congress on Nursing Informatics, 2009.6-7 (Helsinki, Finland)

因田恭也, 吉田直樹, 神谷裕美, 北村倫也, 内川智浩, 辻 幸臣, **平井真理**, 室原豊明
新しい2D ストレイン心エコー指標 (i-index) による CRT レスポンダー予測 (心電図 29(Suppl.3): S-3-281, 2009)
第26回日本心電学会学術集会, 2009.7 (京都)

吉田直樹, 因田恭也, 神谷裕美, 北村倫也, 内川智浩, 辻 幸臣, **平井真理**, 室原豊明
Non-contact mapping system による心房細動停止機序の検討 (心電図 29(Suppl.3): S-3-339, 2009)
第26回日本心電学会学術集会, 2009.7 (京都)

神谷裕美, 因田恭也, 吉田直樹, 北村倫也, 内川智浩, 辻 幸臣, **平井真理**, 室原豊明
Brugada 症候群における心拍変動解析と QT-RR の関係 (心電図 29(Suppl.3): S-3-374, 2009)
第26回日本心電学会学術集会, 2009.7 (京都)

吉田幸彦, 因田恭也, 吉田直樹, 神谷裕美, 北村倫也, 内川智浩, 辻 幸臣, **平井真理**, 室原豊明
低心機能症例に合併した完全房室ブロックに対する心臓再同期療法の臨床的効果 (心電図 29(Suppl.3): S-3-491, 2009)
第26回日本心電学会学術集会, 2009.7 (京都)

北村倫也, 因田恭也, 吉田直樹, 神谷裕美, 北村倫也, 内川智浩, 辻 幸臣, **平井真理**, 室原豊明
心室頻拍の治療に難渋した1例 (心電図 29(Suppl.3): S-3-521, 2009)
第26回日本心電学会学術集会, 2009.7 (京都)

新貝夫弥子, 岩田広治, 安藤由明, 山下年成, 藤田崇志, 林 裕倫, 横内光子, 国府浩子, 竹井留美
Pilot Study—乳癌化学療法のレジメンによる体重増加と体水分貯留の関連性 (プログラム抄録集 p 257, 2009)
第17回日本乳癌学会総会, 2009.7 (東京)

宇津千晴, 国府浩子
乳がん患者の母親としての思いと子どもとの関わり (プログラム抄録集 p 405, 2009)
第17回日本乳癌学会学術総会, 2009.7 (東京)

川村明子, 国府浩子
乳がん患者体験者の自己検診に対する捉え方と実施状況 (プログラム抄録集 p 405, 2009)
第17回日本乳癌学会学術総会, 2009.7 (東京)

田辺圭子, 玉腰浩司, 室月 淳
母娘二世代の母子健康手帳にみる妊娠出産経過の関連
第2回伊勢志摩 DOHaD カンファレンス, 2009.7 (津)

AIDA Nobuko, MIYAHARA Yumiko
Factor analysis of complications following vitreous surgery and consideration of predictive nursing (Abstract S479, 2009)
19th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics, 2009.7 (Paris, France)

田辺圭子, 室月 淳

妊婦の出生時体重が妊娠経過の血圧に与える影響 (日本周産期・新生児医学会雑誌 45(2): 563, 2009)
第45回日本周産期・新生児医学会学術集会, 2009.7 (名古屋)

古澤亜矢子, 浅野みどり, 吉田久美子, 門間晶子, 大橋幸美, 山北奈央子
自閉症の子どもを養育する家族への育児ライフスキル促進プログラムを用いた看護支援の効果 (抄録集 p 157, 2009)
第19回日本小児看護学会学術集会, 2009.7 (札幌)

山北奈央子, 浅野みどり
医療施設における保育士の専門性の明確化に向けた文献検討 (抄録集 p 221, 2009)
第19回日本小児看護学会学術集会, 2009.7 (札幌)

勝田仁美, 二宮啓子, 奈良間美保, 平林優子, 丸 光恵, 村上泰子
特別支援学校看護師のための「ガイドライン」の評価—研修会参加者事前アンケート調査結果より— (講演集 p 240, 2009)
第19回日本小児看護学会学術集会, 2009.7 (札幌)

HOSHINO Junko, SAKAKIBARA Hisataka, **HORI Yoko**
Association between caregiving and hypertension (Abstract p 381, 2009)
1st Asia Pacific Conference on Health Promotion and Education, 2009.7 (Chiba)

井戸陽子, 榊原久孝
乳幼児を持つ母親のQOLに関連する要因の検討 (抄録集 p 21, 2009)
第55回東海公衆衛生学会学術大会, 2009.7 (名古屋)

西田友子, 榊原久孝
女性の痩せと血中栄養指標との関連 (抄録集 p 28, 2009)
第55回東海公衆衛生学会学術大会, 2009.7 (名古屋)

岡村雪子, 榊原久孝
就労女性の子宮頸がん検診受診行動に関連する要因 (抄録集 p 29, 2009)
第55回東海公衆衛生学会学術大会, 2009.7 (名古屋)

西谷直子, 榊原久孝
非肥満者の体重増加に関する要因 (抄録集 p 43, 2009)
第55回東海公衆衛生学会学術大会, 2009.7 (名古屋)

守田恵理子, 太田勝正, 新實夕香理
看護退院サマリーの他施設への送付の実態と問題について—A県の実態調査より— (日本看護研究学会雑誌 32(3): 214, 2009)
第35回日本看護研究学会学術集会, 2009.8 (横浜)

渡邊祥子, 安藤詳子
緩和ケア特化型訪問看護ステーションにおける在宅緩和ケア実践の特徴 (日本看護研究学会雑誌 32(3): 354, 2009)
第35回日本看護研究学会学術集会, 2009.8 (横浜)

浅野みどり, 古澤亜矢子, 大橋幸美, 門間晶子, 杉浦太一, 佐合真紀, 山田知子, 三浦清世美, 古田恵香, 山本真実
障害のある多胎児を育てる家族への支援活動—家族の強みを尊重したセッションを導入して— (日本看護研究学会雑誌 32(3): 371, 2009)
第35回日本看護研究学会学術集会, 2009.8 (横浜)

新實夕香理, 藤井徹也, 太田勝正, 井口弘子, 中村 恵, 浅沼優子, 山内一史, 前田樹海, 門井貴子, 鈴木千智
入院患者の情報プライバシーに対する認識の全国調査 (第2報)—PIPSスコアと属性およびJHLCとの関連 (日本看護研究学

会雑誌 32(3): 375, 2009)

第35回日本看護研究学会学術集会, 2009.8 (横浜)

横内光子, 大野ゆう子, 高桑宗右エ門, WJEWICKRAM Athula, 竹井留美, 岡本麻美
外来化学療法部門の診療システムシミュレーション (発表論文抄録集 pp 146-147, 2009)
第37回日本行動計量学会大会, 2009.8 (大分)

MATSUDA Masami, NUNTABOOT Khanitta, HARA Shoichiro, **OTA Katsumasa**

Primary Health Care 2008 and Reform of Community Health & Nursing System in Thailand-Integrated approach with primary care, health promotion, national health insurance & care insurance
第24回日本国際保健医療学会学術大会, 2009.8 (仙台)

古川大祐, 横内光子

外来通院治療中のがん患者の災害時のニーズと必要な援助 (日本災害看護学会誌 11(1): 136, 2009)
第11回日本災害看護学会年次大会, 2009.8 (神戸)

浅野みどり

Meet the Expert ースペシャルニーズをもつ子どもと家族への予防的育児支援
第19回日本外来小児科学会年次集会, 2009.8 (名古屋)

IKEMATSU Yuko

Credentialing methods: international perspective

10th Congress of the World Federation of Societies of Intensive and Critical Care Medicine, 2009.8-9 (Florence, Italy)

谷口由美子, 黒柳いつ子, 前川厚子, 堀井直子, 大西丈二, 西田政弘, 祖父江正代
膝の褥瘡予防ピローの開発と評価 (日本褥瘡学会誌 11(3): 349, 2009)
第11回日本褥瘡学会学術大会, 2009.9 (大阪)

黒柳いつ子, 谷口由美子, 前川厚子, 堀井直子, 大西丈二, 西田政弘, 祖父江正代
両膝間褥瘡予防ピローの開発 (日本褥瘡学会誌 11(3): 381, 2009)
第11回日本褥瘡学会学術大会, 2009.9 (大阪)

大西丈二, 前川厚子, 岡戸京子

ハンディ型血流スコープを用いた褥瘡の評価経験 (日本褥瘡学会誌 11(3): 381, 2009)
第11回日本褥瘡学会学術大会, 2009.9 (大阪)

祖父江正代, 前川厚子, 馬場真子

がん終末期患者の褥瘡に対する意味づけとケアへの期待 (日本褥瘡学会誌 11(3): 406, 2009)
第11回日本褥瘡学会学術大会, 2009.9 (大阪)

新家一輝, 藤原千恵子, 石井京子, 河上智香, 泉 美香, 山田晃子, 倉橋理香, 武内紗千, 山本菜摘
入院児のきょうだいの人格的成長尺度の作成 (講演集 p 186, 2009)
第16回日本家族看護学会学術集会, 2009.9 (高山)

山田晃子, 新家一輝, 泉 美香, 倉橋理香, 山本菜摘, 武内紗千, 河上智香, 石井京子, 藤原千恵子
小児の入院と母親の付き添いによる、きょうだいの肯定的な変化の程度と属性・背景因子との関連性 (講演集 p 187, 2009)
第16回日本家族看護学会学術集会, 2009.9 (高山)

山本真実, 浅野みどり, 古澤亜矢子, 吉田久美子, 門間晶子, 大橋幸美

広汎性発達障害の子どもをもつ母親の悩みと仲間による癒しの効果 (抄録集 p 79, 2009)

第16回日本家族看護学会学術集会, 2009.9 (高山)

門間晶子, 浅野みどり

昼夜働きながら子育てするシングルマザーの経験(抄録集 p 168, 2009)

第16回日本家族看護学会学術集会, 2009.9 (高山)

YAMAUCHI Toyoaki

The role of physical assessment for RN (Cardiovascular Anesthesia 13(2): 48, 2009)

第8回アジア心臓血管麻酔学会, 第14回日本心臓血管麻酔学会学術大会, 2009.9 (東京)

SUZUKI Chisato, MATSUDA Masami, **OTA Katsumasa**

Information sharing of public health nurses in Japan: ethical dilemma and decision making process

10th Anniversary Conference of ICNE, 2009.9 (Surry, UK)

OTA Katsumasa, ITO Chiharu

Essential contents for nursing ethics education from the Delphi Study in Japan

10th Anniversary Conference of ICNE, 2009.9 (Surry, UK)

今井美香, 岩瀬 敏, 平井眞理

排泄時のいきみ圧の違いによる循環系の反応からみた、負荷の少ない排泄体位の検討(日本心臓病学会誌 4(Suppl.I): 424, 2009)

第57回日本心臓病学会, 2009.9 (札幌)

Kazuteru Niinomi, SAKAI Saeko, NAGAI Toshisaburo, ARAKIDA Mikako, FUJIWARA Chieko, NITTA Norie, ITO Mikiko, ENDO Yoshimi, OKUNO Hiroko, TAKAMA Satomi

First report of the Gendai GP Program: Establish of an educational system for the development of skilled professionals : understanding levels of developmental disorders (Proceedings. p 168, 2009)

1st International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, 2009.9 (Kobe)

OKUNO Hiroko, SAKAI Saeko, NAGAI Toshisaburo, ARAKIDA Mikako, FUJIWARA Chieko, NITTA Norie, ITO Mikiko, ENDO Yoshimi, **NIINOMI Kazuteru**, TAKAMA Satomi

The usefulness of lecture including parent training skills for students of clinical and public health nurses (Proceedings. p 168, 2009)

1st International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, 2009.9 (Kobe)

伊藤千晴, 太田勝正

デルファイ法を用いた看護倫理教育内容の抽出—教育、臨床の両現場からの検討—(学術集会講演集: 144, 2009)

第35回日本看護学教育学会学術集会, 2009.9 (北見)

山田聡子, 太田勝正

フォーカスグループインタビューによる臨地実習指導者役割の検討(学術集会講演集: 213, 2009)

第35回日本看護学教育学会学術集会, 2009.9 (北見)

倉橋理香, 新冨一輝, 泉 美香, 山田晃子, 山本菜摘, 武内紗千, 河上智香, 石井京子, 藤原千恵子

小児の入院と母親の付き添いがきょうだいにおよぼす影響—きょうだいの情緒と行動の問題の程度と前向きな変化・成長の関係—(日本看護学会論文集: 小児看護 40: 87-89, 2010)

第40回日本看護学会学術集会, 2009.9 (高知)

武内紗千, 河上智香, 新冨一輝, 倉橋理香, 泉 美香, 山田晃子, 山本菜摘, 石井京子, 藤原千恵子

病棟の違いによる入院児のきょうだい支援に対する看護師の認識と実践の差異(日本看護学会論文集: 小児看護 40: 93-95,

2010)

第40回日本看護学会学術集会, 2009.9 (高知)

大島千佳, 有田広美, 藤本悦子

継続的下肢ホットバック温器法が施設入所高齢者の睡眠に与える影響 (講演抄録集 p 61, 2009)

第8回日本看護技術学会学術集会, 2009.9 (旭川)

久保田正和, 保利美也子, 宋 慶華, 日吉和子, 木下彩栄

IT利用が在宅介護者の介護ストレスに与える影響—認知症ケアにあたる在宅介護者に焦点をあてて— (抄録集 p 184, 2009)

第14回日本老年看護学会学術集会, 2009.9 (札幌)

田辺圭子, 玉腰浩司, 室月 淳

母娘二世代の母子健康手帳による妊娠出産経過の世代間比較 (抄録集 p 107, 2009; 母性衛生 50(3): 146, 2009)

第50回日本母性衛生学会学術集会, 2009.9 (横浜)

山口香苗, 田辺圭子

断乳の意志決定要因に関する調査 (母性衛生 50(3): 234, 2009)

第50回日本母性衛生学会学術集会, 2009.9 (横浜)

前田 修, 藤原多子, 細野覚代, 梶山広明, 柴田清住, 井篁一彦, 那波明宏, 玉腰浩司, 吉川史隆

Expression of Spectrin beta II in ovarian serous adenocarcinoma may be one of the prognostic factors (日本癌学会総会記事 pp 186-187, 2009)

第68回日本癌学会総会, 2009.10 (横浜)

大橋幸美, 浅野みどり

出産から6カ月後までの親性の変化と親性と家族機能との関連—育児期の親性尺度 Ver.1を用いて— (抄録集 p 26, 2009)

第11回日本看護医療学会学術集会, 2009.10 (津)

小橋 元, 太田薫里, 岡本和士, 吹田麻耶, 鷺尾昌一, 杉森裕樹, 片平洸彦, 白石弘美, 若井建志, 前川厚子, 青山京子, 竹井留美, 伊藤美智子, 内山 幹, 羽田 明, 窪田 満

小児炎症性腸疾患の発症関連要因・予防要因の解明—母児の生活習慣と遺伝子多型に関する症例・対照研究(1) 研究計画について (日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌 23(1): 52, 2009)

第36回日本小児栄養消化器肝臓学会, 2009.10 (札幌)

西谷直子, 榎原久孝, 秋山 泉

肥満と職場ストレスとの関係 (肥満研究 15 (増刊号): 229, 2009)

第30回日本肥満学会, 2009.10 (浜松)

今井美香, 吉田 豊, 桑原裕子, 平井眞理

仰臥位と座位において排便に有効な怒責圧が循環系に及ぼす影響

平成21年度日本生体医工学会東海支部学術集会, 2009.10 (名古屋)

梶田悦子

健康づくりのエビデンスをコミュニケーションで実践につなぐ—エビデンスに基づくガイドラインは予防対策を改善する:骨折・骨粗鬆症対策の場合— (抄録集 p 86, 2009)

第68回日本公衆衛生学会総会, 2009.10 (奈良)

門脇英子, 玉置淳子, 伊木雅之, 佐藤裕保, 梶田悦子, 鏡森定信, 香川芳子, 米島秀夫

既存椎体骨折は傾向スコア調整後も新規椎体骨折のリスクを上げる—JPOS Cohort Study— (抄録集 p 369, 2009)

第68回日本公衆衛生学会総会, 2009.10 (奈良)

李 媛英, 八谷 寛, 豊嶋英明, 磯 博康, 玉腰浩司
生活習慣とメタボリックシンドロームとの関連 (抄録集 p 376, 2009)
第68回日本公衆衛生学会総会, 2009.10 (奈良)

藤井千恵, 榊原久孝
児童生徒と両親の生活習慣病危険因子の相関に関する研究 (抄録集 p 423, 2009)
第68回日本公衆衛生学会総会, 2009.10 (奈良)

西田友子, 岡村雪子, 榊原久孝
成人女性の BMI と痩せ願望、ダイエット行動との関連 (抄録集 p 610, 2009)
第68回日本公衆衛生学会総会, 2009.10 (奈良)

岡村雪子, 西田友子, 榊原久孝
若年就労女性の子宮頸がん検診受診行動に関連する要因 (抄録集 p 630, 2009)
第68回日本公衆衛生学会総会, 2009.10 (奈良)

伊藤尚子
高齢者介護における在日コリアン介護者と日本人介護者の認識の比較 (抄録集 p 643, 2009)
第68回日本公衆衛生学会総会, 2009.10 (奈良)

田辺圭子, 玉腰浩司, 室月 淳
教育講演：母娘二世代における妊娠出産経過と DOHaD (抄録集 p 19, 2009)
第30回宮城母性衛生学会, 2009.10 (仙台)

阿部まゆみ, 鈴木有紀, 安藤詳子, 高木仁美, 橋本 淳, 光行多佳子, 萩原加寿子, 岩本斉子, 則竹宏美, 渡邊 正
公立中規模病院に通院する患者の療養ニーズと背景要因の関連—緩和デイケア開発に向けた調査結果— (死の臨床 32(2): 301, 2009)
第33回日本死の臨床研究会年次大会, 2009.11 (名古屋)

岩本斉子, 萩原加寿子, 鈴木有紀, 橋本 淳, 阿部まゆみ, 安藤詳子
緩和デイケアでの交流が利用者にもたらす意味 (死の臨床 32(2): 307, 2009)
第33回日本死の臨床研究会年次大会, 2009.11 (名古屋)

羽賀万穂, 日比野木綿, 平松恵理, 澤井美穂, 安藤詳子
A 大学看護学生と看護師のターミナルケア態度尺度得点の比較 (死の臨床 32(2): 311, 2009)
第33回日本死の臨床研究会年次大会, 2009.11 (名古屋)

藤原麻弥, 渡邊祥子, 安藤詳子, 澤井美穂
訪問看護師のターミナルケア態度尺度と学習ニーズの傾向 (死の臨床 32(2): 312, 2009)
第33回日本死の臨床研究会年次大会, 2009.11 (名古屋)

安藤詳子, 佐藤 健, 家田秀明, 小池 元, 河村郁人, 渡邊 正
がん性疼痛緩和における看護師の臨床実践の推移 (死の臨床 32(2): 316, 2009)
第33回日本死の臨床研究会年次大会, 2009.11 (名古屋)

林亜希子, 安藤詳子
外来科学料を受けている患者の有害事象に関する看護研究の動向 (予稿集 p 228, 2009 ; 死の臨床 32(2): 316, 2009)
第33回日本死の臨床研究会年次大会, 2009.11 (名古屋)

MORITA Emi, WAKAI Kenji, HISHIDA Asahi, OKADA Rieko, TAMURA Takashi, KURIKI Sayaka, TOMITA Kotaro, KAWAI Sayo,

NAITO Mariko, SUGIYAMA Teruko, HAMAMOTO Ritsuko, HOSHINO Junko, **HORI Yoko**, UHEYAMA Jun, KONDO Takaaki, ONISHI Joji, HAMAJIMA Nobuyuki
Daiko Study of the Japan Multi-Institution Collaborative Cohort Study: a progress report (Abstract pp 155-156, 2009)
20th Asia Pacific Cancer Conference, 2009.11 (Tsukuba)

江坂真理, 横内光子

トリアージ場面における救急外来看護師の情報収集の特徴 (日本救急看護学会雑誌 11(2): 173, 2009)
第11回日本救急看護学会学術集会, 2009.11 (福岡)

加藤美佐代, 横内光子

離島僻地診療所で働く看護師に求められるアセスメント・応急処置 (日本救急看護学会雑誌 11(2): 191, 2009)
第11回日本救急看護学会学術集会, 2009.11 (福岡)

西谷直子, 榊原久孝, 秋山 泉

不眠と職場ストレスとの関係—不眠と仕事のストレス要因、ストレス反応、社会的支援とのかかわり— (産業衛生学雑誌 52(1): 57, 2009)
平成21年度日本産業衛生学会東海地方会学会, 2009.11 (名古屋)

NODA Hiroko, OHNO Yuko, ISHII Atsue, SHIMIZU Sachiko, **YOKOUCHI Mitsuko**, KANAYA Ichiro, KAWASAKI Kazuo, MOTOSUGI Fujie, TANAKA Atsuko, OKADA Chizuru

Application of the time process modeling language for the dynamic workflow analysis of the patient transportation in acute care hospital (Proceedings. p 34, 2009)

6th Asia Pacific Association for Medical Informatics, 2009.11 (Hiroshima)

YOKOUCHI Mitsuko, OHNO Yuko

The efficiency of the time process modeling language in hospital job analysis (Proceedings. p 63, 2009)
6th Asia Pacific Association for Medical Informatics 2009, 2009.11 (Hiroshima)

新實夕香理, 太田勝正, 井口弘子

看護業務と患者のプライバシーの保護の両立を目指す電子カルテ画面表示項目の検討 (プログラム・抄録集 p 392, 2009)
第29回医療情報学連合大会, 2009.11 (広島)

前田樹海, 太田勝正, 井口弘子, 新實夕香理, 中村 恵, 浅沼優子, 山内一史, 唐澤由美子, 門井貴子, 鈴木千智, 藤井徹也, 松田正巳

職種および関係性の違いによるカルテ情報の共有範囲: 入院患者を対象とした全国調査より
第29回医療情報学連合大会, 2009.11 (広島)

高橋由紀, 玉腰浩司

Skin-to-skin care 実施時間と新生児の唾液中コルチゾール濃度との関連 (抄録集 5-3-2, 2009)
第29回日本看護科学学会学術集会, 2009.11 (千葉)

新實夕香理, 太田勝正, 井口弘子

看護師が求める電子カルテ画面の患者情報表示項目と共有範囲 (講演集 p 403, 2009)
第29回日本看護科学学会学術集会, 2009.11 (千葉)

小市理恵子, 宮本有紀

早期警告サインスケール日本語版面接用尺度の信頼性および妥当性の検証 (講演集 p 507, 2009)
第29回日本看護科学学会学術集会, 2009.11 (千葉)

篠崎恵美子, 山内豊明

臨床看護実践家のフィジカルアセスメントに関する認識(プログラム p 31, 2009)
第29回日本看護科学学会学術集会, 2009.11 (千葉)

平良美栄子, 山内豊明
臨床看護師のフィジカルアセスメント実践とその影響因子(プログラム p 50, 2009)
第29回日本看護科学学会学術集会, 2009.11 (千葉)

内田絵里子, 山内豊明
呼吸音テストの正解率の推移と呼吸音を表す用語の種類に関する研究(プログラム p 72, 2009)
第29回日本看護科学学会学術集会, 2009.11 (千葉)

内田絵里子, 山内豊明
呼吸音用語の使用頻度と定着度に関するアンケート調査研究(プログラム p 72, 2009)
第29回日本看護科学学会学術集会, 2009.11 (千葉)

山内豊明
看護の質の向上 臨床で研究することの意義 EBN を通しての考察(プログラム・集録集 pp 99-106, 2009)
第28回徳島県看護学会, 2009.11 (徳島)

[公開講座・講演会]

OTA Katsumasa

Roles of public health nurses in health promotion in Japan : educational and health care informatics perspective (1)
Invited Lecture in Khon Kaen University, 2009.2 (Khon Kaen, Thailand)

OTA Katsumasa

Roles of public health nurses in health promotion in Japan : educational and health care informatics perspective (2)
Forum of Community Health System Development Program at Thailand Nursing Council, 2009.2 (Bangkok, Thailand)

鈴木和代, ナーベルプラ座
生命誕生ものがたり—みんなの“きおく”をたどる旅—
平成20年度第5回名古屋市科学館だからからだゼミナール, 2009.3 (名古屋)

安藤詳子
ターミナルケア I
第112回メンタルケア・スペシャリスト養成講座, 2009.4 (名古屋)

AKAO Sakumi

The basic nursing research
International Nursing Research Conference, 2009.5 (Ulaanbaatar, Mongolia)

奈良間美保
研修会のねらい—子ども・家族主体の在宅ケアを目指して—
平成21年度第1回小児在宅ケアコーディネーター研修会, 2009.6 (名古屋)

鈴木和代, ナーベルプラ座
いのちの大切さをつながら
2009名古屋市科学館生命館20周年記念生命ラボスペシャル, 2009.8 (名古屋)

浅野みどり

乳児とともに暮らす家族の特徴とオレゴン州のヘルシースタートプログラム
蒲郡市見守り相談員養成研修, 2009.8 (蒲郡)

安藤詳子

患者と家族を支える緩和ケア
浜松医科大学市民講座, 2009.8 (浜松)

安藤詳子

終末期におけるコミュニケーション技法
第3回学生のためのホスピス緩和ケアの集い in 名古屋, 2009.8 (名古屋)

會田信子, 浅野みどり

高齢者虐待防止法と介護家族に対する支援と課題 (抄録集 p 56, 2009)
第16回日本家族看護学会学術集会, 2009.9 (高山)

安藤詳子

医療倫理—臨床試験の現場から— (日本応用心理学会大会発表論文集 76: 8, 2009)
第76回日本応用心理学会大会企画ワークショップ「医療現場とリスクマネジメント」, 2009.9 (福岡)

榊原久孝

高齢期の身体活動と健康生活
羽島市ヘルスアップ教室, 2009.10 (羽島)

浅野みどり

子育て講座「子育てのヒントとリフレッシュ」
瀬戸市せとっこファミリー交流館子育て講座, 2009.11 (瀬戸)

浅野みどり

ちょっと気になる子の子育てのヒント
名古屋市発達障害支援センター「子育て学習会」, 2009.11 (名古屋)

會田信子

家族介護者の健康—承知之助と八兵衛の間 (抄録集 pp 29-34, 2009)
名古屋大学鶴舞公開講座『心も体も健やかに: オイオイ、といわれなかったために』, 2009.11 (名古屋)

奈良間美保

家族主体の小児在宅ケアに向けた取組み
第7回日本小児看護学会沖縄地区地方会シンポジウム, 2009.11 (西原町, 沖縄)

會田信子, 池亀俊美, 阿部征子, 浅香えみ子, 加賀谷聡子, 高橋智子, 小泉雅子, 山内典子, 明神哲也, 安井大輔
次なるステップへ! 投稿論文 No.2 (抄録集 p 49, 2009)
第6回日本循環器看護学会学術集会編集委員会主催セミナー, 2009.11 (福岡)

榊原久孝

健康長寿とサクセスフル・エイジング (成功加齢)
土岐市健康づくり研修会, 2009.11 (土岐)

榊原久孝

高血圧予防しよう、禁煙って大切~いつまでもイキイキと元気なあなたで~
四日市市生活習慣病予防公開講座, 2009.11 (四日市)

安藤詳子

終末期医療—看取りのケア—

スギメディカル研修, 2009.12 (名古屋)

浅野みどり

育児期の女性への心身リフレッシュの支援

女性の健康長寿に関するマッチング・ワーキング・グループ「女性のライフサイクルと健康支援」, 2009.12 (名古屋)

榊原久孝

振動対策の国際動向と新しい振動障害予防対策指針

平成21年度島根労働局安全衛生技術研修会, 2009.12 (松江)

放射線技術科学専攻

2 放射線技術科学専攻

〔著書〕

村井 均, 本間光彦, 川西義浩

第1章 患者さんからの質問に対する具体例と対応

『医療被ばく一患者さんの不安にどう答えますか?—事例による放射線カウンセリング』(本間光彦, 諸澄邦彦編著) 日本放射線技師会出版会, 2009. pp 10-70

川西義浩, 本間光彦, 村井 均

第2章 カウンセリング技法を用いた対応

『医療被ばく一患者さんの不安にどう答えますか?—事例による放射線カウンセリング』(本間光彦, 諸澄邦彦編著) 日本放射線技師会出版会, 2009. pp 71-97

KINOSHITA Yukihiko, **IMAI Kuniharu**

The characteristics of spread of residual charge in micro gap and PD breakdown

『IEEE 9th Proceedings of International Conference on Properties and Application Dielectric Materials』IEEE Dielectrics and Electrical Insulation Society, 2009. pp 465-468

IMAI Kuniharu, KINOSHITA Yukihiko

Time dependence of surface potential induced by residual charge in micro gap

『Proceedings of 2009 Korea-Japan Joint Symposium on Electrical Discharge and High Voltage Engineering』KIEE & IEEJ, 2009. pp 170-173

MORISHITA Yuki, **KOYAMA Shuji**

Effect of the beam shaping filter in the X-ray CT simulation

『Proceedings of the Sixteenth EGS Users' Meeting in Japan』(NAMITO Yoshihito, HIRAYAMA Hideo, BAN Shuichi (eds.)) High Energy Accelerator Research Organization, 2009. pp 59-64

CHUJYO Yuki, **KOYAMA Shuji**

Assessment of the validity of virtual grid using Monte Carlo code EGS5

『Proceedings of the Sixteenth EGS Users' Meeting in Japan』(NAMITO Yoshihito, HIRAYAMA Hideo, BAN Shuichi (eds.)) High Energy Accelerator Research Organization, 2009. pp 65-69

杜下淳次, 梶原孝彦, 山口弘次郎, 酒井 崇, 村松佑哉, 木元 愛, 小山修司, 辻岡勝美, 中西左登志, 真田 茂, 宮地利明, 藤井茂久, 大塚昌彦, 吉村公美子, 島本佳寿広, 浅田恭生, 津坂昌利, 山本英明, 大場久照, 小笠原克彦, 坂田元道訳

『クラーク X 線撮影技術学 (Clark's positioning in radiography)』(ホワイトリー, スローン, ホードリー, ムーア, オルソップ編著; 島本佳寿広, 齊藤陽子, 山田和美, 丸橋一夫監訳) 西村書店, 2009

市川勝弘, 村松禎久, 大瀬俊一, 宮下宗治, 山下道明, 松原孝裕, 西丸英治, 原 孝則, 水戸武史, 高田忠徳, 丹羽伸治, 藤村一郎, 大橋一也, 高木 卓, 小山修司

CT 検査における線量計測

『標準 X 線 CT 画像計測』(市川勝弘, 村松禎久編著) オーム社, 2009. pp 252-265

金森勇雄, 福山誠介, 坪井隆也, 檜山征也, 渡部洋一, 成田憲彦 [ほか]

核医学診療の法令と管理

『実践核医学検査』(金森勇雄 [ほか] 編著) 医療科学社, 2009. pp 11-18

佐久間洋一, 緒方良至

極低レベルになった環境水中トリチウムの簡単かつ正確な測定手法

『Proceedings of the tenth Workshop on Environmental Radioactivity』(BESSHO Kotaro, MIURA Taichi (eds.)) High Energy Accelerator Research Organization, 2009. pp 156-158

森田耕司, 酒井順哉, 津坂昌利

ネットワークの役割と通信プロトコル

『医療情報・標準化: 医療機器安全管理責任者・医療機器情報担当者のための MDIC 標準テキスト (第2版)』(日本医療機器学会 MDIC 認定委員会編) 日本医療機器学会, 2009. pp 23-35

富 吉司, 津坂昌利

医療画像診断

『臨床医学・医療機器概論: 医療機器安全管理責任者・医療機器情報担当者のための MDIC 標準テキスト (第2版)』(日本医療機器学会 MDIC 認定委員会編) 日本医療機器学会, 2009. pp 71-89

石川正純, 津坂昌利

処置・手術・治療 3. 放射線治療

『臨床医学・医療機器概論: 医療機器安全管理責任者・医療機器情報担当者のための MDIC 標準テキスト (第2版)』(日本医療機器学会 MDIC 認定委員会編) 日本医療機器学会, 2009. pp 116-118

〔原著論文〕

HIROFUJI Yoshiaki, **AOYAMA Takahiko**, **KOYAMA Shuji**, **KAWAURA Chiyo**, FUJII Keisuke

Evaluation of patient dose for barium enemas and CT colonography in Japan

Br J Radiol 82(975): 219-227, 2009

FUJII Keisuke, **AOYAMA Takahiko**, **YAMAUCHI-KAWAURA Chiyo**, **KOYAMA Shuji**, YAMAUCHI Masato, KO Susumu, AKAHANE Keiichi, NISHIZAWA Kanae

Radiation dose evaluation in 64-slice CT examinations with adult and paediatric anthropomorphic phantoms

Br J Radiol 82(984): 1010-1018, 2009

三樹陽子, 五十嵐博, 桑原 宏, 佐々木保磨, 中川美智子, 望月純二, 村井 均, 本間光彦

新聞報道と被ばく不安の関係について

放射線カウンセリング 6(1): 8-28, 2009

TSUTSUMI Yoshinori, SUZUKI Kojiro, **IKEDA Mitsuru**, ACHIWA Masataka, MORI Yoshine, MATSUSHIMA Masaya, ISHIGAKI Satoko, OTA Toyohiro, KONDO Satoru, YONEDA Kazuo, NAGANAWA Shinji

Three-dimensional intravenous digital subtraction angiography using flat panel detector system in vascular mapping of the external carotid artery: a comparison with 3-dimensional computed tomography angiography

Current Med Imaging Rev 5(4): 216-221, 2009

池田 充, 武井崇晃, 今井國治, 藤原敦代, 上平弘明

ウェーブレット解析を用いた空間適応型雑音除去法の有効性に関する検討

Medical imaging technology 27(Suppl.): 1-4, 2009

IMAI Kuniharu, **IKEDA Mitsuru**, ENCHI Yukihiko, NIIMI Takanaga

Fractal-feature distance analysis of contrast-detail phantom image and meaning of pseudo fractal dimension and complexity

Australas Phys Eng Sci Med 32(4): 188-195, 2009

IMAI Kuniharu, **IKEDA Mitsuru**, ENCHI Yukihiko, NIIMI Takanaga

Quantitative assessment of image noise and streak artifact on CT image: comparison of z-axis automatic tube current modulation technique with fixed tube current technique

Comput Med Imaging Graph 33(5): 353-358, 2009

IMAI Kuniharu, IKEDA Mitsuru, ENCHI Yukihiko, NIIMI Takanaga

Statistical characteristics of streak artifacts on CT images: relationship between streak artifacts and mA s values
Med Phys 36(2): 492-499, 2009

今井國治, 池田 充, 遠地志太, 新美孝永

CT 画像信号下におけるストリークアーチファクトの推定法とそれを含まない画像ノイズ評価法の考案
電子情報通信学会技術研究報告. MI: 医用画像 108(385): 565-570, 2009

石山貴規, 今井國治, 池田 充, 遠地志太

X 線デジタル画像のカオス性を利用した画質評価法の検証
日本医用画像工学会大会講演論文集 28: 2009

ISHIGURE Nobuhito

Implementation of the NCRP wound model for interpretation of bioassay data for intake of radionuclides through contaminated wounds
J Radiat Res 50(3): 267-276, 2009

宮本真衣, 石樽信人, 緒方良至, 成田憲彦, 川浦雅代, 仲野高志

ホールボディカウンタ校正に用いる密封シート線源の作製
Radioisotopes 58(3): 85-92, 2009

山田裕司, 明石真言, 石樽信人, 遠藤 章, 真田哲也, 白石久二雄, 静間 清, 鈴木敏和, 高田千恵, 中山一成, 星 正治, 百瀬琢磨, 山口武憲

初期および二次被ばく医療機関の線量評価・汚染評価機能に関する現状調査
保健物理 44(4): 393-399, 2009

IWANO Singo, **KATO Katsuhiko**, NIHASHI Takashi, ITO Shinji, TACHI Yasushi, NAGANAWA Shinji

Comparisons of I-123 diagnostic and I-131 post-treatment scans for detecting residual thyroid tissue and metastases of differentiated thyroid cancer
Ann Nucl Med 23(9): 777-782, 2009

UNNO Kazumasa, ISOBE Satoshi, IZAWA Hideo, CHENG Xian Wu, KOBAYASHI Masakazu, HIRASHIKI Akihiro, YAMADA Takashi, HARADA Ken, OHSHIMA Satoru, NODA Akiko, NAGATA Kohzo, **KATO Katsuhiko**, YOKOTA Mitsuhiro, MUROHARA Toyoaki

Relation of functional and morphological changes in mitochondria to myocardial contractile and relaxation reserves in asymptomatic to mildly symptomatic patients with hypertrophic cardiomyopathy
Eur Heart J 30(15): 1853-1862, 2009

KATO Katsuhiko, SCHOBER Otmar, **IKEDA Mitsuru**, SCHÄFFERS Michael, ISHIGAKI Takeo, KIES Peter, NAGANAWA Shinji, STEGGER Lars

Evaluation and comparison of ¹¹C-choline uptake and calcification in aortic and common carotid arterial walls with combined PET/CT
Eur J Nucl Med Mol Imaging 36(10): 1622-1628, 2009

FUNAHASHI Yasuhito, HATTORI Ryohei, YAMAMOTO Tokunori, KAMIHIRA Osamu, **KATO Katsuhiko**, GOTOH Momokazu

Ischemic renal damage after nephron-sparing surgery in patients with normal contralateral kidney
Eur Urol 55(1): 209-216, 2009

川浦稚代

人体型組織等価ファントムによる被ばく線量評価

CT 検診 16(3): 182-186, 2009

TSUCHIYA Yuichiro, **KODERA Yoshie**, TANAKA Rie, SANADA Shigeru

Quantitative kinetic analysis of lung nodules using the temporal subtraction technique in dynamic chest radiographies performed with a flat panel detector

J Digit Imaging 22(2): 126-135, 2009

安田成臣, 小寺吉衛

X線CTにおける検出器の標本化間隔に対する投影データ値の応答解析

岐阜医療科学大学紀要 3 : 177-183, 2009

ISHIZAKI Azusa, ISHII Keizo, KANEMATSU Nobuyuki, KANAI Tatsuki, YONAI Syunsuke, KASE Yuki, TAKEI Yuka, **KOMORI Masataka**

Development of an irradiation method with lateral modulation of SOBP width using a cone-type filter for carbon ion beams

Med Phys 36(6): 2222-2227, 2009

KANEMATSU Nobuyuki, **KOMORI Masataka**, YONAI Syunsuke, ISHIZAKI Azusa

Dynamic splitting of Gaussian pencil beams in heterogeneity-correction algorithms for radiotherapy with heavy charged particles

Phys Med Biol 54(7): 2015-2027, 2009

岡野恒一, 松尾綾江, 後藤賢一, 横井みどり, 蛭川亜希子, 奥村信次, 小山修司

口腔および顎顔面エックス線撮影における唾液腺に着目した実効線量評価

日本放射線技術学会雑誌 65(5): 594-602, 2009

KATO Takahiro, **OBATA Yasunori**, KADOYA Noriyuki, FUWA Nobukazu

A comparison of prone three-dimensional conformal radiotherapy with supine intensity-modulated radiotherapy for prostate cancer: which technique is more effective for rectal sparing?

Br J Radiol 82(980): 654-661, 2009

HAYASHI Naoki, **OBATA Yasunori**, UCHIYAMA Yukio, MORI Yoshimasa, HASHIZUME Chisa, KOBAYASHI Tatsuya

Assessment of spatial uncertainties in the radiotherapy process with the Novalis system

Int J Radiat Oncol Biol Phys 75(2): 549-557, 2009

OGUCHI Hiroshi, **OBATA Yasunori**

Commissioning of modulator-based IMRT with XiO treatment planning system

Med Phys 36(1): 261-269, 2009

加藤貴弘, 小幡康範, 不破信和, 柳川繁雄, 島田秀樹, 角谷倫之

前立腺癌外部放射線治療における照射体位の違いがリスク臓器線量に及ぼす影響—異なる臨床標的体積での検討—

日本放射線腫瘍学会誌 21(2): 71-76, 2009

OSHIMA Takashi, AOYAMA Yuichi, **SHIMOZATO Tomohiro**, SAWAKI Masataka, IMAI Tsuneo, ITO Yoshiyuki, **OBATA Yasunori**, **TABUSHI Katsuyoshi**

An experimental attenuation plate to improve the dose distribution in intraoperative electron beam radiotherapy for breast cancer

Phys Med Biol 54(11): 3491-3500, 2009

WATANABE Yohei, FUJII Masazumi, HAYASHI Yuichiro, KIMURA Miyuki, MURAI Yasushi, HATA Michiko, SUGIURA Akihiro,

TSUZAKA Masatoshi, WAKABAYASHI Toshihiko

Evaluation of errors influencing accuracy in image-guided neurosurgery
Radiol Phys Technol 2(2): 120-125, 2009

YAMAUCHI-KAWAURA Chiyo, FUJII Keisuke, **AOYAMA Takahiko**, YAMAUCHI Masato, **KOYAMA Shuji**

Evaluation of radiation doses from MDCT-imaging in otolaryngology
Radiat Prot Dosimetry 136(1): 38-44, 2009

[総説・解説・その他]

石樽信人

ICRP 第2専門委員会の近況について
FB news 388: 1-5, 2009

石樽信人

ICRP 新勧告に基づく内部被ばく線量評価
放計協ニュース 44: 4-5, 2009

岡野恒一, 松尾綾江, 後藤賢一, 横井みどり, 蛭川亜希子, 奥村信次, 小山修司

パノラマエックス線撮影における介助者の被曝
日本放射線技術学会放射線防護分科会誌 30: 39, 2009

森下祐樹, 阪井洋平, 小山修司

PC 接続式新型半導体線量計の性能評価
日本放射線技術学会放射線防護分科会誌 30: 46, 2009

武藤晃一, 江本 豊, 高橋正樹, **津坂昌利**, 長瀧宏和, 市橋卓司, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (154) オープンソースな DICOM サーバの使い方 (3)
臨床放射線 54(1): 200-208, 2009

長瀧宏和, 高橋正樹, **津坂昌利**, 市橋卓司, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (155) 第28回医療情報学連合大会報告
臨床放射線 54(2): 328-329, 2009

武藤晃一, 江本 豊, 高橋正樹, **津坂昌利**, 長瀧宏和, 市橋卓司, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (156) RSNA2008印象記
臨床放射線 54(3): 447-454, 2009

武藤晃一, 江本 豊, 高橋正樹, **津坂昌利**, 長瀧宏和, 市橋卓司, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (157) オープンソースな DICOM サーバの使い方 (4)
臨床放射線 54(4): 562-571, 2009

長瀧宏和, 高橋正樹, **津坂昌利**, 市橋卓司, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (158) CMS (Course Management System) としての Moodle 利用例 (その1)
臨床放射線 54(5): 690-694, 2009

長瀧宏和, 高橋正樹, **津坂昌利**, 市橋卓司, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (159) CMS (Course Management System) としての Moodle 利用例 (その2)
臨床放射線 54(6): 808-812, 2009

高橋正樹, 斎田幸久, 津坂昌利, 長瀧宏和, 市橋卓司, 嶋 芳成, 江本 豊, 古賀佑彦
インターネット入門 (160) ディクテーション・トランスクリプション (1) ソニーのオープンリール・テープレコーダーからデ
ジタル・ディクテーションまで
臨床放射線 54(7): 919-923, 2009

高橋正樹, 斎田幸久, 津坂昌利, 長瀧宏和, 市橋卓司, 嶋 芳成, 江本 豊, 古賀佑彦
インターネット入門 (161) ディクテーション・トランスクリプション法 ソニーのオープンリール・テープレコーダーからデ
ジタル・ディクテーションまで
臨床放射線 54(8): 1045-1048, 2009

小平泰永, 高橋正樹, 藤井直子, 長瀧宏和, 津坂昌利, 市橋卓司, 江本 豊, 嶋 芳成, 古賀佑彦
インターネット入門 (162) ディクテーション・トランスクリプションシステムの電子化
臨床放射線 54(9): 1159-1164, 2009

長瀧宏和, 高橋正樹, 津坂昌利, 市橋卓司, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦
インターネット入門 (163) 無線 LAN 電波利用状況の可視化
臨床放射線 54(10): 1279-1282, 2009

長瀧宏和, 高橋正樹, 津坂昌利, 市橋卓司, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦
インターネット入門 (164) ネットワークトラブル
臨床放射線 54(12): 1695-1699, 2009

長瀧宏和, 高橋正樹, 津坂昌利, 市橋卓司, 江本 豊, 嶋 芳成, 辻村善樹, 古賀佑彦
インターネット入門 (165) キオスク端末
臨床放射線 54(13): 1799-1804, 2009

〔科研費・班研究等〕

今井國治, 池田 充, 川浦雅代
頭部 CT 画像における画質とそれに及ぼす線量効果
平成20年度～平成22年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書, 2009

〔その他の印刷物等〕

本間光彦
第28回人体解剖トレーニングセミナーに参加して
第28回人体解剖トレーニングセミナー報告書 41, 2009

石樽信人
第2専門委員会 C2タスクグループにおける議論について
平成20年度放射線影響協会 ICRP 調査・研究連絡会報告書 7-23, 2009

石樽信人
ICRP 第2専門委員会報告
平成20年度放射線影響協会 ICRP 調査・研究連絡会報告書 87-100, 2009

〔学会発表〕

TERAMOTO Atsushi, **TSUZAKA Masatoshi**, HARA Takeshi, FUJITA Hiroshi
High-speed detection method of solitary nodules in 3D chest CT images based on cylindrical filter (電子情報通信学会技術研究

報告. MI, 医用画像 108(385): 83-86, 2009)

International Forum on Medical Imaging in Asia 2009, 2009.1 (Taipei, Taiwan)

福山篤司, 藤田尚利, 安藤聡志, 小寺吉衛

Evaluation of radiographs digitization system using an imaging plate (電子情報通信学会技術研究報告. MI, 医用画像 108(385): 397-400, 2009)

International Forum on Medical Imaging in Asia 2009, 2009.1 (Taipei, Taiwan)

今井國治, 池田 充, 遠地志太, 新美孝永

CT 画像信号下におけるストリークアーチファクトの推定法とそれを含まない画像ノイズ評価法の考案 (電子情報通信学会技術研究報告. MI, 医用画像 pp 565-570)

International Forum on Medical Imaging in Asia 2009, 2009.1 (Taipei, Tiwan)

佐久間洋一, 太田雅壽, 上松和義, 秋山陽一, 緒方良至

化学形弁別トリチウムモニター

第23回放射線検出器とその応用研究会, 2009.1 (つくば)

KATO Yuri, FUJITA Naotoshi, **KODERA Yoshie**

Study of signal-to-noise ratio in digital mammography (Proceedings: Physics of medical imaging (CD-ROM) 7258: 72582Z-1-72582Z-10)

SPIE Medical Imaging 2009, 2009.2 (Orlando, USA)

FUJITA Naotoshi, YAMAZAKI Asumi, ICHIKAWA Katsuhiko, **KODERA Yoshie**

A simple method for evaluating image quality of screen-film system using a high-performance digital camera (Proceedings: Physics of medical imaging (CD-ROM) 7258: 72584Z-1 - 72584Z-9)

SPIE Medical Imaging 2009, 2009.2 (Orlando, USA)

伊藤信嗣, 川瀬世津子, 奥田隆仁, 小口秀紀, 田所匡典, 加藤克彦, 長縄慎二

婦人科腫瘍における¹⁸F-FDG PET 後期像の有用性の検討 (核医学 46(2): 153, 2009)

第68回日本核医学会中部地方会, 2009.2 (名古屋)

平野真希, 岩野信吾, 長縄慎二, 加藤克彦, 長坂徹郎

甲状腺癌の肝転移に¹³¹I 内用療法が著効した1例 (核医学 46(2): 155, 2009)

第68回日本核医学会中部地方会, 2009.2 (名古屋)

佐久間洋一, 緒方良至

極低レベルになった環境水中トリチウムの簡便かつ正確な測定手法

第10回「環境放射能」研究会, 2009.3 (つくば)

SATAKE Hiroko, SAWAKI Akiko, **IKEDA Mitsuru**, ISHIGAKI Satoko, KAWAMURA Mariko, **SHIMAMOTO Kazuhiro**, KAWAI Hisashi, NAGANAWA Shinji

Predictive value for malignancy of suspicious breast masses of BI-RADS category 4-5 using ultrasound elastography and MRI diffusion-weighted imaging

European Congress of Radiology 2009, 2009.3 (Vienna, Austria)

木下幸弘, 今井國治

Gleitbuschel 沿面放電下における微小空隙内の残留電荷領域の広がり (講演論文集)

平成21年電気学会全国大会, 2009.3 (札幌)

今井國治, 池田 充, 遠地志太, 新美孝永

カオス理論に基づく医用画像の画質評価法の考案(講演論文集:情報・システム 2: 261, 2009)
2009年電子情報通信学会総合大会, 2009.3 (松山)

石樽信人

EURADOS CONRAD Project におけるヒト消化管モデルの検討
第7回日本保健物理学会 ICRP 新消化管モデル専門研究会, 2009.3 (千葉)

日南友希, 小山修司, 森 政樹, 松岡祐樹, 近藤 悟, 米田和夫
ダブルバルーン小腸内視鏡検査における患者被ばく線量
第20回愛知県放射線技師会学術大会, 2009.3 (名古屋)

石崎 梓, 兼松伸幸, 米内俊祐, 小森雅孝, 武井由佳, 加瀬優紀, 金井達明
炭素線用 Cone type filter, Wheel type filter とスキヤニングを用いた SOBP 変調法による照射野形成(報文集 pp 144-145, 2009)
第97回日本医学物理学会学術大会, 2009.4 (横浜)

蒲 越虎, 原田 久, 高谷保行, 本田泰三, 高橋 理, 津上浩伸, 兼松伸幸, 小森雅孝, 米内俊祐, 武井由佳, 石崎 梓,
遊佐 顕, 田代 睦
炭素線積層原体照射用ミニピーク線量分布の形成およびレンジシフト依存性の実験研究(報文集 pp 146-147, 2009)
第97回日本医学物理学会学術大会, 2009.4 (横浜)

兼松伸幸, 小森雅孝, 米内俊祐, 石崎 梓
重荷電粒子線治療のための不均質補正アルゴリズムにおけるガウス形ペンシルビームの動的分割(報文集 pp 152-153, 2009)
第97回日本医学物理学会学術大会, 2009.4 (横浜)

藤井啓輔, 青山隆彦, 川浦稚代, 小山修司
CT 検査時のビーム幅およびピッチの違いが被ばく線量に及ぼす影響(報文集 pp 302-303, 2009)
第97回日本医学物理学会学術大会, 2009.4 (横浜)

伊藤茂樹, 鈴木耕次郎, 長坂徹郎, 太田豊裕, 長縄慎二
自己免疫性膵炎の CT 所見—マルチスライス CT の多相造影検査による検討(抄録集 p 235, 2009)
第68回日本医学放射線学会総会・学術集会, 2009.4 (横浜)

佐竹弘子, 西尾明子, 池田 充, 石垣聡子, 川村麻里子, 河合 恒, 島本佳寿広, 長縄慎二
BI-RADS 4-5の乳腺腫瘍に対する超音波エラストグラフィと MRI 拡散強調画像の良悪性診断能について(抄録集 pp S305-S306,
2009)
第68回日本医学放射線学会総会・学術集会, 2009.4 (横浜)

加藤克彦, 二橋尚志, 岩野信吾, 伊藤信嗣, 池田 充, 伊藤茂樹, 長縄慎二
膵腫瘍の¹⁸F FDG-PET/CT: 膵癌と膵炎の鑑別は可能か?(抄録集 p S320-S321, 2009)
第68回日本医学放射線学会総会・学術集会, 2009.4 (横浜)

寺本篤司, 松崎 創, 梶原孝彦, 木下一男, 鈴木昇一, 津坂昌利, 藤田広志
FPD 性能評価システムの開発(予稿集 p 101, 2009)
第65回日本放射線技術学会総会学術大会, 2009.4 (横浜)

三井貴司, 津坂昌利, 中島由加里, 寺本篤司
参照用画像表示モニタの輝度特性評価(予稿集 p 103, 2009)
第65回日本放射線技術学会総会学術大会, 2009.4 (横浜)

中川拓哉, 江本裕樹, 森下祐樹, 小山修司

モンテカルロシミュレーションによる単純 X 線撮影での人体ファントム内臓器線量測定時の線量計配置に関する検討 (予稿集 p 123, 2009)

第65回日本放射線技術学会総会学術大会, 2009.4 (横浜)

森下祐樹, 小山修司, 内藤宗孝, 後藤賢一, 奥村信次

舌癌小線源治療における歯科用インプラント周辺の散乱線のシミュレーション (予稿集 p 140, 2009)

第65回日本放射線技術学会総会学術大会, 2009.4 (横浜)

三井貴司, 渡辺洋平, 津坂昌利, 木村美由紀, 村井康史, 藤井正純

術中 MRI 下脳外科画像誘導手術におけるレジストレーションポイントと病巣近辺とのナビゲーション精度の評価 (予稿集 p 268, 2009)

第65回日本放射線技術学会総会学術大会, 2009.4 (横浜)

遠地志太, 今井國治, 太田誠一, 隅田伊織, 有村武浩, 井ノ上信一, 川越康充

極値統計学を用いた多分割コリメータ制御位置調整時期の推定 (抄録集 p 315, 2009)

第65回日本放射線技術学会総会学術大会, 2009.4 (横浜)

羽原幸作, 下郷智弘, 青山裕一, 川浪亮太, 安井啓祐, 小幡康範

仮想肺ファントム中の金マーカーに対するモンテカルロ計算と治療計画装置の線量計算の比較

第65回日本放射線技術学会総会学術大会, 2009.4 (横浜)

安井啓祐, 下郷智弘, 川浪亮太, 羽原幸作, 大島隆嗣, 柴田洋希, 小幡康範

頭蓋骨固定用チタンプレートによる散乱放射線の影響

第65回日本放射線技術学会総会学術大会, 2009.4 (横浜)

川浪亮太, 下郷智弘, 捫垣智博, 安井啓祐, 羽原幸作, 小幡康範

反射型 Radiochromic film を用いた線量測定の検証

第65回日本放射線技術学会総会学術大会, 2009.4 (横浜)

瀬口繁信, 青山隆彦, 小山修司, 川浦稚代

64スライスを超えるマルチスライス CT 装置による心臓 CT 検査時患者被ばく線量の大幅な低減 (講演要旨集 p 34, 2009)

第43回日本保健物理学会研究発表会, 2009.6 (大阪)

藤井啓輔, 青山隆彦, 山内 (川浦) 稚代, 小山修司, 幸 進, 西澤かな枝, 赤羽恵一, 岩井一男

肺がん CT 検査における被ばく線量評価 (講演要旨集 p 35, 2009)

第43回日本保健物理学会研究発表会, 2009.6 (大阪)

望月真吾, 石樽信人, 緒方良至, 小林敏樹

医療用小型サイクロトロン交換部品等における放射化物の測定と評価 (講演要旨集 p 51, 2009)

第43回日本保健物理学会研究発表会, 2009.6 (大阪)

宮本真衣, 石樽信人

シート線源によるホールボディカウンタの校正 — 線源に要求される放射能面密度パターン (講演要旨集 p 58, 2009)

第43回日本保健物理学会研究発表会, 2009.6 (大阪)

佐久間洋一, 緒方良至, 上松和義, 太田雅壽

トリチウムモニター4 (講演要旨集 p 68, 2010)

第43回日本保健物理学会研究発表会, 2009.6 (大阪)

鈴木敏和, 石樽信人, 中村尚司

外部被ばく線量評価用ファントム挿入型半導体検出器の開発Ⅱ (講演要旨集 p 70, 2009)
第43回日本保健物理学会研究発表会, 2009.6 (大阪)

石樽信人

消化管通過速度の性差と個人モニタリング (講演要旨集 p 91, 2009)
第43回日本保健物理学会研究発表会, 2009.6 (大阪)

山内(川浦)稚代, 今井國治, 池田 充, 奈良井和宏, 小杉隆司, 山内雅人
脳動脈瘤 CT 画像診断における画質および被ばく線量評価用ファントムの作製 (講演要旨集 p 114, 2009)
第43回日本保健物理学会研究発表会, 2009.6 (大阪)

石樽信人

NCRP 創傷汚染モデルによる重要核種の残留率および排泄率の解析 (講演要旨集 p 138, 2009)
第43回日本保健物理学会研究発表会, 2009.6 (大阪)

森下祐樹, 小山修司, 内藤宗孝, 後藤賢一, 奥村信次
放射線治療における舌癌治療でのインプラント周囲の散乱線シミュレーション (講演要旨集 p 154, 2009)
第43回日本保健物理学会研究発表会, 2009.6 (大阪)

本間光彦

巨大な胸骨筋(破格)に関する一例 (日本放射線技師会雑誌 56(6): 681, 2009)
第25回放射線技師総合学術大会, 第12回東アジア学術交流大会, 2009.6 (鹿児島)

本間光彦, 伊藤あゆ美, 村瀬多美, 渡邊健二, 広藤善章, 木田浩介
放射線技師教育に求められる教育科目について (日本放射線技師会雑誌 56(6): 681, 2009)
第25回放射線技師総合学術大会, 第12回東アジア学術交流大会, 2009.6 (鹿児島)

村瀬多美, 本間光彦, 伊藤あゆ美, 渡邊健二, 広藤善章, 木田浩介
新規採用者を対象にした職業に関する意識調査 (日本放射線技師会雑誌 56(6): 681-682, 2009)
第25回放射線技師総合学術大会, 第12回東アジア学術交流大会, 2009.6 (鹿児島)

本間光彦

一般演題座長集約セッション8: リスクマネジメント・ペイシェントケア (日本放射線技師会雑誌 56(10): 79, 2009)
第25回放射線技師総合学術大会, 第12回東アジア学術交流大会, 2009.6 (鹿児島)

加藤友理, 藤田尚利, 小寺吉衛
デジタルマンモグラフィ (CR) における信号雑音比の評価
第154回医用画像情報学会年次大会, 2009.6 (金沢)

山田麻希, 加藤友理, 藤田尚利, 小寺吉衛
デジタルマンモグラフィにおける最適管電圧の検討
第154回医用画像情報学会年次大会, 2009.6 (金沢)

川浦稚代

招待講演: 人体型組織等価ファントムによる被ばく線量評価
日本 CT 検診学会第13回読影セミナー・第8回肺気腫セミナー・第3回技術セミナー, 2009.6 (東京)

KATO Yuri, FUJITA Naotoshi, **KODERA Yoshie**
Study of signal-to-noise ratio in phase contrast mammography
CARS 2009: 23rd International Congress and Exhibition, 2009.6 (Berlin, Germany)

加藤克彦, 古池 亘, 戸谷麗子, 平野真希, 河合雄一, 小川 浩, 松島正哉, 中根俊樹, 大河内慶行, 岡田有美子, 川上賢一, 安藤嘉朗, 二橋尚志, 長縄慎二, 宇佐美範恭, 横井香平
F-18 FDG-PET/CT を施行された Carney triad の1例 (核医学 46(4): 403, 2009)
第69回日本核医学会中部地方会, 2009.6 (浜松)

川崎稔生, 亀山佳也, 吉田晴穂, 青山隆彦, 川浦雅代, 藤井啓輔, 山内雅人
小児胸部単純X線検査における臓器線量、実効線量の管電圧依存性 (要旨集 p 29, 2009)
第46回アイソトープ・放射線研究発表会, 2009.7 (東京)

緒方良至, 石樽信人, 望月真吾, 伊藤健吾, 旗野健太郎, 阿部潤一郎, 榎本和義, 中村 一, 伊藤由磨, 山下英二, 小林敏樹, 宮原 洋
ビスの γ 線分析による PET サイクロトロン室内中性子束推定 (要旨集 p 125, 2009)
第46回アイソトープ・放射線研究発表会, 2009.7 (東京)

MITSUI Takashi, FUJII Masazumi, **TSUZAKA Masatoshi**

Use of intraoperative magnetic resonance imaging for evaluating the navigational accuracy between the registration point and target during image-guided neurosurgery
5th Asian Conference on Computer Aided Surgery, 2009.7 (Changhua, Taiwan)

後藤賢一, 小山修司, 森下祐樹, 内藤宗孝, 松尾綾江, 蛭川亜紀子, 横井みどり, 奥村信次, 有地榮一郎
放射線治療におけるインプラントからの散乱線シミュレーション
第209回日本歯科放射線学会関東地方会, 2009.7 (横浜)

KINOSHITA Yukihiko, **IMAI Kuniharu**

The Characteristics of spread of residual charge in micro gap and PD breakdown (Proceedings. pp 465-468, 2009)
9th IEEE International Conference on Properties and Application Dielectric Materials, 2009.7

池田 充, 武井崇晃, 今井國治, 藤原敦代, 上平弘明
ウェーブレット解析を用いた空間適応型雑音除去法の有効性に関する検討 (抄録集 CD 版)
第28回日本医用画像工学会大会, 2009.8 (名古屋)

石山貴規, 今井國治, 池田 充, 遠地志太
X線デジタル画像のカオス性を利用した画質評価法の検証 (講演論文集 CD)
第28回日本医用画像工学会大会, 2009.8 (名古屋)

森下祐樹, 小山修司
X線 CTシミュレーションにおけるビーム成形フィルタの影響について (アブストラクト集 p 9, 2009)
第16回 EGS 研究会, 2009.8 (つくば)

中條裕貴, 小山修司
モンテカルロシミュレーション—EGS5コードを用いた仮想グリッドの検討 (アブストラクト集 p 10, 2009)
第16回 EGS 研究会, 2009.8 (つくば)

羽原幸作, 下郷智弘, 青山裕一, 川浪亮太, 安井啓祐, 小幡康範
外部放射線治療における腫瘍位置確認用金マーカーの散乱線による影響について (Proceedings of the Sixteenth EGS Users Meeting in Japan. pp 8-12, 2009)
第16回 EGS 研究会, 2009.8 (つくば)

五十嵐幸哲, 青山裕一, 小幡康範, 羽原幸作, 下郷智弘, 小森雅孝
肺組織中における出力係数の実測と RTPS の比較 (Proceedings of the Sixteenth EGS Users Meeting in Japan. pp 13-20, 2009)

第16回 EGS 研究会, 2009.8 (つくば)

松永卓磨, 下郷智弘, 小幡康範

体内における高密度領域の吸収線量計算の検討 (Proceedings of the Sixteenth EGS Users Meeting in Japan. pp 21-29, 2009)
第16回 EGS 研究会, 2009.8 (つくば)

安井啓祐, 青山裕一, 下郷智弘, 川浪亮太, 羽原幸作, 小幡康範

192-Ir 線源を用いた表在性病変への均一照射の基礎的検討 (Proceedings of the Sixteenth EGS Users Meeting in Japan. pp 40-47, 2009)
第16回 EGS 研究会, 2009.8 (つくば)

成田憲彦, 杉浦有紀, 阿部真治

階段状ファントムを用いた LEHR・LMPE コリメータの比較検討—Tc-DMSA, Tc-GSA, I123-MIBG プラナー像半定量化検査について—
第158回日本核医学技術学会東海地方会, 2009.8 (名古屋)

堀真由美, 島本佳寿広, 吉村公美子

超音波診断装置用モニタの輝度特性
第11回医用画像認知研究会, 2009.8 (長久手)

森 政樹, 今井國治, 飯田葉子, 伊藤富貴子, 池田 充, 遠地志太

医用画像上の不均一部分における雑音評価法の考案—Top-hat 変換型 Gauss 法の評価精度の検証 (講演論文集 pp 561-562, 2009)
第8回情報科学技術フォーラム, 2009.9 (仙台)

緒方良至, 石樽信人, 望月真吾, 伊藤健吾, 簇野健太郎, 阿部潤一郎, 榎本和義, 中村 一, 伊藤由磨, 山下英二, 小林敏樹

ビスの放射能分析による PET サイクロトン室内中性子束推定 II (要旨集 p 143, 2010)

第70回応用物理学学会学術講演会, 2009.9 (富山)

木下幸弘, 今井國治, 木全浩市

Gleitbuschel 沿面放電下における微小空隙内表面の PD 劣化特性 (講演論文集 p 241, 2009)
平成21年電気学会基礎・材料・共通部門大会, 2009.9 (浜松)

寺本篤司, 津坂昌利, 藤田広志

胸部 CT 画像におけるすりガラス陰影の検出—低コントラスト陰影の検出に適した動的輪郭フィルター
平成21年度電気関連学会東海支部連合大会, 2009.9 (豊田)

寺本篤司, 高橋恵子, 津坂昌利, 藤田広志

胸部 CT 画像における孤立性結節の高速検出手法—円筒型フィルタによる結節検出の高速化と FP 削除手法—
平成21年度電気関連学会東海支部連合大会, 2009.9 (豊田)

寺本篤司, 宮下真梨子, 高橋恵子, 津坂昌利, 藤田広志

教育用マイクロ CT 装置の開発
平成21年度電気関連学会東海支部連合大会, 2009.9 (豊田)

石山貴規, 今井國治, 池田 充, 遠地志太

C-D 解析におけるカオス理論の適用 (講演論文集 CD)
2009年電子情報通信学会ソサエティー大会, 2009.9 (新潟)

歳藤利行, 久保田寛隆, 兼松伸幸, 小森雅孝, 安田仲宏, 小平 聡, 太田周也, 北村 尚

炭素線治療における線量計算の精密化のための核破砕反応モンテカルロシミュレーションコードの検証 (報文集 pp 110-111, 2009)

第98回日本医学物理学会学術大会, 2009.9 (京都)

川浪亮太, 清水秀年, 富田夏夫, 下郷智弘, 林直樹, 安井啓祐, 羽原幸作, 中山雅嗣, 吉本学, 小幡康範
ヘリカル式強度変調放射線治療の線量分布に対する radiochromic film の評価 (医学物理 29(3): 180-181, 2009)

第98回日本医学物理学会学術大会, 2009.9 (京都)

安井啓祐, 青山裕一, 下郷智弘, 川浪亮太, 羽原幸作, 小幡康範

192-Ir 線源を用いた表在性病変への均一照射の基礎的検討 (医学物理 29(3): 186-187, 2009)

第98回日本医学物理学会学術大会, 2009.9 (京都)

ITO Rieko, FUJITA Naotoshi, **KODERA Yoshie**

Basic examination of kinetic Radiography in dentistry

第17次中華医学会影像技術分会全国学術大会, 2009.9 (武漢, 中国)

YOKOYAMA Daigo, KIMURA Yukiyoshi, IMANISHI Yasuhiro, FUJITA Naotoshi, **KODERA Yoshie**

Noise characteristics of the reduction image displayed on the liquid crystal display in digital mammography

第17次中華医学会影像技術分会全国学術大会, 2009.9 (武漢, 中国)

YAMADA Maki, KATO Yuri, FUJITA Naotoshi, **KODERA Yoshie**

Optimization of the exposure parameters with signal-to-noise ratios considered human visual characteristics in digital mammography

第17次中華医学会影像技術分会全国学術大会, 2009.9 (武漢, 中国)

加藤克彦, 伊藤信嗣, 岩野信吾, 長縄慎二

脈絡膜悪性黒色腫の診断における ^{123}I -IMP SPECT、 ^{18}F -FDG PET/CT、 ^{18}F -Dopa PET/CT の比較 (核医学 46(3): 256, 2009)

第49回日本核医学会学術総会, 2009.10 (旭川)

岩野信吾, 加藤克彦, 伊藤信嗣, 二橋尚志, 長縄慎二

分化型甲状腺癌に対する I-131 ablation 時の FDG-PET の検討 (核医学 46(3): 280, 2009)

第49回日本核医学会学術総会, 2009.10 (旭川)

伊藤信嗣, 岩野信吾, 加藤克彦, 長縄慎二

甲状腺癌に対する I-131 内用療法—骨転移病変における FDG 集積の変化 (核医学 46(3): 280-281, 2009)

第49回日本核医学会学術総会, 2009.10 (旭川)

KATO Katsuhiko, ABE Shinji, **IKEDA Mitsuru**, TERASAKI Hiroko, NAGANAWA Shinji

Comparison of I-123 IMP SPECT, F-18 FDG PET/CT and F-18 Dopa PET/CT in detection of uveal malignant melanoma (Eur J Nucl Med Mol Imaging. 36 (Suppl. 2): 340, 2009)

22nd Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine, 2009.10 (Barcelona, Spain)

三井貴司, 朝比奈克至, 津坂昌利, 藤井正純, 林雄一郎

脳外科画像誘導手術におけるスキンスフトへの影響 (予稿集 p 26, 2009)

平成21年度日本生体医工学会東海支部大会, 2009.10 (名古屋)

小寺祐貴, 今井國治, 池田 充, 遠地志太, 新美孝永

CT 画像上におけるストリークアーチファクトと画像ノイズとの相関関係 (抄録集 p 29, 2009)

平成21年度日本生体医工学会東海支部大会, 2009.10 (名古屋)

朝比奈克至, 三井貴司, 津坂昌利, 林雄一郎, 藤井正純
術中 MRI による術後頭蓋内出血の判定に関する基礎的検討 (予稿集 p 38, 2009)
平成21年度日本生体医工学会東海支部大会, 2009.10 (名古屋)

TERAMOTO Atsushi, **TSUZAKA Masatoshi**, FUJITA Hiroshi
High-speed detection of solitary nodule in chest CT image: cylindrical filter and FP reduction
9th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2009.10 (Chiang Mai, Thailand)

TERAMOTO Atsushi, KAJIWARA Takahiko, SUZUKI Syoichi, **TSUZAKA Masatoshi**, FUJITA Hiroshi
Degradation mechanism and daily management system for FPD
9th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2009.10 (Chiang Mai, Thailand)

横山大悟, 藤田尚利, 今西康裕, 小寺吉衛
液晶ディスプレイにおける縮小画像の画質特性 (日本放射線技術学会雑誌 65(9): 247, 2009)
第37回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2009.10 (岡山)

飯田葉子, 伊藤富貴子, 森 政樹, 伊藤あゆ美, 今井國治, 池田 充, 近藤 悟, 米田和夫
FPD 画像における雑音の実験式とそれを用いた雑音解析 (日本放射線技術学会雑誌 65(9): 1208, 2009)
第37回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2009.10 (岡山)

森 政樹, 伊藤富貴子, 飯田葉子, 西本卓也, 今井國治, 池田 充, 外山和男, 米田和夫
Top-hat 変換型 Gauss 法による画像上の雑音推定法 (日本放射線技術学会雑誌 65(9): 1208-1209, 2009)
第37回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2009.10 (岡山)

伊藤富貴子, 飯田葉子, 森 政樹, 伊藤あゆ美, 今井國治, 池田 充, 近藤 悟, 米田和夫
模擬病変を有する FPD 画像の CNR 解析 (日本放射線技術学会雑誌 65(9): 1209, 2009)
第37回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2009.10 (岡山)

朝比奈克至, 三井貴司, 津坂昌利
術中 MRI による術後頭蓋内出血の判定に関する基礎的検討 (日本放射線技術学会雑誌 65(9): 1218, 2009)
第37回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2009.10 (岡山)

阿部真治, 西野正成, 亀山裕司, 山下雅人, 中野 智, 杉浦有紀, 櫻木庸博, 成田憲彦
H₂15O PET と 123I-IMP ARG 法による脳血流 SPECT 定量値の比較と SPECT 吸収補正法の検討 (日本放射線技術学会誌 65(9): 1227, 2009)
第37回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2009.10 (岡山)

杉浦有紀, 阿部真治, 中野 智, 櫻木庸博, 西野正成, 成田憲彦
散乱線補正法を用いた⁶⁷Ga-SPECT イメージングの基礎的検討 (日本放射線技術学会誌 65(9): 1229, 2009)
第37回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2009.10 (岡山)

岡野恒一, 松尾綾江, 後藤賢一, 横井みどり, 蛭川亜希子, 奥村信次, 小山修司
パノラマエックス線撮影における介助者の被曝 (日本放射線技術学会雑誌 65(9): 1241, 2008)
第37回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2009.10 (岡山)

森下祐樹, 阪井洋平, 小山修司
PC 接続式新型半導体線量計の性能評価 (日本放射線技術学会雑誌 65(9): 1245, 2008)
第37回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2009.10 (岡山)

山田麻希, 加藤友理, 藤田尚利, 小寺吉衛

デジタルマンモグラフィにおける最適管電圧の検討 (日本放射線技術学会雑誌 65(9): 1247, 2009)
第37回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2009.10 (岡山)

加藤友理, 藤田尚利, 小寺吉衛
位相コントラストマンモグラフィ (PCM) のエアギャップ効果の検討 (日本放射線技術学会雑誌 65(9): 1248, 2009)
第37回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2009.10 (岡山)

山崎明日美, 市川勝弘, 藤原芳美, 船橋正夫, 小寺吉衛
Photon-counting digital mammography の画質評価 (日本放射線技術学会雑誌 65(9): 1248, 2009)
第37回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2009.10 (岡山)

伊藤理江子, 後藤賢一, 藤田尚利, 小寺吉衛
歯科領域における動画撮影の基礎的検討 (日本放射線技術学会雑誌 65(9): 1251-1252, 2009)
第37回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2009.10 (岡山)

西本卓也, 今井國治, 池田 充, 森 政樹, 植村武司, 堤 貴紀, 松岡祐樹, 近藤 悟, 米田和夫
CBCT における頭蓋内の画質評価 (日本放射線技術学会雑誌 65(9): 1289, 2009)
第37回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2009.10 (岡山)

中條裕貴, 小山修司
モンテカルロシミュレーション— EGS5コードを用いた仮想グリッドの検討— (日本放射線技術学会雑誌 65(9): 1310, 2009)
第37回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2009.10 (岡山)

林 直樹, 川浪亮太, 福間宙志, 下郷智弘, 加藤秀起, 小幡康範
高感度型 Radiochromic film 使用上の不確かさの検討
第37回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2009.10 (岡山)

川浪亮太, 林 直樹, 下郷智弘, 安井啓祐, 羽原幸作, 青山裕一, 奥平訓康, 小幡康範
新 radiochromic film の初期使用経験
第37回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2009.10 (岡山)

IMAI Kuniharu, KINOSHITA Yukihiro

Time dependence of surface potential induced by residual charge in micro gap (Proceedings, pp 170-173, 2009)
2009 Korea-Japan Joint Symposium on Electrical Discharge and High Voltage Engineering, 2009.11 (Pusan, Korea)

伊藤富貴子, 飯田葉子, 森 政樹, 伊藤あゆ美, 近藤 悟, 米田和夫, 今井國治, 池田 充
マンモトーム装置における模擬石灰化像の CNR 解析 (抄録集)
第19回日本乳癌検診学会総会, 2009.11 (札幌)

山崎明日美, 市川勝弘, 藤原芳美, 船橋正夫, 小寺吉衛
Photon-counting digital mammography の画質特性 (日本乳癌検診学会誌 18(3): 520, 2009)
第19回日本乳癌検診学会総会, 2009.11 (札幌)

広藤喜章, 加納裕士, 中曾裕子, 藤田咲貴, 小山修司
グラフィックボード変更に伴うマンモグラフィのモニタ表示スピードの検証 (日本乳癌検診学会誌 18(3): 527, 2009)
第19回日本乳癌検診学会総会, 2009.11 (札幌)

丹羽香葉江, 山田麻希, 加藤友理, 堀井亜希子, 小寺吉衛
デジタルマンモグラフィ画像と物理的画質特性の比較考察
第2回中部放射線医療技術学術大会, 2009.11 (大垣)

河合 綾, 藤田尚利, 山田麻希, 加藤友理, 齋藤優希, 小寺吉衛
医用画像における量子雑音のシミュレーションによる検討
第2回中部放射線医療技術学術大会, 2009.11 (大垣)

横山大悟, 木村行善, 藤田尚利, 今西康裕, 小寺吉衛
ソフトコピー診断における縮小画像の画質特性
第2回中部放射線医療技術学術大会, 2009.11 (大垣)

片岡千尋, 堀井亜希子, 横山大悟, 安田成臣, 藤田尚利, 木村行善, 小寺吉衛
液晶ディスプレイにおける縮小画像の視覚評価
第2回中部放射線医療技術学術大会, 2009.11 (大垣)

林 結伊, 山田麻希, 加藤友理, 藤田尚利, 小寺吉衛
視覚特性を考慮した SN 比の検討
第2回中部放射線医療技術学術大会, 2009.11 (大垣)

中曾裕子, 江本裕樹, 藤田咲貴, 小山修司
モンテカルロシミュレーションにおけるボクセルファントムを用いた平均乳腺線量の解析 (予稿集 p 71, 2009)
第2回中部放射線医療技術学術大会, 2009.11 (大垣)

阪井洋平, 小山修司, 有賀英司, 伊藤茂樹
Imaging Plate と鉛ディスクを用いた診断領域 X 線の BSF 測定 (予稿集 p 74, 2009)
第2回中部放射線医療技術学術大会, 2009.11 (大垣)

森下祐樹, 小山修司
PC 接続式新型半導体線量計の性能評価と応用 (予稿集 p 74, 2009)
第2回中部放射線医療技術学術大会, 2009.11 (大垣)

江本裕樹, 小山修司
頭部血管撮影検査の被ばく線量解析におけるモンテカルロシミュレーションの有用性 (予稿集 p 75, 2009)
第2回中部放射線医療技術学術大会, 2009.11 (大垣)

堀真由美, 島本佳寿広, 吉村公美子
超音波診断装置用モニタの輝度特性 (抄録集 p 49, 2009)
第2回中部放射線医療技術学術大会, 2009.11 (大垣)

山田裕一, 島本佳寿広, 阿知波正剛, 佐竹弘子, 鈴木耕次郎, 森 芳峰
MDCT による MPR 画像を用いた腭頭部癌の血管浸潤診断への応用 (抄録集 p 57, 2009)
第2回中部放射線医療技術学術大会, 2009.11 (大垣)

真野祥代, 島本佳寿広, 佐竹弘子, 西尾明子, 石垣聡子, 河村麻里子, 戸谷麗子, 平野真希, 野々村和洋
乳腺超音波画像における腫瘤の後方エコーの歪みの検討 (抄録集 p 68, 2009)
第2回中部放射線医療技術学術大会, 2009.11 (大垣)

高橋恵子, 寺本篤司, 津坂昌利, 藤田広志
胸部 CT 画像における孤立性結節の高速検出手法と FP 削除手法の開発
第2回中部放射線医療技術学術大会, 2009.11 (大垣)

宮下真梨子, 高橋恵子, 寺本篤司, 津坂昌利, 藤田広志
技師教育のための簡易型 CT 装置の開発

第2回中部放射線医療技術学術大会, 2009.11 (大垣)

西本卓也, 森 政樹, 植村武司, 堤 貴紀, 松岡祐樹, 日南友希, 近藤 悟, 米田和夫, 今井國治, 宮地 茂
CBCTにおける頭蓋内の画質評価— Collimation Slab Reconstruction による画像ノイズ・アーチファクトの定量評価— (抄録)
第25回日本脳血管内治療学会総会, 2009.11 (富山)

本間光彦

講演: 放射線カウンセリングによる、患者さんからの質問に対する具体例と対応
第4回九州放射線医療技術学術大会, 2009.11 (宜野湾)

OGATA Yoshimune, ISHIGURE Nobuhito, MOCHIZUKI Shingo, ITO Kengo, HATANNO Kentaro, ABE Junichiro, MASUMOTO Kazuyoshi, NAKAMURA Hajime, ITO Yoshihiro, YAMASHITA Eiji, KOBAYASHI Toshiki

Estimation of thermal neutron flux in pet cyclotron rooms by means of radioactive analysis of bolts in the rooms (Abstract. p 254, 2010)

4th Asia-Pacific Symposium on Radiochemistry '09, 2009.11 (Napa, USA)

KATO Katsuhiko, ABE Shinji, IKEDA Mitsuru, ITOH Shigeki, SHIMAMOTO Kazuhiro, NAGANAWA Shinji

F-18 FDG PET/CT in pancreatic tumors: is the differential diagnosis between pancreatic cancer and mass-forming pancreatitis possible? (Scientific assembly and annual meeting program. p 1030, 2009)

95th Scientific Assembly and Annual Meeting of Radiological Society of North America, 2009.11 (Chicago, USA)

KATO Katsuhiko, ABE Shinji, NIHASHI Takashi, IKEDA Mitsuru, TERASAKI Hiroko, NAGANAWA Shinji

Comparison of I-123 IMP SPECT, F-18 FDG PET/CT, and F-18 dopa PET/CT in detection of uveal malignant melanoma (Scientific assembly and annual meeting program. p 1029, 2009)

95th Scientific Assembly and Annual Meeting of Radiological Society of North America, 2009.11 (Chicago, USA)

IMITSUI Takashi, TSUZAKA Masatoshi

An evaluation of the navigation accuracy between registration point and target in image: guided neurosurgery by using intraoperative MRI

95th Scientific Assembly and Annual Meeting of Radiological Society of North America, 2009.11 (Chicago, USA)

[公開講座・講演会]

本間光彦

カウンセリング演習指導

第12回日本放射線カウンセリング学会カウンセリングセミナー, 2009.1 (東京)

緒方良至

使用施設の安全管理に関する課目

放射線取扱主任者定期講習, 2009.2 (名古屋)

本間光彦

講演「技師教育を考える」

平成20年度第4回愛知県放射線技師会研修会, 2009.2 (名古屋)

小山修司

CTDIの意味—CTDIを正しく使おう—(計測分科会誌 17(1): 15, 2009)

第65回日本放射線技術学会総会学術大会フレッシュャーズセミナー8, 2009.4 (横浜)

緒方良至

霧箱・はかるくんの実験

日本ラジオロジー協会キッズセミナー, 2009.4 (横浜)

緒方良至

密封 RI の安全取扱の実際

第21回日本アイソトープ協会教育訓練講習会, 2009.5 (名古屋)

緒方良至

放射線業務従事者のための再教育 (関係法令)

名古屋市立大学放射線業務従事者のための再教育, 2009.5 (名古屋)

小山修司

X 線 CT 撮像時の被曝線量評価の実際

第19回日本放射線技術学会計測分科会医療被ばく測定セミナー, 2009.7 (北本)

下郷智弘

放射線治療の発展—一般治療から高精度治療まで—

平成21年度第1回がんを生き抜くライフトピアスクール, 2009.8 (名古屋)

本間光彦

人体解剖実習指導

第29回人体解剖トレーニングセミナー2009, 2009.8 (名古屋)

KODERA Yoshie

Current state and future perspective of Japanese Society of Radiological Technology

第17次中華医学会撮像技術分会全国学術大会, 2009.9 (武漢, 中国)

石樽信人

内部被ばくの線量評価

日本放射線技術学会中部部会放射線防護研究会技術セミナー, 2009.10 (名古屋)

本間光彦

カウンセリング演習指導

第13回日本放射線カウンセリング学会カウンセリングセミナー, 2009.10 (福岡)

緒方良至

X 線の測定

電子科学研究所: X 線作業主任者受験講習会, 2009.10 (名古屋)

池田 充

放射線画像における雑音の解析

ライフトピア地域支援研究センター活動報告会「少子高齢社会と患者家族支援」, 2009.10 (名古屋)

小山修司

医療被ばくの現状

日本保健物理学会セミナー2009, 2009.10 (大阪)

小寺吉衛

教育システムの将来ビジョンについて

第2回中部放射線医療技術学術大会, 2009.11 (大垣)

石樽信人

2009年 ICRP 第2専門委員会報告

平成21年度第1回 ICRP 調査研究連絡会報告会, 2009.12 (東京)

緒方良至

高校生のための放射線実習セミナー

日本原子力文化振興財団：高校生のための放射線実習セミナー, 2009.12 (牧之原)

緒方良至

高校生のための放射線実習セミナー

日本原子力文化振興財団：高校生のための放射線実習セミナー, 2009.12 (浜松)

検査技術科学専攻

3 検査技術科学専攻

〔著書〕

橋本克訓, 横井豊治

総論第7章 免疫組織化学・電子顕微鏡・他

『細胞診断学入門—臨床検査技師・細胞検査士をめざす人のために (新版)』(越川 卓, 横井豊治編) 名古屋大学出版会, 2009. pp 60-69

川部 勤

IV呼吸不全、換気異常 A.呼吸不全 肺酸素中毒症

『呼吸器症候群：その他の呼吸器疾患を含めて (第2版) 2 (別冊日本臨牀—新領域別症候群シリーズ：9)』日本臨床社, 2009. pp 443-448

藤森祐多, 小嶋哲人

抗凝固薬—最近の進歩

『Annual Review 血液 2009』(高久史麿ほか編) 中外医学社, 2009. pp 244-250

奥村 薫, 小嶋哲人

血友病 B の分子病態

『みんなに役立つ血友病の基礎と臨床』(白幡 聡編) 医歯ジャーナル社, 2009. pp 52-59

小嶋哲人

凝固障害、線溶障害

『血液・造血器疾患、神経疾患 (内科学書 (改訂第7版): Vol.6)』(小川 聡編) 中山書店, 2009. pp 181-187

野田明子

32-2 睡眠ポリグラフ検査 (PSG) の測定法と判定

『睡眠学』(日本睡眠学会編) 朝倉出版, 2009. pp 690-699

野田明子, 野田省二

PSG の危機管理

『睡眠検査学の基礎と臨床』(松浦雅人編) 新興医学出版社, 2009. pp 101-109

横井豊治

各論第2章 呼吸器疾患

『スタンダード病理学 (第3版)』(河原 栄, 滝澤登一郎編) 文光堂, 2009. pp 211-242

横井豊治

各論第2章 呼吸器

『解明病理学—病気のメカニズムを解く』(青笹克之編) 医歯薬出版, 2009. pp 281-317

横井豊治

各論第2章 呼吸器

『細胞診断学入門—臨床検査技師・細胞検査士をめざす人のために (新版)』(越川 卓, 横井豊治編) 名古屋大学出版会, 2009. pp 158-175

横井豊治

総論第8章 炎症・感染症

『標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野—病理学 (第3版) (Standard textbook)』(梶原博毅, 横井豊治編) 医学書院,

2009. pp 61-72

横井豊治

総論第10章 放射線障害

『標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野—病理学（第3版）（Standard textbook）』（梶原博毅，横井豊治編）医学書院，2009. pp 93-99

横井豊治

各論第2章 呼吸器

『標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野—病理学（第3版）（Standard textbook）』（梶原博毅，横井豊治編）医学書院，2009. pp 136-149

〔原著論文〕

SHIBASAKI Masataka, **HASHIMOTO Katsunori**, OKAMOTO Masakazu, HAYASHI Yuta, IMAIZUMI Kazuyosi, HASHIMOTO Naozumi, OZAKI Nobuaki, **YOKOI Toyoharu**, **TAKAGI Kenzo**, HASEGAWA Yoshinori, SHIMOKATA Kaoru, **KAWABE Tsutomu**

Up-regulation of surfactant protein production in a mouse model of secondary pulmonary alveolar proteinosis
Am J Respir Cell Mol Biol 40(5): 536-542, 2009

MIYACHI Masaaki, YAZAWA Hiroki, FURUKAWA Mayuko, TSUBOI Koji, OHTAKE Masafumi, NISHIZAWA Takako, **HASHIMOTO Katsunori**, **YOKOI Toyoharu**, **KOJIMA Tetsuhito**, MURATE Takashi, YOKOTA Mitsuhiro, MUROHAMA Toyoaki, **KOIKE Yasuo**, **NAGATA Kohzo**

Exercise training alters left ventricular geometry and attenuates heart failure in dahl salt-sensitive hypertensive rats
Hypertension 53(4): 701-707, 2009

TAKAGI Yasuyuki, HASHIMOTO Naozumi, PHAN Sem H., IMAIZUMI Kazuyoshi, MATSUO Masaki, NAKASHIMA Harunori, HASHIMOTO Izumi, HAYASHI Yuta, **KAWABE Tsutomu**, SHIMOKATA Kaoru, HASEGAWA Yoshinori

Erythromycin-induced CXCR4 expression on microvascular endothelial cells
Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol 297(3): L420-L431, 2009

SHIBASAKI Masataka, YAGI Tetsuya, YATSUYA Hiroshi, OKAMOTO Masakazu, NISHIKAWA Mitsunori, BABA Hisashi, HASHIMOTO Naozumi, SENDA Kazuyoshi, **KAWABE Tsutomu**, NAKASHIMA Kazumitsu, IMAIZUMI Kazuyoshi, SHIMOKATA Kaoru, HASEGAWA Yoshinori

An influence of Interferon- γ gene polymorphisms on treatment response to tuberculosis in Japanese population
J Infect 58(6): 467-469, 2009

SHIKIDA Mitsuhiro, NAITO Junichi, YOKOTA Takuo, **KAWABE Tsutomu**, HAYASHI Yuta, SATO Kazuo

A catheter-type flow sensor for measurement of aspirated- and inspired-air characteristics in the bronchial region
J Micromech Microeng 19(10): 1-9, 2009

大竹祐介，吉田理紗，川村久美子

Methicillin-Resistant Staphylococcus aureus (MRSA) における Triclosan 耐性 Small Colony Variants の解析
日本臨床微生物学雑誌 19(1): 12-20, 2009

川村久美子

多剤耐性緑膿菌 (multidrug-resistant Pseudomonas aeruginosa; MDRP) 検出用スクリーニング培地の基礎的検討
日本臨床微生物学雑誌 19(4): 220-229, 2009

清水美帆，山田純生，上坂建太，河野裕治，清水優子，三好都子，藤岡祐介，安井敬三，長谷川康博，古池保雄

脳梗塞患者の減塩行動と関連要因評価のための質問紙開発
日本循環器病予防学会誌 44(2): 116-125, 2009

ISHIKAWA Junko, OKADA Hiromi, KATO Hisao, TAKESHITA Satoshi, HONDA Shigenori, KAWASAKI Tomio, SUEHISA Etsuji, TSUJI Hajime, MADOIWA Seiji, SAKATA Yoichi, **KOJIMA Tetsuhito**, MURATA Mitsuru, IKEDA Yasuo, KOKUBO Yoshihiro, OKAMURA Tomonori, TOMOIKE Hitonobu, MIYATA Toshiyuki
Association of Asn221Ser mutation in tissue factor pathway inhibitor- β with plasma total tissue factor pathway inhibitor level
Blood Coagul Fibrinolysis 20(1): 22-26, 2009

YAMAMOTO Koji, TAKESHITA Kyosuke, **KOJIMA Tetsuhito**, TAKAMATSU Junki
Stress-induced PAI-1 expression is suppressed by pitavastatin in vivo
Int J Hematol 89(4): 553-554, 2009

MIYATA Toshiyuki, SATO Yukiko, ISHIKAWA Junko, OKADA Hiromi, TAKESHITA Satoshi, SAKATA Toshiyuki, KOKAME Koichi, KIMURA Rina, HONDA Shigenori, KAWASAKI Tomio, TSUJI Hajime, MADOIWA Seiji, SAKATA Yoichi, **KOJIMA Tetsuhito**, MURATA Mitsuru, IKEDA Yasuo
Prevalence of genetic mutations in protein S, protein C and antithrombin genes in Japanese patients with deep vein thrombosis
Thromb Res 124(1): 14-18, 2009

YAMAMOTO Koji, SHIBAYAMA Shuji, TAKESHITA Kyosuke, **KOJIMA Tetsuhito**, TAKAMATSU Junki
A novel cholesterol absorption inhibitor, ezetimibe, decreases adipose-derived and vascular PAI-1 expression in vivo
Thromb Res 124(5): 644-645, 2009

小嶋哲人

血栓性疾患—先天性凝固阻止因子欠乏症 (antithrombin、protein C、protein S 欠損症)
日本血栓止血学会誌 20(5): 484-486, 2009

宮田敏行, 岡田浩美, 川崎富夫, 辻 肇, 窓岩清治, 坂田洋一, 小嶋哲人, 村田 満, 池田康夫
日本人の血栓性素因
臨床血液 50(5): 381-388, 2009

NAGURA Junko, ISO Hiroyasu, WATANABE Yoshiyuki, MARUYAMA Koutatsu, DATE Chigusa, TOYOSHIMA Hideaki, YAMAMOTO Akio, KIKUCHI Shogo, KOIZUMI Akio, **KONDO Takaaki**, WADA Yasuhiko, INABA Yutaka, TAMAKOSHI Akiko
Fruit, vegetable and bean intake and mortality from cardiovascular disease among Japanese men and women: the JACC Study
Br J Nutr 102(2): 285-292, 2009

KIMATA Akiko, **KONDO Takaaki**, **UEYAMA Jun**, YAMAMOTO Kanami, KAMIJIMA Michiro, SUZUKI Koji, INOUE Takashi, ITO Yoshinori, HAMAJIMA Nobuyuki
Relationship between dietary habits and urinary concentrations of 3-phenoxybenzoic acid in a middle-aged and elderly general population in Japan
Environ Health Prev Med 14(3): 173-179, 2009

KIMATA Akiko, **KONDO Takaaki**, **UEYAMA Jun**, YAMAMOTO Kanami, YOSHITAKE Junko, **TAKAGI Kenji**, SUZUKI Koji, INOUE Takashi, ITO Yoshinori, HAMAJIMA Nobuyuki, KAMIJIMA Michiro, GOTOH Masahiro, SHIBATA Eiji
Comparison of urinary concentrations of 3-phenoxybenzoic acid among general residents in rural and suburban areas and employees of pest control firms
Int Arch Occup Environ Health 82(10): 1173-1178, 2009

KONDO Takaaki, KIMATA Akiko, YAMAMOTO Kanami, UYEMURA Sayoko, **UEYAMA Jun**, HORI Yoko
Effects of short-term variation in body mass index on blood pressure in middle-aged Japanese male workers

J Health Sci 55(1): 62-71, 2009

KIMATA Akiko, **KONDO Takaaki**, **UEYAMA Jun**, YAMAMOTO Kanami, MOCHIZUKI Aiko, ASAI Kazumi, **TAKAGI Kenji**, OKAMURA Ai, WANG Dong, KAMIJIMA Michiro, NAKAJIMA Tamie, FUKAYA Yukio, SHIBATA Eiji, GOTOH Masahiro, SAITO Isao

Relationship between urinary pesticide metabolites and pest control operation among occupational pesticide sprayers
J Occup Health 51(1): 100-105, 2009

KONDO Takaaki, ABE Maimi, **UEYAMA Jun**, KIMATA Akiko, YAMAMOTO Kanami, HORI Yoko

Use of waist circumference and ultrasonographic assessment of abdominal fat distribution in predicting metabolic risk factors in healthy Japanese adults

J Physiol Anthropol 28(1): 7-14, 2009

KONDO Takaaki, KIMATA Akiko, YAMAMOTO Kanami, UEYAMA Sayoko, **UEYAMA Jun**, YATSUYA Hiroshi, TAMAKOSHI Koji, HORI Yoko

Multilevel analyses of effects of variation in body mass index on serum lipid concentrations in middle-aged Japanese men
Nagoya J Med Sci 71(1-2): 19-28, 2009

鈴木洋子, 星野純子, 堀 容子, 長澤伸江, 前川厚子, 近藤高明, 榊原久孝, 岡本和士
主介護者の食品群別摂取量と介護疲労感との関連—半定量食物摂取頻度調査法を用いて—
栄養学雑誌 67(4): 168-177, 2009

星野純子, 堀 容子, 近藤高明, 前川厚子, 玉腰浩司, 榊原久孝
女性介護者における心身の健康的特性
日本公衆衛生雑誌 56(2): 75-86, 2009

HIROSE Etsuko, **MATSUSHIMA Miyoko**, **TAKAGI Kenzo**, OTA Yui, ISHIGAMI Keiko, HIRAYAMA Tatsuya, HAYASHI Yuta, NAKAMURA Toshinobu, HASHIMOTO Naozumi, IMAIZUMI Kazuyoshi, BABA Kenji, HASEGAWA Yoshinori, **KAWABE Tsutomu**
Involvement of heme oxygenase-1 in kaempferol-induced anti-allergic actions in RBL-2H3 cells

Inflammation 32(2): 99-108, 2009

MATSUSHIMA Miyoko, **TAKAGI Kenzo**, OGAWA Miyuki, HIROSE Etsuko, OTA Yui, ABE Fumie, BABA Kenji, HASEGAWA Takaaki, HASEGAWA Yoshinori, **KAWABE Tsutomu**

Heme oxygenase-1 mediates the anti-allergic actions of quercetin in rodent mast cells

Inflamm Res 58(10): 705-715, 2009

MATSUMOTO Naoki, OKOCHI Mina, **MATSUSHIMA Miyoko**, OGAWA Akiko, TAKASE Tomokazu, YOSHIDA Yasuko, KAWASE Mitsuo, ISOBE Ken-ichi, **KAWABE Tsutomu**, HONDA Hiroyuki

Development of peptide arrays for detection of IgE-binding epitopes in cow's milk allergens

J Biosci Bioeng 107(3): 324-330, 2009

OGASAWARA Nanako, OGURO Takashi, SAKABE Toshitsugu, **MATSUSHIMA Miyoko**, TAKIKAWA Osamu, ISOBE Ken-ichi, NAGASE Fumihiko

Hemoglobin induces the expression of indoleamine 2,3-dioxygenase in dendritic cells through the activation of PI3K, PKC, and NF- κ B and the generation of reactive oxygen species

J Cell Biochem 108(3): 716-725, 2009

MATSUMOTO Naoki, OKOCHI Mina, **MATSUSHIMA Miyoko**, KATO Ryuji, TAKASE Tomokazu, YOSHIDA Yasuko, KAWASE Mitsuo, ISOBE Ken-ichi, **KAWABE Tsutomu**, HONDA Hiroyuki

Peptide array-based analysis of the specific IgE and IgG4 in cow's milk allergens and its use in allergy evaluation

Peptides 30(10): 1840-1847, 2009

SUZUKI Motoshi, NIIMI Atsuko, LIMSIRICHAIKUL Siripan, TOMIDA Shuta, MIAO HUANG Qin, IZUTA Shuji, USUKURA Jiro, ITOH Yasutomo, HISHIDA Takashi, AKASHI Tomohiro, NAKAGAWA Yoshiyuki, KIKUCHI Akihiro, PAVLOV Youri, **MURATE Takashi**, TAKAHASHI Takashi

PCNA mono-ubiquitination and activation of translesion DNA polymerases by DNA polymerase α
J Biochem 146(1): 13-21, 2009

NEMOTO Susumu, NAKAMURA Mitsuhiro, OSAWA Yosuke, KONO Saki, ITOH Yoshinori, OKANO Yukio, **MURATE Takashi**, HARA Akira, UEDA Hiroshi, NOZAWA Yoshinori, BANNO Yoshiko

Sphingosine kinase isoforms regulate oxaliplatin sensitivity of human colon cancer cells through ceramide accumulation and Akt activation
J Biol Chem 284(16): 10422-10432, 2009

ITOH Shigeto, **NAGASAKA Tetsuro**, SUZUKI Kojiro, OTA Toyohiro, NAGANAWA Shinji

Lymphoplasmacytic sclerosing cholangitis: assessment of clinical, CT, and pathological findings
Clin Radiol 64(11): 1104-1114, 2009

INABA Tomoko, INO Kazuhiko, KAJIYAMA Hiroaki, YAMAMOTO Eiko, SHIBATA Kiyosumi, NAWA Akihiro, **NAGASAKA Tetsuro**, KIKKAWA Fumitaka

Role of the immunosuppressive enzyme indoleamine 2,3-dioxygenase in the progression of ovarian carcinoma
Gynecol Oncol 115(2): 185-192, 2009

IGUCHI Youichi, NIWA Yasumasa, MIYAHARA Ryoji, NAKAMURA Masanao, **NAGASAKA Tetsuro**, WATANABE Osamu, ANDO Takafumi, OHMIYA Naoki, ITOH Akihiro, HIROOKA Yoshiki, GOTO Hidemi

Pilot study on confocal endomicroscopy for determination of the depth of squamous cell esophageal cancer in vivo
J Gastroenterol Hepatol 24(11): 1733-1739, 2009

TAKAHASHI Noriko, YAMAMOTO Eiko, INO Kazuhiko, **NAGASAKA Tetsuro**, KAJIYAMA Hiroaki, SHIBATA Kiyosumi, NAWA Akihiro, KIKKAWA Fumitaka

High expression of N-acetylglucosaminyltransferase V in mucinous tumors of the ovary
Oncol Rep 22(5): 1027-1032, 2009

YAMADA Takashi, **NAGATA Kohzo**, CHENG Xianwu, OBATA Koji, SAKA Masako, MIYACHI Masaaki, NARUSE Keiko, NISHIZAWA Takao, **NODA Akiko**, IZAWA Hideo, KUZUYA Masafumi, OKUMURA Kenji, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro

Long-term administration of nifedipine attenuates cardiac remodeling and diastolic heart failure in hypertensive rats
Eur J Pharmacol 615(1-3): 163-170, 2009

MIYACHI Masaaki, **NAGATA Kohzo**

Response to exercise generates lactate and fluid intake: effects on mitochondrial function in heart and vascular smooth muscle
Hypertension 54(2): e15, 2009

CHENG Xianwu, OKUMURA Kenji, KUZUYA Masafumi, JIN Zhehu, **NAGATA Kohzo**, OBATA Koji, INOUE Aiko, HIRASHIKI Akihiro, TAKESHITA Kyosuke, UNNO Kazumasa, HARADA Ken, SHI Guoping, YOKOTA Mitsuhiro, MUROHARA Toyoaki
Mechanism of diastolic stiffening of the failing myocardium and its prevention by angiotensin receptor and calcium channel blockers

J Cardiovasc Pharmacol 54(1): 47-56, 2009

YAGI Hidehito, NAKATA Seiichi, TSUGE Hayato, YASUMA Fumihiko, **NODA Akiko**, MORINAGA Mami, TAGAYA Mitsuhiro,

NAKASHIMA Tsutomu

Significance of a screening device (Apnomonitor 5[®]) for sleep apnea syndrome

Auris Nasus Larynx 36(2): 176-180, 2009

SOGA Taro, NAKATA Seiichi, YASUMA Fumihiko, **NODA Akiko**, SUGIURA Tatsuki, YATSUYA Hiroshi, **KOIKE Yasuo**, OZAKI Norio, NAKASHIMA Tsutomu

Upper airway morphology in patients with obstructive sleep apnea syndrome: effects of lateral positioning

Auris Nasus Larynx 36(3): 305-309, 2009

YAGI Hidehito, NAKATA Seiichi, TSUGE Hayato, YASUMA Fumihiko, **NODA Akiko**, MORINAGA Mami, TAGAYA Mitsuhiko, NAKASHIMA Tsutomu

Morphological examination of upper airway in obstructive sleep apnea

Auris Nasus Larynx 36(4): 444-449, 2009

SUKEGAWA Mayo, **NODA Akiko**, MORISHITA Yuki, OCHI Hikari, MIYATA Seiko, HONDA Kumiko, MAENO Nobuhisa, OZAKI Norio, **KOIKE Yasuo**

Sleep and life habits in morning and evening types of human circadian rhythm

Biological Rhythm Res 40(2): 121-127, 2009

MINOSHIMA Makoto, **NODA Akiko**, NISHIZAWA Takao, HARA Yuki, SUGIURA Mari, IINO Shigeo, **NAGATA Kohzo**, **KOIKE Yasuo**, MUROHARA Toyoaki

Endomyocardial radial strain imaging and left ventricular relaxation abnormalities in patients with hypertrophic cardiomyopathy or hypertensive left ventricular hypertrophy

Circ J 73(12): 2294-2299, 2009

UNNO Kazumasa, ISOBE Satoshi, IZAWA Hideo, CHENG XianWu, KOBAYASHI Masakazu, HIRASHIKI Akihiro, YAMADA Takashi, HARADA Kenji, OHSHIMA Satoshi, **NODA Akiko**, **NAGATA Kohzo**, KATO Katsuyuki, YOKOTO Mitsuhiro, MUROHARA Toyoaki

Relation of functional and morphological changes in mitochondria to myocardial contractile and relaxation reserves in asymptomatic to mildly symptomatic patients with hypertrophic cardiomyopathy

Eur Heart J 30(15): 1853-1862, 2009

HARADA Kenji, IZAWA Hideo, NISHIZAWA Takao, HIRASHIKI Akihiro, MURASE Yosuke, KOBAYASHI Masakazu, ISOBE Satoru, CHENG XianWu, **NODA Akiko**, **NAGATA Kohzo**, YOKOTA Mitsuhiro, MUROHARA Toyoaki

Beneficial effects of torasemide on systolic wall stress and sympathetic nervous activity in asymptomatic or mildly symptomatic patients with heart failure: comparison with azosemide

J Cardiovasc Pharmacol 53(6): 468-473, 2009

MORINAGA Mami, NAKATA Seiichi, YASUMA Fumihiko, **NODA Akiko**, YAGI Hidehito, TAGAYA Mitsuhiko, SUGIURA Makoto, TERANISHI Masaaki, NAKASHIMA Tsutomu

Pharyngeal morphology: a determinant of successful nasal surgery for sleep apnea

Laryngoscope 119(5): 1011-1016, 2009

WATANABE Hirohisa, HIRAYAMA Masaaki, **NODA Akiko**, ITO Mizuki, ATSUTA Naoki, SENDA Jo, YAMADA Akira, KATSUNO Masahisa, TANAKA Fumiaki, SOBUE Gen

B-type natriuretic peptide and cardiovalvulopathy in Parkinson disease with dopamine agonist

Neurology 72(7): 621-626, 2009

SUKEGAWA Mayo, **NODA Akiko**, YASUDA Yoshinari, NAKATA Seiichi, SUGIURA Tatsuki, MIYATA Seiko, HONDA Kumiko, HASEGAWA Yoshinori, NAKASHIMA Tsutomu, **KOIKE Yasuo**

Impact of microarousal associated with increased negative esophageal pressure in sleep-disordered breathing
Sleep Breath 13(4): 369-373, 2009

YAMADA Takayuki, FUJIMORI Yuta, SUZUKI Atsuo, MIYAWAKI Yuhri, **TAKAGI Akira**, **MURATE Takashi**, SANO Masayuki, MATSUSHITA Tadashi, SAITO Hidehiko, **KOJIMA Tetsuhito**

A novel missense mutation causing abnormal LMAN1 in a Japanese patient with combined deficiency of factor V and factor VIII
Am J Hematol 84(11): 738-742, 2009

FURUHATA Ayako, KIMURA Ami, SHIDE Kotaro, SHIMODA Kazuya, MURAKAMI Masashi, ITO Hiromi, GAO Siqiang, YOSHIDA Kayo, TAGAWA Yoko, HAGIWARA Kazumi, **TAKAGI Akira**, **KOJIMA Tetsuhito**, SUZUKI Motoshi, ABE Akihiro, NAOE Tomoki, **MURATE Takashi**

p27 deregulation by Skp2 overexpression induced by the JAK2V617 mutation
Biochem Biophys Res Commun 383(4): 411-416, 2009

ITO Hiromi, MURAKAMI Masashi, FURUHATA Ayako, GAO Siqiang, YOSHIDA Kayo, SOBUE Sayaka, HAGIWARA Kazumi, **TAKAGI Akira**, **KOJIMA Tetsuhito**, SUZUKI Motoshi, BANNO Yoshiko, TANAKA Kenji, TAMIYA-KOIZUMI Keiko, KYOGASHIMA Mamoru, NOZAWA Yoshinori, **MURATE Takashi**

Transcriptional regulation of neutral sphingomyelinase 2 gene expression of a human breast cancer cell line, MCF-7, induced by the anti-cancer drug, daunorubicin
Biochim Biophys Acta 1789(11-12): 681-690, 2009

TAKAGI Akira, TANAKA Ryoko, NAKASHIMA Daisuke, FUJIMORI Yuta, YAMADA Takayuki, OKUMURA Kaoru, **MURATE Takashi**, YAMADA Midori, HORIKOSHI Yasuo, YAMAMOTO Koji, KATSUMI Akira, MATSUSHITA Tadashi, NAOE Tomoki, **KOJIMA Tetsuhito**

Definite diagnosis in Japanese patients with protein C deficiency by identification of causative PROC mutations
Int J Hematol 89(4): 555-557, 2009

FURUHATA Ayako, MURAKAMI Masashi, ITO Hiromi, GAO Siqiang, YOSHIDA Kayo, SOBUE Sayaka, KIKUCHI Ryosuke, IWASAKI Takashi, **TAKAGI Akira**, **KOJIMA Tetsuhito**, SUZUKI Motoshi, ABE Akihiro, NAOE Tomoki, **MURATE Takashi**
GATA-1 and GATA-2 binding to 3' enhancer of WT1 gene is essential for its transcription in acute leukemia and solid tumor cell lines

Leukemia 23(7): 1270-1277, 2009

GAO Siqiang, MURAKAMI Masashi, ITO Hiromi, FURUHATA Ayako, YOSHIDA Kayo, TAGAWA Yoko, HAGIWARA Kazumi, **TAKAGI Akira**, **KOJIMA Tetsuhito**, SUZUKI Motoshi, BANNO Yoshiko, NOZAWA Yoshinori, **MURATE Takashi**

Mutated ras induced PLD1 gene expression through increased Sp1 transcription factor
Nagoya J Med Sci 71(3-4): 127-136, 2009

ARISAWA Sakiko, ISHIDA Kumiki, KAMEYAMA Natsumi, **UEYAMA Jun**, HATTORI Ai, TATSUMI Yasuaki, HAYASHI Hisao, YANO Motoyoshi, HAYASHI Kazuhiko, KATANO Yoshiaki, GOTO Hidemi, **TAKAGI Kenji**, **WAKUSAWA Shinya**

Ursodeoxycholic acid induces glutathione synthesis through activation of PI3K/Akt pathway in HepG2 cell
Biochem Pharmacol 77(5): 858-866, 2009

ZHAO Yinglan, CEN Xiaobo, ABE Fumie, **UEYAMA Jun**, HOTTA Kazuo, KATO Saori, ITO Shino, SAGA Shinsuke, FUKAYA Yukio, WANG Li, WEI Yuquan, HASEGAWA Takaaki

Possible involvement of interleukin-6 (IL-6) in down-regulation of hepatic breast cancer resistance protein (Bcrp/ABCG2) in endotoxemic mice

Bull Aichi Bunkyo Women's Coll (Kenkyu Kiyu) 30: 27-42, 2009

UEYAMA Jun, KIMATA Akiko, KAMIJIMA Michihiro, HAMAJIMA Nobuyuki, ITO Yoshinori, SUZUKI Koji, INOUE Takashi,

YAMAMOTO Kanami, **TAKAGI Kenji**, SAITO Isao, MIYAMOTO Ken-ichi, HASEGAWA Takaaki, **KONDO Takaaki**
Urinary excretion of 3-phenoxybenzoic acid in middle-aged and elderly general population of Japan
Environ Res 109(2): 175-180, 2009

OKAMURA Ai, KAMIJIMA Michihiro, OHTANI Katsumi, YAMANOSHITA Osamu, NAKAMURA Daichi, ITO Yuki, MIYATA Maiko,
UEYAMA Jun, SUZUKI Takayoshi, IMAI Ryota, **TAKAGI Kenji**, NAKAJIMA Tamie
Broken sperm, cytoplasmic droplets and reduced sperm mobility are principal markers of decreased sperm quality due to
organophosphorus inrats
J Occup Health 51(6): 478-487, 2009

HAYASHI Hisao, FUJITA Yoshikazu, TATSUMI Yasuaki, HATTORI Ai, HAYASHI Kazuhiko, KATANO Yoshiaki, **WAKUSAWA
Shinya**, YANO Motoyoshi, ITOH Masafumi, MIZUTANI Naoki, GOTO Hidemi
Special stain and X-ray probe microanalysis of livers with Wilson disease
Hepatol Res 39(6): 563-568, 2009

IWAKI Mai, IMAIZUMI Kazuyoshi, **YOKOI Toyoharu**, KONDO Masashi, KAWAGUCHI Katsuhiko, HASEGAWA Yoshinori
Idiopathic pulmonary veno-occlusive disease
Intern Med 48(15): 1289-1292, 2009

藤沢治樹, 村上善子, **横井豊治**, 高橋雅英
剖検記録から一乳癌に対する化学療法中に進行性の間質性肺炎を発症した一例
現代医学 57(1): 119-123, 2009

〔総説・解説・その他〕

川部 勤, 長谷川好規
喘息と遺伝学—気管支喘息治療におけるファーマコゲノミクス
International Review of Asthma 11(2): 42-51, 2009

川部 勤, 西澤典彦, 北辻真史, 大島博嘉
呼吸器領域における光干渉断層計 (optical coherence tomography) の可能性
現代医学 57(2): 207-213, 2009

川村久美子, 太田美智男
アシネトバクターはポスト多剤耐性緑膿菌として要注意?
感染症 39(5): 179-183, 2009

小嶋哲人
〔特集〕抗 Xa 薬血栓療法をめぐって—抗凝固薬
Medico 40(3): 83-86, 2009

小嶋哲人
特集によせて—抗 Xa 薬療法のオーバービュー—その開発歴史を中心に—
血栓と循環 17(1): 11, 2009

奥村 薫, 小嶋哲人
抗 Xa 凝固—現状と展望—
血栓と循環 17(1): 34-37, 2009

野田明子, 中田誠一

鼻所見と閉塞性睡眠時無呼吸症候群
睡眠医療 3(1): 67-71, 2009

吉子健一, 野田明子
技師のための Q&A —睡眠脳波の異常について
睡眠医療 3(1): 127-131, 2009

宮田聖子, 野田明子, 古池保雄
Actigraphy による睡眠評価
睡眠医療 3(2): 257-263, 2009

野田明子
主観的評価—質問票と睡眠日誌—
日本臨床 67(8): 1153-1162, 2009

[科研費・班研究等]

小嶋哲人
血栓傾向の分子病態解析研究
平成20年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患対策研究事業血液凝固異常症に関する調査研究総括・分担研究報告書(慶應義塾大学医学部中央臨床検査部) pp95-98, 2009

小嶋哲人
門脈血栓発症症例における JAK2V617F 変異解析
平成20年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患対策研究事業門脈血行異常症に関する調査研究報告書(東京医科大学内科学第四講座) pp77-80, 2009

[学会発表]

玉腰暁子, 林 櫻松, 柳生聖子, 菊池正悟, 鈴木貞夫, 玉腰浩司, 近藤高明, 八谷 寛
高齢者の BMI と総死亡リスク: JACC Study から(抄録集 p 77, 2009)
第19回日本疫学会学術総会, 2009.1 (金沢)

榊原英一, 来海節夫, 稲垣 宏, 横井豊治
標準作製法 AMAPS を用いた乳腺穿刺細胞診成績について(抄録集 p 20, 2009)
第28回日本臨床細胞学会東海連合会学術集会, 2009.3 (名古屋)

川村久美子, 吉田理紗, 大竹祐介
尿路病原性大腸菌のフルオロキノロン耐性と病原因子保有率について(日本細菌学雑誌 64(1): 131, 2009)
第82回日本細菌学会総会, 2009.3 (名古屋)

大竹祐介, 川村久美子, 吉田理紗, 荒川宜親
methicillin-resistant Staphylococcus aureus における消毒薬耐性 small colony variants の解析(日本細菌学雑誌 64(1): 198, 2009)
第82回日本細菌学会総会, 2009.3 (名古屋)

NAGATA Kohzo, OHTAKE Masafumi, KATO Mayuko, TSUBOI Koji, YAMADA Yuichiro, INOUE Chisa, MURASE Tamayo, HATTORI Takuya, NISHIZAWA Takao, YOKOTA Mitsuhiro, MUROHARA Toyooki, **KOIKE Yasuo**
Glucocorticoid-induced hypertension, cardiac remodeling, and diastolic dysfunction in adrenalectomized dahl salt-sensitive rats (Circulation journal 73(Suppl. 1): 21, 2009)
第73回日本循環器学会総会・学術集会, 2009.3 (大阪)

UNNO Kazumasa, SHIBATA Rei, HIRASHIKI Akihiro, IZAWA Hideo, CHENG Xianwu, MURASE Yosuke, HARADA Ken, SAKAKIBARA Masaki, OHSHIMA Kei, YAMADA Takashi, FUNAHASHI Hidehito, KONDO Kazuhisa, NISHIZAWA Takao, ISOBE Satoshi, **NODA Akiko**, **NAGATA Kohzo**, YOKOTA Mitsuhiro, MUROHARA Toyoaki

Adiponectin acts as a positive indicator of diastolic dysfunction in patients with HCM (Circ J 73(Suppl. 1): 180, 2009)

第73回日本循環器学会総会・学術集会, 2009.3 (大阪)

OHTAKE Masafumi, KATO Mayuko, MURASE Tamayo, HATTORI Takuya, YAMADA Yuichiro, INOUE Chisa, SAKAI Masafumi, TSUBOI Koji, **KOIKE Yasuo**, **NAGATA Kohzo**

Glucocorticoid-mediated mineralocorticoid receptor activation induces cardiac remodeling and diastolic dysfunction in adrenalectomized Dahl salt-sensitive rats (Circ J 73(Suppl. 1): 219, 2009)

第73回日本循環器学会総会・学術集会, 2009.3 (大阪)

OKUMURA Takahiro, HIRASHIKI Akihiro, OHSHIMA Kei, SAKAKIBARA Masaki, FUNAHASHI Hidehito, UNNO Kazumasa, YAMADA Takashi, MURASE Yosuke, KOUNO Yuuji, **NODA Akiko**, IZAWA Hideo, YOKOTA Mitsuhiro, YAMADA Sumio, MUROHARA Toyoaki

Relation of peak VO_2 to myocardial contractile reserve measured by dobutamine stress testing in patients with idiopathic dilated cardiomyopathy (Circ J 73(Suppl. 1): 239, 2009)

第73回日本循環器学会総会・学術集会, 2009.3 (大阪)

HIRASHIKI Akihiro, IZAWA Hideo, OKUMURA Takahiro, OHSHIMA Kei, SAKAKIBARA Masaki, FUNAHASHI Hidehito, YAMADA Takashi, HARADA Ken, NISHIZAWA Takao, **NODA Akiko**, CHENG Xianwu, YOKOTA Mitsuhiro, MUROHARA Toyoaki

Mechanical restitution using dobutamine stress testing in patients with left ventricular dysfunction and atrial fibrillation (Circ J 73(Suppl. 1): 461, 2009)

第73回日本循環器学会総会・学術集会, 2009.3 (大阪)

KATO Mayuko, SHIBATA Rei, TSUBOI Koji, SAKAI Masafumi, INOUE Chisa, YAMADA Yuichiro, HATTORI Takuya, MURASE Tamayo, OHTAKE Masafumi, MUROHARA Toyoaki, **KOIKE Yasuo**, **NAGATA Kohzo**

Pioglitazone ameliorates heart failure and restores coronary capillary growth but not enhancing renal SGK1 or ENaC expression (Circ J 73(Suppl. 1): 525, 2009)

第73回日本循環器学会総会・学術集会, 2009.3 (大阪)

HIRASHIKI Akihiro, **NODA Akiko**, IZAWA Hideo, OKUMURA Takahiro, OHSHIMA Kei, SAKAKIBARA Masaki, FUNAHASHI Hidehito, YAMADA Takashi, HARADA Ken, NISHIZAWA Takao, CHENG Xianwu, YOKOTA Mitsuhiro, MUROHARA Toyoaki

Preservation of myocardial contractile reserve in nonischemic dilated cardiomyopathy patients with sleep-disordered breathing (Circ J 73(Suppl. 1): 535, 2009)

第73回日本循環器学会総会・学術集会, 2009.3 (大阪)

ASANO Hiroyuki, IZAWA Hideo, **NAGATA Kohzo**, KOBAYASHI Masakazu, HIRASHIKI Akihiro, SHINTANI Satoshi, NISHIZAWA Takao, TANIMURA Daisuke, MATSUBARA Tatsuaki, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro

Genetic determinants of plasma resistin levels in a Japanese aged cohort (KING study) (Circ J 73(Suppl. 1): 594, 2009)

第73回日本循環器学会総会・学術集会, 2009.3 (大阪)

TANIMURA Daisuke, IZAWA Hideo, SHIBATA Rei, KOBAYASHI Masakazu, HIRASHIKI Akihiro, MURASE Yosuke, **NAGATA Kohzo**, YAMADA Takashi, HARADA Ken, UNNO Kazumasa, NISHIZAWA Takao, ASANO Hiroyuki, SHINTANI Satoshi, MATSUBARA Tatsuaki, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro

Common variants in and around the adiponectin gene associated with plasma adiponectin level: result from KING Study (Circ J 73(Suppl. 1): 595, 2009)

第73回日本循環器学会総会・学術集会, 2009.3 (大阪)

KOJIMA Jun, **NODA Akiko**, HIRASHIKI Akihiro, NISHIZAWA Takao, TSUKANO Sayuri, ISHIKAWA Hiroshi, **NAGATA Kohzo**,

MUROHARA Toyoaki, **KOIKE Yasuo**

Clinical assessment of left ventricular torsion and untwisting in patients with dilated cardiomyopathy (Circ J 73(Suppl. 1): 599-600, 2009)

第73回日本循環器学会総会・学術集会, 2009.3 (大阪)

HIRASHIKI Akihiro, IZAWA Hideo, OKUMURA Takahiro, OHSHIMA Kei, SAKAKIBARA Masaki, FUNAHASHI Hidehito, YAMADA Takashi, HARADA Ken, NISHIZAWA Takao, **NODA Akiko**, CHENG Xianwu, YOKOTA Mitsuhiro, MUROHARA Toyoaki

Potential association of renal dysfunction with prolonged left ventricular relaxation in patients with nonischemic dilated cardiomyopathy (Circ J 73(Suppl. 1): 604, 2009)

第73回日本循環器学会総会・学術集会, 2009.3 (大阪)

TANIMURA Daisuke, IZAWA Hideo, SHIBATA Rei, KOBAYASHI Masakazu, HIRASHIKI Akihiro, MURASE Yosuke, **NAGATA Kohzo**, YAMADA Takashi, HARADA Ken, UNNO Kazumasa, NISHIZAWA Takao, ASANO Hiroyuki, SHINTANI Satoshi, MATSUBARA Tatsuaki, MUROHARA Toyoaki, YOKOTA Mitsuhiro

Measurement of the plasma adiponectin level is useful for the prediction of metabolic syndrome: result from KING Study (Circ J 73(Suppl. 1): 630, 2009)

第73回日本循環器学会総会・学術集会, 2009.3 (大阪)

有沢早葵子, 石田空美季, 上山 純, 服部亜衣, 巽 康彰, 林 久男, 高木健次, 涌澤伸哉

ウルソデオキシコール酸のPI3K/Akt経路の活性を介したグルタチオン合成の誘導(要旨集3号 p 202, 2009)

第129回日本薬学会年会, 2009.3 (京都)

近藤高明, 上山 純, 木全明子, 山本佳那実, 鈴木康司, 井上 孝, 伊藤宜則, 浜島信之, 長谷川幸治

健常成人集団における血清8-iso-PGF₂αと骨密度の関連(日本衛生学雑誌64(2): 457, 2009)

第79回日本衛生学会学術総会, 2009.3-4 (東京)

岡村 愛, 上島通浩, 上山 純, 高木健次, 柴田英治, 内藤久雄, 五藤雅博, 斎藤 勲, 那須民江

害虫防除作業者集団におけるフェニトロチオン散布とその尿中代謝物量との関連(日本衛生学雑誌 64(2): 589, 2009)

第79回日本衛生学会学術総会, 2009.3-4 (東京)

上山 純, 木全明子, 上島通浩, 濱島信之, 鈴木康司, 井上 孝, 伊藤宜則, 宮本謙一, 長谷川高明, 高木健次, 涌澤伸哉, 近藤高明

日本人中高齢者における尿中ピレスロイド系殺虫剤代謝物および血中酸化ストレス指標との関連性(日本衛生学雑誌 64(2): 591, 2009)

第79回日本衛生学会学術総会, 2009.3-4 (東京)

廣澤奈緒子, 上山 純, 望月愛子, 木全明子, 高木健次, 近藤高明, 高木健三, 涌澤伸哉, 長谷川高明

ピレスロイド系殺虫剤代謝産物の体内動態における性差(日本衛生学雑誌 64(2): 594, 2009)

第79回日本衛生学会学術総会, 2009.3-4 (東京)

川村久美子, 吉田理紗

尿路病原性大腸菌におけるフルオロキノロン系抗菌薬耐性および基質特異性拡張型βラクタマーゼ産生菌の動向(感染症学雑誌 83(5): 576-577, 2009)

第83回日本感染症学会総会・学術講演会, 2009.4 (東京)

三井伸二, 島田聡子, 橋本克訓, 榎本 篤, 鈴木智景, 浅井直也, 村雲芳樹, 中村栄男, 横井豊治, 高橋雅英

Sauropus androgynus(アマメシバ)による閉塞性細気管支炎の一剖検例(日本病理学会会誌 98(1): 328, 2009)

第98回日本病理学会総会, 2009.5 (京都)

NAKASHIMA Harunori, HASHIMOTO Naozumi, IMAIZUMI Kazuyoshi, MATSUO Masaki, HASHIMOTO Izumi, NAKAMURA

Toshinobu, HAYASHI Yuta, **KAWABE Tsutomu**, HASEGAWA Yoshinori

Involvement of transcription factor twist into phenotype change in lung cancer cells through epithelial?mesenchymal transition
ATS 2009: International Conference of American Thoracic Society 2009, 2009.5 (San Diego, USA)

HASHIMOTO Naozumi, FUJIBAYASHI Takayoshi, NAKASHIMA Harynori, MATSUO Masaki, IMAIZUMI Kazuyoshi, **KAWABE Tsutomu**, HASEGAWA Yoshinori

Cytoprotective effect of geranylgeranylacetone in bleomycin?induced lung injury/fibrosis
ATS 2009: International Conference of American Thoracic Society 2009, 2009.5 (San Diego, USA)

新美由紀, 三輪 茂, 山名知子, 笹 敏, 長谷川康博, 古池保雄

パーキンソン病における血漿カテコールアミンと BMI の関連 (臨床神経学 49(12): 1151, 2009)

第50回日本神経学会総会, 2009.5 (仙台)

宮脇由理, 鈴木敦夫, 藤森祐多, 山田貴之, 高木 明, 村手 隆, 小嶋哲人

重症血友病 A における血液凝固第 VIII 因子遺伝子の逆位解析法— Long PCR 法と Inverse Shifting-PCR 法— (会誌らぼ 60(1): 59, 2009)

第10回愛知県医学検査学会, 2009.5 (津島)

鈴木敦夫, 中島大輔, 宮脇由理, 藤森祐多, 山田貴之, 高木 明, 村手 隆, 小嶋哲人

遺伝性出血性末梢血管拡張症の1症例 (会誌らぼ 60(1), 60, 2009)

第10回愛知県医学検査学会, 2009.5 (津島)

松本直樹, 松島充代子, 伊藤浩明, 坂本龍雄, 川部 勤

牛乳アレルギー由来の30種ペプチドアレイ開発の試み (アレルギー 58(3-4): 409, 2009)

第21回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2009.6 (岐阜)

山田貴之, 藤森祐多, 鈴木敦夫, 宮脇由理, 高木 明, 村手 隆, 佐野雅之, 斎藤英彦, 小嶋哲人

新規遺伝子変異による血液凝固第 V・VIII 因子合併欠損症の分子病態解析 (日本血栓止血学会誌 20(2): 244, 2009)

第32回日本血栓止血学会学術集会, 2009.6 (北九州)

野田明子

シンポジウム: 左室収縮・弛緩予備能評価 (抄録集 p 9, 2009)

第28回日本超音波医学会中部地方会学術集会, 2009.6 (名古屋)

芝崎正崇, 橋本克訓, 岡本真和, 林 悠太, 西川満則, 中村俊信, 橋本直純, 佐藤光夫, 千田一嘉, 川部 勤, 中島一光, 今泉和良, 横井豊治, 高木健三, 下方 薫, 長谷川好規

続発性肺胞蛋白症の発症機序における CD40の関与の検討 (日本呼吸器学会雑誌 47(増刊): 194, 2009)

第49回日本呼吸器学会学術講演会, 2009.6 (東京)

富田耕太郎, 森田えみ, 栗木砂家加, 青山京子, 伊藤宜則, 光田洋子, 岡田理恵子, 川合紗世, 菱田朝陽, 内藤真理子, 若井建志, 浜島信之, 大西丈二, 堀 容子, 濱本律子, 鈴木洋子, 近藤高明, 上山 純, 木全明子, 山本佳那実, 廣澤奈緒子, 一ノ谷英憲

名古屋市民におけるピロリ菌感染状況

第16回日本がん予防学会「がん予防大会2009愛知」, 2009.6 (名古屋)

森田えみ, 若井建志, 栗木砂家加, 富田耕太郎, 青山京子, 伊藤宜則, 光田洋子, 岡田理恵子, 川合紗世, 菱田朝陽, 内藤真理子, 浜島信之, 大西丈二, 堀 容子, 濱本律子, 星野純子, 近藤高明, 上山 純, 木全明子, 山本佳那実, 廣澤奈緒子, 一ノ谷英憲

日本多施設共同コホート研究 Japan Multi-Institutional Collaborative Cohort Study(J-MICC Study) 大幸研究の進捗状況と参加者の概要について

第16回日本がん予防学会「がん予防大会2009愛知」, 2009.6 (名古屋)

宮脇由理, 鈴木敦夫, 藤森祐多, 山田貴之, 高木 明, 村手 隆, 小嶋哲人
重症血友病 A における血液凝固第 VIII 因遺伝子の逆位解析法— Long PCR と Inverse Shifting-PCR 法— (日本検査血液学会雑誌 10(学術集号), S90, 2009)

第10回日本検査血液学会学術集会, 2009.7 (甲府)

廣澤奈緒子, 上山 純, 上島通浩, 木全明子, 岡村 愛, 那須民江, 柴田英治, 五藤雅博, 深谷幸生, 近藤高明, 高木健次, 涌沢伸哉

一般生活者集団および殺虫剤散布職域集団の尿中有機リン系殺虫剤代謝物量 (抄録集 p 89, 2009)

第36回日本トキシコロジー学会学術年会, 2009.7 (盛岡)

MATSUSHIMA Miyoko, KAWABE Tsutomu, HIRAYAMA Tatsuya, MORI Akemi, TAKAGI Kenzo

Heme oxygenase-1 mediates the anti-allergic actions of quercetin in rodent mast cells

19th Congress of Interasthma Japan North Asia, 2009.7 (Tokyo)

SUZUKI Atsuo, SANDA Naomi, MAKITA Kanami, MIYAWAKI Yuhri, FUJIMORI Yuta, YAMADA Takayuki, **TAKAGI Akira, MURATE Takashi, SAITO Hidehiko, KOJIMA Tetsuhito**

Down-regulation of protein S expression by 17 β -estradiol in HepG2 cells (Final Program PP-MO-138)

22nd Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis, 2009.7 (Boston, USA)

YAMADA Takayuki, FUJIMORI Yuta, SUZUKI Atsuo, MIYAWAKI Yuhri, **TAKAGI Akira, SANO Masayuki, MURATE Takashi, SAITO Hidehiko, KOJIMA Tetsuhito**

A novel homozygous missense mutation in the LMN1 gene in a Japanese patient with combined factors V and VIII deficiency (Final Program PP-MO-671)

22nd Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis, 2009.7 (Boston, USA)

中崎千恵, **野田明子**, 小島 隼, 奥田将人, 藤田靖子, 柄野小百合, 石川 寛, 山田純生, 中田誠一, 中島 務, 古池保雄
地域在住高齢者における睡眠障害の検討 (抄録集 p 5, 2009)

第43回睡眠呼吸障害研究会, 2009.7 (東京)

中田誠一, 多賀谷満彦, 森永麻美, 加藤賢史, 中島 務, **野田明子**, 安間文彦, 山田尚美, 仲川佳織, 大橋麻弓, 相模安奈, 柴田あかね, 安立美音, 齊藤八千代, 佐々木文彦, 榊原博樹, 中戸川靖代

閉塞性睡眠時無呼吸症候群と咽喉頭異常感症との関係について (抄録集 p 17, 2009)

第43回睡眠呼吸障害研究会, 2009.7 (東京)

平山達也, 川部 勤, 松島充代子, 森 朱美, 高木健三

構造によるフラボノイドの抗アレルギー作用の検討

第40回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会, 2009.7 (名古屋)

原 稔晶, 上山 純, 木全明子, 鈴木利明, 佐藤浩司, 近藤高明, 高木健次, 長濱大輔, 森下芳孝, 中村栄男

プッシュプル型排気システム導入による病理検査室内のホルムアルデヒド曝露レベル改善効果の検討 (臨床病理 57(補冊): 174, 2009)

第56回日本臨床検査医学会学術集会, 2009.8 (札幌)

橋本克訓, 坂本慎太郎, 新田憲司, 水嶋祥栄, 長田裕之, 瀬古周子, 加藤正和, 青木光治, 前田永子, 都築豊徳, **横井豊治**
液状処理細胞診における甲状腺病変の細胞像の形態計測的解析 (臨床病理 57 (補冊): 294, 2009)

第56回日本臨床検査医学会学術集会, 2009.8 (札幌)

SHIBASAKI Masataka, YAGI Tetsuya, YATSUYA Hiroshi, OKAMOTO Masakazu, NISHIKAWA Mitsunori, BABA Hisashi,

HASHIMOTO Naozumi, SENDA Kazuyoshi, **KAWABE Tsutomu**, NAKASHIMA Kazumitsu, IMAIZUMI Kazuyoshi, SHIMOKATA Kaoru, HASEGAWA Yoshinori

Interferon- gene polymorphisms on interferon- production affects susceptibility and treatment response to tuberculosis in Japanese population

European Respiratory Society Annual Congress 2009, 2009.9 (Vienna, Austria)

SHIBASAKI Masataka, **KAWABE Tsutomu**, **HASHIMOTO Katsunori**, IMAIZUMI Kazuyoshi, HASHIMOTO Naozumi, SHIMOKATA Kaoru, HASEGAWA Yoshinori

Involvement of the CD40-CD154 interaction in the regulation of surfactant production and development of secondary pulmonary alveolar proteinosis

European Respiratory Society Annual Congress 2009, 2009.9 (Vienna, Austria)

服部拓哉, 永田浩三, 杉浦由姫乃, 古川まゆ子, 酒井雅史, 山田雄一郎, 井上千紗, 村瀬珠代, 大嶽正文, 坪井公司, 室原豊明, 古池保雄

ラットのアルドステロン誘発心筋傷害に対する食塩摂取制限の効果の検討 (ポスター抄録 p 11, 2009)

第32回日本高血圧学会総会, 2009.10 (大津)

村瀬珠代, 永田浩三, 岩瀬江利加, 坪井公司, 酒井雅史, 井上千紗, 山田雄一郎, 服部拓哉, 大嶽正文, 古川まゆ子, 室原豊明, 古池保雄

グルココルチコイド過剰によって誘発される高血圧と心血管傷害のメカニズムの検討 (ポスター抄録 p 46, 2009)

第32回日本高血圧学会総会, 2009.10 (大津)

岩井 聡, 松永直之, 横田拓央, 式田光宏, 川部 勤, 松島充代子, 佐藤一雄

動物実験用気道埋め込み型流量センサの開発

第26回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム, 2009.10 (東京)

伊藤裕美, 村上真史, 萩原和美, 吉田佳世, 田川容子, 佐々木法子, 祖父江沙矢加, 高木 明, 小嶋哲人, 坂野喜子, 田中広治, 京ヶ島守, 小泉恵子, 野澤義則, 村手 隆

ヒト乳癌細胞株 MCF7細胞における ATRA による NSMase2の発現調節 (プログラム・講演要旨集 p 2P-058, 2009)

第82回日本生化学会大会, 2009.10 (神戸)

吉田佳世, 村上真史, 伊藤裕美, 田川容子, 佐々木法子, 高木 明, 小嶋哲人, 坂野喜子, 野澤義則, 村手 隆

各種肺癌細胞株における Sphingosine-1-phosphate lyase(SPL) 転写調節機序の解析 (プログラム・講演要旨集 p 2P-059, 2009)

第82回日本生化学会大会, 2009.10 (神戸)

川原さと実, 河野早紀, 竹下未希, 中村光浩, 岡野幸雄, 原 明, 村手 隆, 野澤義則, 坂野喜子

スフィンゴシンキナーゼによる抗癌剤感受性の制御機構 (抄録集 p 211, 2009 ; プログラム・講演要旨集 p2P-060, 2009)

第82回日本生化学会大会, 2009.10 (神戸)

SUZUKI Atsuo, MIYAWAKI Yuhri, FUJIMORI Yuta, YAMADA Takayuki, **TAKAGI Akira**, **MURATE Takashi**, SAITO Hidehiko, **KOJIMA Tetsuhito**

Down-regulation of protein S expression by 17 β -estradiol in HepG2 cells

第71回日本血液学会総会学術集会, 2009.10 (京都)

TAMAKOSHI Akiko, YATSUYA Hiroshi, LIN Yingsong, TAMAKOSHI Koji, **KONDO Takaaki**, SUZUKI Sadao, YAGYU Kiyoko, KIKUCHI Shogo

Body mass index and mortality among Japanese older adults: findings from the JACC Study

27th Annual Scientific Meeting of the Obesity Society, 2009.10 (Washington DC, USA)

野田明子

シンポジウム：睡眠技師教育の動向と展望(抄録集 p 79, 2009)
第34回日本睡眠学会定期学術集会, 2009.10 (大阪)

野田明子

シンポジウム：呼吸器疾患：老年 SAS と睡眠関連低換気 / 低酸素血症の病態生理(抄録集 p 143, 2009)
第34回日本睡眠学会定期学術集会, 2009.10 (大阪)

中崎千恵, 小島 隼, 野田明子, 奥田将人, 藤田靖子, 柄野小百合, 石川 寛, 山田純生, 中田誠一, 中島 務, 古池保雄
地域在住高齢者における睡眠障害と認知機能および心血管障害に関する検討(抄録集 p 143, 2009)
第34回日本睡眠学会定期学術集会, 2009.10 (大阪)

平山達也, 川部 勤, 松島充代子, 森 朱美, 高木健三
グレリンおよびオベスタチンによる肥満細胞活性化機序の検討
第59回日本アレルギー学会秋季学術大会, 2009.10 (秋田)

松島充代子, 川部 勤, 平山達也, 森 朱美, 高木健三
フラボノイドの構造による HO-1発現誘導能の差と抗アレルギー作用の検討(アレルギー 58(8-9): 1334, 2009)
第59回日本アレルギー学会秋季学術大会, 2009.10 (秋田)

森本亜由美, 橋本克訓, 酒井美穂, 丸山総枝, 池井戸重廣, 小木曾篁, 中野晃伸, 横井豊治
液状処理細胞診検体を用いた腹水腺癌細胞と中皮細胞の免疫細胞化学的検討(日本臨床細胞学会雑誌 48(Suppl.2): 668, 2009)
第48回日本臨床細胞学会秋期大会, 2009.10 (福岡)

橋本克訓, 新田憲司, 水嶋祥栄, 長田裕之, 瀬古周子, 加藤正和, 青木光治, 前田永子, 都築豊徳, 横井豊治
甲状腺乳頭癌細胞の形態計測的解析—液状処理細胞診と従来法との比較—(日本臨床細胞学会雑誌 48(Suppl.2), 675, 2009)
第48回日本臨床細胞学会秋期大会, 2009.10 (福岡)

NAKAZAKI Chie, KOJIMA Jun, **NODA Akiko**, TSUKANO Sayuri, KATOU Kaori, HIRASHIKI Akihiro, OKUMURA Takahiro, TAKESHITA Kyouzuke, MUROHARA Toyoaki, **KOIKE Yasuo**
Clinical assessment of left ventricular torsional analysis in patients with dilated cardiomyopathy (J Card Fail 15(7, Suppl. 1): S168, 2009)
第13回日本心不全学会学術集会, 2009.10-11(福岡)

服部拓哉, 永田浩三, 村瀬珠代, 酒井雅史, 大嶽正文, 横田充弘, 室原豊明, 古池保雄
アルドステロン過剰ラットの心筋傷害に対する食塩摂取制限の効果の検討
第13回日本心不全学会学術集会, 2009.10-11 (福岡)

村瀬珠代, 永田浩三, 服部拓哉, 酒井雅史, 大嶽正文, 横田充弘, 室原豊明, 古池保雄
グルココルチコイド誘導性高血圧と心筋傷害のメカニズムの検討
第13回日本心不全学会学術集会, 2009.10-11 (福岡)

新美由紀, 山名知子, 真野和夫, 長谷川康博, 古池保雄
パーキンソン病の BMI と自律神経障害(プログラム・抄録集 p 184, 2009)
第62回日本自律神経学会総会, 2009.11 (和歌山)

伊藤 牧, 上山 純, 斎藤 勲, 高木健次, 涌澤伸哉, 仲井邦彦, 佐藤 洋, 上島通浩
使い捨て紙オムツを利用した尿中殺虫剤代謝物測定法の試み(産業衛生学雑誌 52(1): 59, 2010)
平成21年度日本産業衛生学会東海地方会学術集会, 2009.11 (名古屋)

川上 治, 古池保雄, 安藤哲朗, 杉浦 真, 加藤博子, 土方靖浩, 坪井 崇, 鈴木将史, 犬塚 円

高齢者の痙攣発作の臨床的特徴 (臨床神経生理学 37(5): 380, 2009)
第39回日本臨床神経生理学会学術大会, 2009.11 (北九州)

鈴木敦夫, 小嶋哲人
女性ホルモンとプロテイン S 欠乏症 (抄録集 p 60, 2009)
SSC シンポジウム2009, 2009.11 (東京)

平山達也, 松島充代子, 森 朱美, 川部 勤
Ghrelin and obestatin activate rat peritoneal mast cells as basicsecretagogues
第39回日本免疫学会総会・学術集会, 2009.12 (大阪)

森 朱美, 松島充代子, 平山達也, 川部 勤
Structure-activity relationship of flavonoids for anti-allergic effects by induced heme oxygenase-1
第39回日本免疫学会総会・学術集会, 2009.12 (大阪)

SUZUKI Atsuo, MIYAWAKI Yuhri, FUJIMORI Yuta, YAMADA Takayuki, **TAKAGI Akira**, **MURATE Takashi**, SAITO Hidehiko,
KOJIMA Tetsuhito
Anticoagulant protein S expression is down-regulated by ERalpha/Sp1 interaction recruiting NCoR/SMRT and HDAC3 in HepG2 cells (MBSJ 2009 Program p 250, 2009)
第32回日本分子生物学会年会, 2009.12 (横浜)

[公開講座・講演会]

近藤高明
脂質異常症
愛知県職員健康教室, 2009.1 (名古屋)

横井豊治
非腫瘍性肺疾患の病理と細胞診断
第5回細胞検査士会愛知県支部細胞検査研修会, 2009.1 (豊明)

永田浩三
運動負荷試験実習
第111回健康運動指導士養成講習会 (愛知会場), 2009.2

近藤高明
メタボリックシンドロームを予防しよう
メタボリック予防講演会, 2009.6 (岩倉)

近藤高明
大学との連携で健康づくりを实践する自治体での取り組み
ライフトピア地域支援研究センター活動報告会, 2009.10 (名古屋)

橋本克訓
ヘマトキシリン染色について (テキスト)
平成21年度愛知県臨床衛生検査技師会病理検査研究班基礎講座, 2009.11 (豊明)

近藤高明
健診結果の見方とこれからの健康管理
女性の健康診査・健康づくり教室, 2009.11 (尾張旭)

野田明子

腹臥位の生理機能へ及ぼす影響

第11回腹臥位療法研究会, 2009.12 (東京)

理学療法学専攻

4 理学療法学専攻

〔著書〕

林 久恵, 勝水健吾

閉塞性動脈硬化症を伴う71歳男性の慢性透析者に対する入院理学療法

『呼吸・循環・代謝疾患（理学療法フィールドノート：3）』（石川 朗, 内山 靖, 新田 收 編）南江堂, 2009. pp 244-257

林 久恵

水治療法

『物理療法（第2版）（理学療法学テキスト：第9巻）』（千住秀明監修, 沖田 実編）神陵文庫, 2009. pp 205-213

石田和人

第2章 脳科学の進歩：基礎編 第3節 脳の可塑性

『脳科学と理学療法（理学療法 MOOK：第16巻）』（大西秀明, 森岡 周編）三輪書店, 2009. pp 41-49

河上敬介

第1章 ミニレクチャー：コラーゲンについて理解しよう！

『関節可動制限：発展途上の理学療法—その可能性（実践 MOOK・理学療法プラクティス）』（嶋田智明, 大峯三郎, 百瀬公人編）文光堂, 2009. pp 45-46

鈴木重行

ストレッチング

『身体活動・運動と生活習慣病—運動生理学と最新の予防・治療（日本臨床増刊号：67-2）』（日本臨床編）日本臨床社, 2009. pp 454-458

鈴木重行

運動療法

『腰背部の痛み』（菊地臣一編）南江堂, 2009. pp 131-141

鈴木重行, 平野幸伸

検査・測定の実際—疼痛

『図解理学療法検査・測定ガイド（第2版）』（奈良 勲, 内山 靖編）文光堂, 2009. pp 275-284

鈴木重行

徒手の疼痛抑制法と ID ストレッチング

『非特異的腰痛のプライマリケア』（米延策雄, 菊地臣一編）三輪書店, 2009. pp 130-154

飯田有輝, 山田純生

8. 心臓手術後のリハビリテーション

『心臓外科看護の知識と実際（臨床ナースのための Basic&Standard）』（上田裕一編著）メディカ出版, 2009. pp 344-364

山田純生

虚血性心疾患の運動処方

『理学療法士のための運動処方マニュアル（第2版）』（奈良 勲, 大成浄志, 川口浩太郎編）文光堂, 2009. pp 172-205

〔原著論文〕

YATES Charlotte C., CHARLESWORTH Amanda, RESE Nancy, **ISHIDA Kazuto**, SKINNER Robert, GARCIA-RILL Edgar
Modafinil normalized hyperreflexia after spinal transection in adult rats

Spinal Cord 47(6): 481-485, 2009

加藤智香子, 猪田邦雄, 島岡 清, 朝日良共

健康カレッジでの転倒予防への取り組み—なごや健康カレッジ「転ばん大幸教室」の内容紹介と身体機能, Quality of Life(QOL)の変化—

地域リハビリテーション 4(12): 1058-1062, 2009

加藤智香子, 猪田邦雄, 原田 敦

介護老人保健施設の女性高齢者における日常生活活動と乖離した高い転倒自己効力感が転倒発生に与える影響

日本老年医学会雑誌 46(5): 428-435, 2009

AGATA Nobuhide, SASAI Nobuaki, INOUE-MIYAZU Masumi, **KAWAKAMI Keisuke**, HAYAKAWA Kimihide, KOBAYASHI Kunihiro, SOKABE Masahiro

Repetitive stretch suppresses denervation-induced atrophy of soleus muscle in rats

Muscle Nerve 39(4): 456-462, 2009

太田 進, 長谷和徳, 梶 大介, 二宮彰久, 相本啓太, 上田 誠

中高齢者を対象としたポールウォーキングの効果について—6週間の介入効果—

臨床スポーツ医学 26(9): 1189-1194, 2009

IWATA Masahiro, HAYAKAWA Kimihide, INOUE Takayuki, NARUSE Keiji, **SUZUKI Shigeyuki**

Uniaxial cyclic stretch increases glucose uptake into C2C12 myotubes through a signaling pathway independent of insulin-like growth factor I

Horm Metab Res 41(1): 16-22, 2009

INOUE Takayuki, **SUZUKI Shigeyuki**, HAGIWARA Ryusuke, IWATA Masahiro, BANNO Yasuhiro, OKITA Minoru

Effects of passive stretching on muscle injury and HSP expression during recovery after immobilization in rats

Pathobiology 76(5): 253-259, 2009

坂野裕洋, 沖田 実, 鈴木重行, 井上貴行, 吉田奈央, 小林由依, 高波美香, 林 綾子

ギブス固定後の再荷重によるラットヒラメ筋の筋線維損傷に対する温熱負荷の影響

理学療法学 36(2): 33-40, 2009

TORIHASHI Shigeko, HATTORI Takako, HASEGAWA Hirotaka, KURAHASHI Masaaki, OGAERI Takunori, FUJIMOTO Toyoshi

The expression and crucial roles of BMP signaling in development of smooth muscle progenitor cells in the mouse embryonic gut

Differentiation 77(3): 277-289, 2009

MIZUNO Yota, SUZUKI Mayu, NAKAGAWA Hiroki, NINAGAWA Nana, **TORIHASHI Shigeko**

Switching of actin isoforms in skeletal muscle differentiation using mouse ES cells

Histochem Cell Biol 132(6): 669-672, 2009

鈴木麻友, 水野陽太, 蛭川菜々, 八木 保, 鳥橋茂子

マウス ES 細胞を用いた骨格筋細胞の発生モデル

理学療法の医学的基礎 12(2): 20-26, 2009

樋口大輔, 内山 靖

圧迫性頸髄症において加齢変化は身体機能および能力の術後短期改善に影響を及ぼすか

日本老年医学会雑誌 46(2): 168, 2009

有菌信一, 内山 靖

呼吸循環器系疾患を有する高齢者の全身持久力と行動体力構成要素との関係
日本老年医学会雑誌 46(4): 341, 2009

SUZUKI Makoto, **YAMADA Sumio**, INAMURA Atsushi, OMORI Yoshitugu, KIRIMOTO Hikaru, SUGIMURA Seiichi, MIYAMOTO Masaaki

Reliability and validity of measurements of knee extension strength obtained from nursing home residents with dementia
Am J Phys Med Rehabil 88(11): 924-933, 2009

清水美帆, **山田純生**, 上坂建太, 河野裕治, 清水優子, 三好都子, 藤岡祐介, 安井敬三, 長谷川康博, 古池保雄
脳梗塞患者の減塩行動と関連要因評価のための質問紙開発
日本循環器病予防学会誌 44(2): 116-125, 2009

〔総説・解説・その他〕

牧野恵理子, **林 久恵**

歩行リハビリテーションを最初に始めるときに勧めたい靴選びのコツ：理学療法士の立場から—潰瘍や外科的処置後の創傷を有する場合を中心に—

臨床看護 35(11): 1660-1667, 2009

石田和人

刺激入力継続と脳機能再生に関する動物モデルによる研究
理学療法の医学的基礎 12(2): 15-19, 2009

河上敬介, 縣 信秀, 宮津真寿美

運動、荷重、伸張が筋萎縮予防に与える効果とそのメカニズム

理学療法ジャーナル 43(7): 581-590, 2009

河上敬介

機械刺激による筋の可塑性—基礎的知識から分子メカニズムまで—

理学療法研究・長野 37: 22-31, 2009

奈良間美保, 榊原久孝, **鈴木重行**, 鈴木國文, 浅野みどり, 玉腰浩司, **山田純生**, 河村守雄, 堀 容子, 會田信子, **石田和人**, 清水英樹, **林 久恵**, 大西文一

大学院教育改革支援プログラム「専攻横断型の包括的保健医療職の育成」の取り組み

日本看護医療学会雑誌 11(1): 1-5, 2009

鈴木敏和, 平野幸伸, **鈴木重行**

理学療法に必要な触診技術—関節

理学療法 26(2): 242-247, 2009

鈴木敏和, 平野幸伸, **鈴木重行**

理学療法に必要な触診技術—下腿・足部筋群 (1)

理学療法 26(3): 363-367, 2009

鈴木敏和, 平野幸伸, **鈴木重行**

理学療法に必要な触診技術—下腿・足部筋群 (2)

理学療法 26(4): 466-471, 2009

高橋健太郎, 沖田幸治, 平野幸伸, **鈴木敏和**, **鈴木重行**

理学療法に必要な触診技術—体幹のランドマーク (1)

理学療法 26(5): 571-577, 2009

高橋健太郎, 沖田幸治, 平野幸伸, 鈴木敏和, 鈴木重行
理学療法に必要な触診技術—体幹のランドマーク (2)
理学療法 26(6): 683-690, 2009

高橋健太郎, 沖田幸治, 平野幸伸, 鈴木敏和, 鈴木重行
理学療法に必要な触診技術—体幹筋 (1)
理学療法 26(7): 795-799, 2009

高橋健太郎, 沖田幸治, 平野幸伸, 鈴木敏和, 鈴木重行
理学療法に必要な触診技術—体幹筋 (2)
理学療法 26(8): 931-935, 2009

高橋健太郎, 沖田幸治, 平野幸伸, 鈴木敏和, 鈴木重行
理学療法に必要な触診技術—体幹筋 (3)
理学療法 26(9): 1059-1063, 2009

高橋健太郎, 沖田幸治, 平野幸伸, 鈴木敏和, 鈴木重行
理学療法に必要な触診技術—体幹筋 (4)
理学療法 26(10): 1179-1183, 2009

平野幸伸, 櫻井博紀, 青田安史, 栗田泰成, 鈴木重行
理学療法に必要な触診技術—臨床例: 下肢
理学療法 26(11): 1290-1295, 2009

平野幸伸, 櫻井博紀, 青田安史, 栗田泰成, 鈴木重行
理学療法に必要な触診技術—臨床例: 上肢・体幹
理学療法 26(12): 1410-1415, 2009

内山 靖

クリニカルリーズニング—理学療法士に求められる臨床能力
理学療法ジャーナル 43(2): 93, 2009

内山 靖

世界と日本における ICF への取り組み
理学療法ジャーナル 43(8): 653, 2009

三好都子, 山田純生, 清水優子, 岩津弘太郎, 上坂建太, 河野裕治, 伊藤悦子, 祖父江俊和, 加藤倫也, 井澤英夫, 室原豊明
慢性心不全患者における塩分制限セルフ・エフィカシー尺度の作成
心臓リハビリテーション 14(1): 276-280, 2009

山田純生, 河野裕治, 清水優子
慢性心不全の理学療法のあり方と今後の展望
理学療法 26(8): 947-953, 2009

飯田有輝, 山田純生

急性心筋梗塞第 I 相 (急性期)・第 II 相 (回復期) の理学療法
理学療法 26(8): 965-972, 2009

〔科研費・班研究等〕

石田和人, 鳥橋茂子

脳卒中モデル動物による効果的なりハビリテーションの検討とその作用メカニズムの解析
平成19年度～平成20年度科学研究費補助金（基盤研究(C)）研究成果報告書, 2009

加藤智香子, 猪田邦雄

骨折予防技術の QOL に関する効果
平成20年度厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業総括研究報告書, 2009

原田 敦, 徳田治彦, 長屋政博, 奥泉宏康, 加藤智香子

大腿骨頸部骨折予防技術による施設介護高齢者の転倒恐怖緩和、生活機能及び QOL の維持・向上に関する研究
平成18年度～平成20年度厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業総合研究報告書, 2009

河上敬介, 鳥橋茂子, 山本創太

液浸解剖標本を用いた地域貢献型人体解剖実習教育の構築
名古屋大学総長裁量経費教育研究改革・改善プロジェクト, 2009

宮津真寿美, 村上太郎, 長谷川昇, 河上敬介, 笹井宣昌

摂食タイミングが、伸張刺激による筋萎縮抑制効果を高めるか？
平成19年度～平成20年度科学研究費補助金（基盤研究(C)）研究成果報告書, 2009

小林邦彦, 長谷和徳, 河上敬介, 宮津真寿美

世界初徒手筋力検査学習用の患者シミュレーションロボットの開発
平成19年度～平成20年度科学研究費補助金（挑戦的萌芽研究）研究成果報告書, 2009

〔学会発表〕

YATES Charlotte, CHARLESWORTH Amanda, RESE Nancy, **ISHIDA Kazuto**, SKINNER Robert, GARCIA-RILL Edgar
Two treatments for hyperreflexia after spinal cord transection in the rat
Combined Section Meeting of the American Physical Therapy Association, 2009.2 (Las Vegas, USA)

蜷川菜々, 田中優介, 中川寛紀, 鳥橋茂子

マウス ES 細胞由来の間葉系幹細胞 (再生医療 8(Suppl.): 222, 2009)
第8回日本再生医療学会総会, 2009.3 (東京)

柴本圭悟, 桑田佳紀, 嶋津誠一郎, 千田 譲, 伊東慶一, 内山 靖

左半側無視に把握現象と運動保続を重畳し機能は改善したが ADL の安全性に難渋した一症例 (愛知県理学療法学会誌 21(1): 10-11, 2009)
第19回愛知県理学療法学会学術大会, 2009.3 (豊橋)

大森裕介, 森坂文子, 森嶋直人, 八木 了, 吉原永武, 太田 進

腰部脊柱管狭窄症術後患者の退院時連続歩行距離に影響する因子について (愛知県理学療法学会誌 21(1): 24-25, 2009)
第19回愛知県理学療法学会学術大会, 2009.3 (豊橋)

野々垣聡, 長谷川隆史, 内山 靖

中等度の歩行障害がある脳性麻痺児では平地歩行速度の制限因子は歩幅にある (愛知県理学療法学会誌 21(1): 110-111, 2009)
第19回愛知県理学療法学会学術大会, 2009.3 (豊橋)

鳥居善哉, 金井 章, 太田 進, 今泉史生, 山崎直哉

内側型変形性膝関節症患者における軟性膝装具の効果について
第19回愛知県理学療法学会, 2009.3 (豊橋)

小林聖典, 山田純生, 河野裕治, 神谷訓康, 中島將宏, 清水美帆, 田中裕子, 新渡戸紗都, 清水優子
地域在住高齢者における起立性低血圧は性別と下腿周囲径が関連する—身体組成・身体機能の指標から—
第73回日本循環器学会学術集会, 2009.3 (大阪)

奥村比沙子, 東千雅子, 山田純生
FMD (Flow-mediated-dilatation) 検査における検者内再現性および妥当性の検討
第73回日本循環器学会学術集会, 2009.3 (大阪)

山田純生

慢性心不全の生活機能—リハビリテーションコホート経過報告
第73回日本循環器学会学術集会, 2009.3 (大阪)

OKUMURA Takahiro, HIRASHIKI Akihiro, OHSHIMA Kei, SAKAKIBARA Masaki, FUNAHASHI Hidehito, UNNO Kazumasa,
YAMADA Takashi, MURASE Yosuke, KOUNO Yuji, NODA Akiko, IZAWA Hideo, YOKOTA Mitsuhiro, **YAMADA Sumio**,
MUROHARA Toyoaki

Relation of peak $\dot{V}O_2$ to myocardial contractile reserve measured by dobutamine stress testing in patients with idiopathic dilated
cardiomyopathy (Circ J 73(Suppl.1): 239, 2009)
第73回日本循環器学会学術集会, 2009.3 (大阪)

山田純生, 河野裕治, 上坂建太, 荒木 周, 藤岡祐介, 安井敬三, 長谷川康博, 古池保雄
発症時 ABI 異常値は脳卒中再発の予測因子となる
第34回日本脳卒中学会総会, 2009.3 (松江)

河野裕治, 山田純生, 上坂建太, 荒木 周, 藤岡祐介, 安井敬三, 長谷川康博, 古池保雄
軽症脳梗塞患者は病型により発症早期のライフスタイル状況に差がある
第34回日本脳卒中学会総会, 2009.3 (松江)

河野裕治, 山田純生, 上坂建太, 荒木 周, 藤岡祐介, 安井敬三, 長谷川康博, 古池保雄
発症1年以内の脳卒中再発はライフスタイルと関連する
第34回日本脳卒中学会総会, 2009.3 (松江)

山田純生, 河野裕治, 清水優子, 中島將宏, 奥村比沙子, 荒木 周, 安井敬三, 長谷川康博, 古池保雄
軽症脳梗塞のライフスタイル介入による再発予防効果に関する研究
第34回日本脳卒中学会総会, 2009.3 (松江)

河野裕治, 山田純生, 上坂建太, 荒木 周, 藤岡祐介, 安井敬三, 長谷川康博, 古池保雄
発症時のメタボリック症候群は脳卒中再発の予測因子となる
第34回日本脳卒中学会総会, 2009.3 (松江)

内山 靖

症候障害学による臨床思考過程の実践 (理学療法科学 24(特別号2): 23-25, 2009)
第8回理学療法科学学会春期研修会, 2009.3 (那須町, 栃木)

河上敬介, 清島大資, 長谷川仁郎
大臀筋は膝関節を伸展させるか? (解剖学雑誌 84(Suppl.): 136, 2009)
第114回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2009.3 (岡山)

鳥橋茂子, 水野陽太, 鈴木麻友, 蜷川菜々

ES 細胞から分化した骨格筋細胞と actin isoform の発現 (解剖学雑誌 84(Suppl.): 167, 2009)

第114回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2009.3 (岡山)

清島大資, 河上敬介

上肢の筋の起始部・停止部の再考—理学療法的視点より— (解剖学雑誌 84(Suppl.): 174, 2009)

第114回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2009.3 (岡山)

蜷川菜々, 鳥橋茂子

マウス ES 細胞由来の間葉系幹細胞とその分化能 (解剖学雑誌 84(Suppl.): 176, 2009)

第114回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2009.3 (岡山)

矢萩美和, 鈴木重行, 後藤百万, 吉川羊子, 関口由紀

腹圧性尿失禁保有女性の無作為化比較試験による理学療法介入効果と追跡調査

第22回日本老年泌尿器科学会, 2009.5 (京都)

寺部靖人, 原田 敦, 松井康素, 竹村真里枝, 飛田哲朗, 徳田治彦, 細井孝之, 長屋政博, 奥泉宏康, 加藤智香子

介護施設高齢女性にはビタミン D 欠乏が高頻度にみられる (日本整形外科学会雑誌 83(3): S516, 2009)

第82回日本整形外科学会学術総会, 2009.5 (福岡)

片岡亮人, 縣 信秀, 宮津真寿美, 河上敬介

周期的伸張刺激による筋萎縮軽減効果—1日に与える刺激時間が同じなら、1回よりも2回に分けた方が効果的である (抄録集 p 13, 2009; 理学療法の医学的基礎 13(1): 32, 2009)

第14回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2009.5 (東京)

岡元信弥, 森 友洋, 伊東佑太, 片岡亮人, 縣 信秀, 宮津真寿美, 河上敬介

Bupivacaine による筋損傷モデルラットにおける筋力と非損傷部の横断面積との関係 (抄録集 p 17, 2009; 理学療法の医学的基礎 13(1): 36, 2009)

第14回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2009.5 (東京)

森 友洋, 岡元信弥, 伊東佑太, 片岡亮人, 縣 信秀, 宮津真寿美, 河上敬介

筋損傷を H-E 染色にて評価できるか? (抄録集 p 18, 2009; 理学療法の医学的基礎 13(1): 37, 2009)

第14回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2009.5 (東京)

高松泰行, 石田章真, 濱川みちる, 石田和人

線条体出血モデルラットに対するトレッドミル走による運動機能回復の作用機序—線条体・大脳皮質の樹状突起に着目した検討— (理学療法の医学的基礎 13(1): 41, 2009)

第14回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2009.5 (東京)

片岡亮人, 縣 信秀, 宮津真寿美, 河上敬介

伸張刺激による筋萎縮軽減効果—1日に与える刺激量や時間が同じなら、1回よりも2回に分けた方が効果的である— (抄録集 S2-022, 2009; 理学療法学 36(Suppl.2): 70, 2009)

第44回日本理学療法学会学術大会, 2009.5 (東京)

高松泰行, 石田章真, 濱川みちる, 嶋田 悠, 中島宏樹, 平井梨奈, 石田和人

脳出血モデルラットに対するトレッドミル走による運動機能回復効果—脳出血後早期の病態に着目した検討— (理学療法学 36(Suppl.2): 113, 2009)

第44回日本理学療法学会学術大会, 2009.5 (東京)

松尾真吾, 下 和弘, 岩田全広, 松原貴子, 鈴木重行

超音波画像診断装置を用いた運動負荷による頸肩部の軟部組織評価の試み (理学療法学 36(Suppl.2): 130, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

横山理穂子, 平川倫恵, 鈴木重行

尿失禁保有女性の受診行動に影響を及ぼす因子の調査 (理学療法学 36(Suppl.2): 155, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

伊東佑太, 岡元信弥, 片岡亮人, 縣 信秀, 宮津真寿美, 平野孝行, 河上敬介

廃用性筋萎縮に対する運動効果のマウスを用いた検討 (抄録集 P1-171 ; 理学療法学 36(Suppl.2): 252, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

縣 信秀, 加藤 茜, 笹井宣昌, 清島大資, 伊東佑太, 宮津真寿美, 早川公英, 平野孝行, 河上敬介

筋萎縮に伴うコスタメア構造の変化と FAK リン酸化 (抄録集 P1-172, 2009 ; 理学療法学 36(Suppl.2): 253, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

石田章真, 飛田秀樹, 高松泰行, 濱川みちる, 石田和人

一側前肢の持続的な使用制限が中枢神経機能および組織に及ぼす機能 (理学療法学 36(Suppl.2): 261, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

長谷川隆史, 内山 靖, 野々垣聡, 鈴木重行

不全脊髄損傷者に対する体重免荷トレッドミル歩行では体重免荷によってケイデンスを増加することができる (理学療法学 36(Suppl.2): 342, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

野々垣聡, 長谷川隆史, 内山 靖

脳性麻痺児は歩行速度を増加するためにケイデンスと歩幅をどのように適応させているか (理学療法学 36(Suppl.2): 346, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

長縄幸平, 上田周平, 岩崎真美, 平林孝啓, 川瀬修平, 藤原光宏, 小竹伴照, 鈴木重行

回復期リハの退院時 ADL に影響する急性期リハの因子 (理学療法学 36(Suppl.2): 353, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

赤羽佐知子, 上田周平, 小竹伴照, 鈴木重行

大腿骨頸部骨折患者の歩行自立可否に影響する急性期因子の検討 (理学療法学 36(Suppl.2): 454, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

小林聖典, 山田純生, 河野裕治, 神谷訓康, 田中裕子, 新渡戸紗都, 清水美帆, 清水優子, 中島将宏

糖尿病治療薬を服薬している地域在住高齢者は6分間歩行距離と交感神経活動が関連する (理学療法学 36(Suppl.2): 562, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

奥村比沙子, 山田純生, 神谷訓康, 小林聖典, 田中裕子, 新渡戸紗都, 清水優子, 河野裕治

地域在住高齢者における血流依存性血管拡張反応と6分間歩行試験との関連 (理学療法学 36(Suppl.2): 588, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

大野善隆, 山田純生, 後藤勝正

成熟期マウスの骨格筋に対する温熱刺激の効果 (理学療法学 36(Suppl.2): 742, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

岩田全広, 坂野裕洋, 鳥橋茂子, 井上貴行, 矢田絵理奈, 松尾真吾, 鈴木重行

温熱刺激によるデキサメタゾン誘導性の筋萎縮の進行抑制効果について (理学療法学 36(Suppl.2): 746, 2009)

第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

中川寛紀, 田中優介, 蛭川菜々, 鈴木麻友, 水野陽太, 鳥橋茂子
ES細胞から単離したM-cadherin陽性細胞による筋形成 (理学療法学 36(Suppl.2): 754, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

蛭川菜々, 田中優介, 中川寛紀, 鳥橋茂子
マウスES細胞由来間葉系幹細胞の形成と収集 (理学療法学 36(Suppl.2): 755, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

田中優介, 蛭川菜々, 中川寛紀, 鳥橋茂子
コラーゲンコートを用いたES細胞を血管系細胞へ分化させる三次元培養法 (理学療法学 36(Suppl.2): 756, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

平川倫恵, 加藤久美子, 鈴木重行
腹圧性尿失禁に対するホームトレーナーを併用した高頻度のバイオフィードバック療法の治療効果の検討 (理学療法学 36(Suppl.2): 775, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

栢本あずさ, 清水優子, 山田純生
上肢運動における呼吸を意識した呼吸パターンが換気効率に与える影響 (理学療法学 36(Suppl.2): 1092, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

若田 真, 河野裕治, 山田純生
運動様式が気流制限に及ぼす影響 (理学療法学 36(Suppl.2): 1093, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

坂本 圭, 岩田全広, 鈴木重行
骨格筋への経皮的電気刺激はラットの血糖値を低下させる (理学療法学 36(Suppl.2): 1292, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

若槻宇多, 坂本 圭, 岩田全広, 石田和人, 鈴木重行
高脂肪食摂取とストレプトゾチン投与を併用した2型糖尿病モデルラットにおける膵臓の病理組織学的検討 (理学療法学 36(Suppl.2): 1308, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

樋口大輔, 新谷和文, 坂本雅昭, 内山 靖
頸髄症における術前画像所見は術後1ヵ月の機能改善の程度を予測できるか (理学療法学 36(Suppl.2): 1499, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

新渡戸紗都, 成澤正宏, 作井大介, 田中裕子, 山田純生
Low Frequency Fatigue の評価指標の再現性 (理学療法学 36(Suppl.2): 1652, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

川瀬春奈, 小林聖典, 山田純生
腹部圧迫は地域在住高齢者の起立性低血圧を改善させる (理学療法学 36(Suppl.2): 1653, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

森坂文子, 太田 進, 八木 了
変形性膝関節症に対し全人工膝関節置換術を施行した患者の手術前後の関節可動域、筋力、日常生活動作

第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

TORIHASHI Shigeko

Development of ICC in vivo and from embryonic stem cells (Proceedings)

Digestive Disease Week 2009, 2009.5-6 (Chicago, USA)

清水美帆, 山田純生, 河野裕治, 中島將宏, 清水優子, 神谷訓康, 小林聖典, 荒木 周, 藤岡祐介, 安井敬三, 長谷川康博, 古池保雄

軽症脳梗塞既往者に対する継続的減塩支援プログラムの効果に関する研究—ランダム化比較試験(日本循環器病予防学会誌 44(2): 94, 2009)

第45回日本循環器病予防学会・日本循環器管理研究協議会総会, 2009.6 (横浜)

中島將宏, 山田純生, 河野裕治, 清水美帆, 神谷訓康, 小林聖典, 清水優子, 荒木 周, 藤岡祐介, 安井敬三, 長谷川康博, 古池保雄

軽症脳梗塞既往者に対する携帯型脈拍モニタリング機器を用いた遠隔運動支援プログラムの有効性の検討—ランダム化比較試験(日本循環器病予防学会誌 44(2): 101, 2009)

第45回日本循環器病予防学会・日本循環器管理研究協議会総会, 2009.6 (横浜)

丸山智美, 堀 容子, 根本蓉子, 清水英樹, 藤原奈佳子, 加藤林也, 山田純生

外食産業施設における利尿と降圧効果のある提供献立に関する実践報告—DASH 食の展開例(日本循環器病予防学会誌 44(2): 108, 2009)

第45回日本循環器病予防学会・日本循環器管理研究協議会総会, 2009.6 (横浜)

鳥橋茂子, 倉橋正明

消化管平滑筋層とカハールの介在細胞の発生(腸内細菌学雑誌 23(2): 133-134, 2009)

第13回腸内細菌学会, 2009.6 (東京)

奥村貴裕, 平敷安希博, 大島 景, 榊原雅樹, 舟橋栄人, 大島 覚, 河野裕治, 山田純生, 室原豊明

特発性拡張型心筋症患者における exercise oscillatory breathing の有無に関する検討

第133回日本循環器学会東海地方会, 2009.6 (津)

太田 進, 上田 誠, 相本啓太, 鈴木康雄, 木村宏樹, 元田英一

歩行時における足関節背屈制限が膝関節に及ぼす影響について

第1回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS 2009), 2009.6 (札幌)

NINAGAWA Nana, TANAKA Yusuke, NAKAGAWA Hiroki, **TORIHASHI Shigeko**

CD105 positive adipose-derived mesenchymal stem cells (Abstract p 43, 2009)

7th Annual Meeting of International Society for Stem Cell Research, 2009.7 (Barcelona, Spain)

下 和弘, 牛田享宏, 新井健一, 松原貴子, 大須賀友晃, 鈴木重行

熱流束の違いは冷覚閾値に影響を及ぼすのか—健常者での検討—

第31回日本疼痛学会, 2009.7 (名古屋)

飯田有輝, 山田純生, 伊藤武久, 上田有紀, 佐藤友紀, 関慎之介, 山崎武則

冠動脈バイパス術患者における術前心臓悪液質は再入院と関係する

第15回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2009.7 (東京)

奥村比沙子, 山田純生, 神谷訓康, 小林聖典, 田中裕子, 新渡戸紗都, 河野裕治, 清水優子, 清水美帆, 中島將宏

地域在住高齢女性における FMD 値と年齢の関連

第15回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2009.7 (東京)

神谷訓康, 山田純生

高齢者において抑うつと低体力が併存すると動作時の疲労が強く生じる
第15回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2009.7 (東京)

清水優子, 山田純生, 尾崎紀夫, 三宅良彦, 和泉 徹

慢性心不全の退院後の抑うつ発生
第15回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2009.7 (東京)

河野裕治, 山田純生, 清水優子, 奥村貴裕, 平敷安希博, 伊藤理恵, 天野貴子, 住田佳陽, 室原豊明

心不全患者における6分間歩行試験と最大酸素摂取量との関連
第15回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2009.7 (東京)

平敷安希博, 山田純生, 奥村貴裕, 清水優子, 河野裕治, 住田佳陽, 諸岡貴子, 伊藤理恵子, 室原豊明

肺動脈性高血圧症に対する CPX での重症度・治療効果判定の経験
第15回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2009.7 (東京)

山田純生, 河野裕治, 奥村貴裕, 平敷安希博, 室原豊明

慢性心不全における下腿周囲径と心ポンプ能の関連性
第15回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2009.7 (東京)

奥村貴裕, 平敷安希博, 清水優子, 河野裕治, 住田佳陽, 諸岡貴子, 伊藤理恵子, 山田純生, 室原豊明

特発性拡張型心筋症患者における exercise oscillatory breathing に関する検討
第15回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2009.7 (東京)

松岡昭仁, 加藤林也, 山田純生, 祖父江俊和, 松岡立哉, 伊藤悦子, 梅田奈水子, 清水優子

術後呼吸困難感が長期遷延した一症例
第15回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2009.7 (東京)

松岡立哉, 伊藤悦子, 松岡昭仁, 祖父江俊和, 山田純生, 加藤林也, 梅田奈水子

在宅運動療法を余儀なくされた重症心不全患者の一例
第15回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2009.7 (東京)

三好都子, 山田純生, 井田雅之, 河合由美, 石木良二, 岩瀬三紀

高齢心不全患者の短期間での再入院に関する実態調査
第15回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2009.7 (東京)

山田純生

レジスタンストレーニングの処方
第15回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2009.7 (東京)

山田純生, 三宅良彦, 尾崎紀夫, 和泉 徹

慢性心不全の生活機能一リハビリテーションコホート経過報告
第15回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2009.7 (東京)

TORIHASHI Shigeko

Mesenchymal stem cells from mouse ES cells: potential for their differentiation and immune tolerance (Abstract p 21, 2009)
JST-CIRM 研究交流：幹細胞利用技術への免疫学的アプローチワークショップ, 2009.7 (京都)

TORIHASHI Shigeko, KURAHASHI Masaaki

BMP and PDGF signaling in development of the gastrointestinal musculature (Abstract p 53, 2009)

Post-Genomic Advances in the Physiology of Smooth Muscle, 2009.7 (Nagoya)

AGATA Nobuhide, SASAI Nobuaki, INOUE-MIYAZU Masumi, **KAWAKAMI Keisuke**, HAYAKAWA Kimihide, KOBAYASHI Kunihiro, SOKABE Masahiro

Repetitive stretching suppresses muscle atrophy of denervated soleus muscle via Akt/m tor pathways (J Physiol Sci 59(1, Suppl. 1): 215, 2009)

36th International Congress of Physiological Sciences, 2009.7-8 (Kyoto)

SATONAKA Ayako, SUZUKI Nobuharu, **KAWAMURA Morio**

Relationship between intensity of daily physical activities and reliability of Rating of Perceived Exertion (RPE)

36th International Congress of Physiological Sciences, 2009.7-8 (Kyoto)

INOUE Takayuki, **SUZUKI Shigeyuki**, HAGIWARA Ryusuke, IWATA Masahiro, BANNO Masahiro, OKITA Minoru

Does passive stretching influence muscle injury and HSPs expression during reloading after cast immobilization in rats?

36th International Congress of Physiological Sciences, 2009.7-8 (Kyoto)

BANNO Yasuhiro, OKITA Minoru, **SUZUKI Shigeyuki**, INOUE Takayuki, YOSHIDA Nao

Effects of heat stress on muscle fibers damage in reloading after immobilized rat soleus muscle

36th International Congress of Physiological Sciences, 2009.7-8 (Kyoto)

IWATA Masahiro, **SUZUKI Shigeyuki**, HAYAKAWA Kimihide, INOUE Takayuki, NARUSE Keiji

Mechanical stretch stimulates glucose uptake through a mechanism distinct from that of insulin-like growth factor 1 in skeletal muscle cells

36th International Congress of Physiological Sciences, 2009.7-8 (Kyoto)

平川倫恵, 鈴木重行, 加藤久美子

腹圧性尿失禁に対するバイオフィードバック療法の治療効果の検討 (日本排尿機能学会誌 20(1): 210, 2009)

第16回日本排尿機能学会, 2009.9 (福岡)

伊東佑太, 岡元信弥, 縣 信秀, 宮津真寿美, 平野孝行, 河上敬介

立ち上がり運動による廃用性筋萎縮からの回復—モデルマウスを使って— (形態・機能 8(1): 32, 2009)

第8回コ・メディカル形態機能学会学術集会, 2009.9 (京都)

石田章真, 石田和人, 上田佳明, 飛田秀樹

内包出血後の constraint-induced movement therapy がラットの四肢運動機能に及ぼす影響

第32回日本神経科学学会大会, 2009.9 (名古屋)

奥村貴裕, 平敷安希博, 大島 景, 榊原雅樹, 舟橋栄人, 大島 覚, 河野裕治, 山田純生, 室原豊明

特発性拡張型心筋症における心筋収縮予備能は VE/VCO_2 slope より Peak VO_2 と関連が強い (日本心臓病学会誌 4(Suppl.I): 235, 2009)

第57回日本心臓病学会学術集会, 2009.9 (札幌)

新渡戸紗都, 山田純生, 作井大介, 奥村比沙子, 田中裕子, 成澤正宏

Low Frequency Fatigue を制御した電気刺激療法の検討 (日本心臓病学会誌 4(Suppl.I): 493, 2009)

第57回日本心臓病学会学術集会, 2009.9 (札幌)

清水優子, 山田純生

慢性心不全の入院期における抑うつが病態増悪に及ぼす影響 (日本心臓病学会誌 4(Suppl.I): 495, 2009)

第57回日本心臓病学会学術集会, 2009.9 (札幌)

河野裕治, 山田純生, 清水優子, 奥村貴裕, 平敷安希博, 室原豊明
慢性心不全患者における HbA1c と運動耐容能との関連 (日本心臓病学会誌 4(Suppl.I): 495, 2009)
第57回日本心臓病学会学術集会, 2009.9 (札幌)

YAMADA Sumio, SHINIZU Yuko, MIYAKE Fumihiko, IZUMI Toru
Daily functioning and congestive heart failure (日本心臓病学会誌 4(Suppl.I): 495, 2009)
第57回日本心臓病学会学術集会, 2009.9 (札幌)

大野善隆, 山田純生, 後藤勝正, 杉浦崇夫, 大平充宣, 吉岡利忠
温熱負荷は高齢マウスの骨格筋肥大を引き起こす (体力科学 58(6): 616, 2009)
第64回日本体力医学会大会, 2009.9 (新潟)

岩田全広, 坂野裕洋, 井上貴行, 鈴木重行
培養骨格筋細胞に対する熱刺激による HSP70 の発現と肥大の検討 (体力科学 58(6): 629, 2009)
第64回日本体力医学会大会, 2009.9 (新潟)

室 増男, 只野千茅, 下瀬良太, 重田枝里子, 与那正栄, 田島多恵子, 内藤祐子, 牛込伸行, 内山 靖
高齢者の大腿四頭筋皮膚冷刺激における歩行運動と自転車運動の筋活動比較 (体力科学 58(6): 950, 2009)
第64回日本体力医学会大会, 2009.9 (新潟)

内山 靖, 橋立博幸, 室 増男
虚弱高齢者に対する大腿部皮膚冷却刺激による身体機能および基本動作能力の短期介入効果 (体力科学 58(6): 966, 2009)
第64回日本体力医学会大会, 2009.9 (新潟)

坂野裕洋, 沖田 実, 鈴木重行, 井上貴行
熱刺激によるプレコンディショニングがギプス固定後の再荷重による筋傷害に与える影響 (体力科学 58(6): 971, 2009)
第64回日本体力医学会大会, 2009.9 (新潟)

鳥橋茂子, 田中優介, 山本優理, 中川寛紀, 蜷川菜々
ES 細胞を血管系細胞へ分化させるコラーゲンをを用いた三次元培養法 (抄録集 p 26, 2009)
第50回日本組織細胞化学会総会・学術集会, 2009.9 (大津)

内山 靖
臨床家だからできる理学療法研究—気づきとリサーチクエスト— (理学療法学 36(Suppl.3): 48, 2009)
第44回日本理学療法士協会全国学術研修大会, 2009.10 (四日市)

森山善文, 林 久恵
運動生理学的視点からみた笑いの効果について
第11回日本看護医療学会学術集会, 2009.10 (津)

奥泉宏康, 原田 敦, 長屋政博, 徳田治彦, 加藤智香子
ヒッププロテクターによる大腿骨近位部骨折予防—介護施設での成績— (プログラム・抄録集 p 41, 2009)
第6回転倒予防医学研究会研究集会, 2009.10 (東京)

今宿万里江, 加藤智香子
高齢者における側方バランス tp 転倒との関連—前方バランスと比較して— (プログラム・抄録集 p 58, 2009)
第6回転倒予防医学研究会研究集会, 2009.10 (東京)

吉水久恵, 加藤智香子
地域在住高齢者におけるジャンプ反応時間の加齢変化と転倒歴との関連 (プログラム・抄録集 p 60, 2009)

第6回転倒予防医学研究会研究集会, 2009.10 (東京)

蜷川菜々, 村神瑠美, 鳥橋茂子

マウス ES 細胞由来間葉系幹細胞の分化能 (予稿集 p 8, 2009)

第69回日本解剖学会中部支部学術集会, 2009.10-11 (浜松)

原田 敦, 徳田治彦, 長屋政博, 奥泉宏康, 加藤智香子, 松井康素, 酒井義人, 竹村真里枝, 寺部靖人, 飛田哲朗

ヒッププロテクターの大腿骨近位部骨折リスクと転倒恐怖、QOL への効果に関する研究 (Osteoporosis Japan 17(Suppl.1): 149, 2009)

第11回日本骨粗鬆症学会骨ドック・健診分科会, 2009.10 (名古屋)

TAKAMATSU Yasuyuki, ISHIDA Akimasa, HAMAKAWA Michiru, TAMAKOSHI Koji, **ISHIDA Kazuto**

Treadmill running improves motor function and alters dendritic morphology after collagenase-induced intracerebral hemorrhage in rats

39th Annual Meeting of the Society for Neuroscience (Neuroscience 2009), 2009.10 (Chicago, USA)

YAMADA Sumio, SHIMIZU Yuko, KONO Yuji, OKUMURA Hisako, MIYAKE Yoshihiko, IZUMI Toru

The mobilization day during hospitalization predicts 6 minute walking distance in patients with chronic heart failure

第13回日本心不全学会学術集会, 2009.10-11 (福岡)

KONO Yuji, **YAMADA Sumio**, SHIMIZU Yuko, Okumura Hisako, Miyake Yoshihiko, Izumi Toru, PTMaTCH collaborative

The predictive variables of 6 minute walking distance during hospitalization in patients with chronic heart failure

第13回日本心不全学会学術集会, 2009.10-11 (福岡)

河上敬介

シンポジウム: PT による PT のための機能解剖—運動器リハビリテーションへの臨床応用—筋の付着部位の肉眼解剖学的観察とエコーを用いた動的解析による理学療法の検討 (東海北陸理学療法学会誌 25: 66, 2009)

第25回東海北陸理学療法学会大会, 2009.10-11 (岐阜)

森 友洋, 岡元信弥, 鈴木惇也, 伊東佑太, 片岡亮人, 縣 信秀, 宮津真寿美, 河上敬介

筋線維損傷に対する定量的評価方法や評価時期の検討 (東海北陸理学療法学会誌 25: 97, 2009)

第25回東海北陸理学療法学会大会, 2009.10-11 (岐阜)

上田 誠, 相本啓太, 太田 進

足関節背屈制限が歩行時膝関節に及ぼす影響について (東海北陸理学療法学会誌 25: 98, 2009)

第25回東海北陸理学療法学会大会, 2009.10-11 (岐阜)

林 尊弘, 永谷元基, 伊藤 忠, 杉浦一俊, 青木浩代, 林 満彦, 太田 進, 野々村淳, 松本芳樹, 井上真郷, 鈴木伸治

健常者における固有受容器足底板の歩行に対する影響 (東海北陸理学療法学会誌 25: 101, 2009)

第25回東海北陸理学療法学会大会, 2009.10-11 (岐阜)

長谷川隆史, 鈴木重行, 野々垣聡, 田中宏太佳, 元田英一, 内山 靖

不全脊髄損傷者に対する体重免荷トレッドミル歩行による対称性変化 (東海北陸理学療法学会誌 25: 105, 2009)

第25回東海北陸理学療法学会大会, 2009.10-11 (岐阜)

野々垣聡, 長谷川隆史, 内山 靖

CP 児が歩行中の歩幅を増やすにはどのような方略があるか (東海北陸理学療法学会誌 25: 105, 2009)

第25回東海北陸理学療法学会大会, 2009.10-11 (岐阜)

相本啓太, 上田 誠, 太田 進

膝歩き動作における運動特性の解析(東海北陸理学療法学会誌 25: 106, 2009)
第25回東海北陸理学療法学会, 2009.10-11 (岐阜)

里中綾子, 鈴木伸治, 猪田邦雄, 河村守雄
脳性麻痺者の運動処方における RPE の信頼性(東海北陸理学療法学会誌 25: 107, 2009)
第25回東海北陸理学療法学会, 2009.10-11 (岐阜)

澤入豊和, 上村晃寛, 大森 介, 太田 進, 森 弘幸, 森嶋直人
健康成人男性におけるポールウォーキングが呼吸循環応答に及ぼす影響について(東海北陸理学療法学会誌 25: 112, 2009)
第25回東海北陸理学療法学会, 2009.10-11 (岐阜)

牧野恵理子, 林 久恵, 渡井陽子, 林 歩洋, 伊藤 真也, 熊田佳孝, 古橋究一, 島山高伸
下肢外科的血管再建術後の入院長期化に影響を及ぼす因子と術後の有害事象に関する検討
第25回東海北陸理学療法学会, 2009.10-11 (岐阜)

高松泰行, 石田章真, 濱川みちる, 玉越敬悟, 石田和人
脳出血モデルラットに対するトレッドミル走の運動機能改善効果と脳組織に及ぼす影響—神経細胞樹状突起の形態変化に着目した検討—
第25回東海北陸理学療法学会, 2009.10-11 (岐阜)

OKUMURA Takahiro, HIRASHIKI Akihiro, OHSHIMA Kei, SAKAKIBARA Masaki, FUNAHASHI Hidehito, OHSHIMA Satoru, KONO Yuji, TAKESHITA Kyosuke, IZAWA Hideo, **YAMADA Sumio**, YOKOTA Mitsuhiro, MUROHARA Toyoaki
The association between myocardial contractile reserve by dobutamine stress testing and cardiopulmonary exercise testing variables in patients with idiopathic dilated cardiomyopathy
第134回東海・第119回北陸日本循環器学会合同地方会, 2009.11 (名古屋)

OKUMURA Takahiro, HIRASHIKI Akihiro, OHSHIMA Kei, SAKAKIBARA Masaki, FUNAHASHI Hidehito, OHSHIMA Satoru, KONO Yuji, TAKESHITA Kyosuke, IZAWA Hideo, **YAMADA Sumio**, YOKOTA Mitsuhiro, MUROHARA Toyoaki
The association between myocardial contractile reserve by dobutamine stress testing and cardiopulmonary exercise testing variables in patients with idiopathic dilated cardiomyopathy (Circulation 120(18 Suppl.): S549, 2009)
American Heart Association Scientific Sessions 2009, 2009.11 (Orland, USA)

森山善文, 林 久恵
人工炭酸泉全身浴によるリラクゼーション効果への影響
第14回人工炭酸泉研究会, 2009.12 (東京)

牧野恵理子, 林 久恵, 渡井陽子, 川口洋子, 熊田佳孝, 古橋究一
炭酸泉足浴により虚血性潰瘍の治癒が得られなかった一症例
第14回人工炭酸泉研究会, 2009.12 (東京)

[公開講座・講演会]

河上敬介
運動器を三次元で捉えるための解剖観察
第52回大分県理学療法士協会研修会, 2009.2 (大分)

河村守雄
運動プログラムの管理—腰痛症合併の場合—
健康・体力づくり事業財団講演, 2009.2 (日進)

河上敬介

解剖学と理学療法の評価や治療—理学療法士がなぜ解剖学を必要とするか?—(プログラム p 2, 2009)
第10回解剖技術研究・研修会, 2009.3 (岡山)

太田 進

膝の痛みを防ぐコツ
名古屋市健康カレッジ転バン教室, 2009.3 (名古屋)

石田和人

研究の進め方—デザインと基本的統計処理
第19回愛知県理学療法学会大会教育セミナー, 2009.3 (豊橋)

太田 進

知って得するリハビリテーションの豆知識—膝・腰の痛みと姿勢について—
豊橋市シニアリーダー育成事業講演会, 2009.4 (豊橋)

太田 進

要介護者における身体機能の見方とコツ—現場でできる方法—
豊橋市介護支援専門員研修交流会, 2009.5 (豊橋)

河上敬介

自由枠セミナー4 人体解剖学実習と理学療法の融合: 筋の起始停止部位の再確認—運動学視点から筋連結を考える—(理学療法
学 36(1): 209, 2009)
第44回日本理学療法学会大会, 2009.5 (東京)

河村守雄

リハスタッフのための運動器疾患の画像の見方
Genes 講演, 2009.6 (東京)

河村守雄

運動プログラムの管理—腰痛症合併の場合—
健康・体力づくり事業財団講演, 2009.7 (京都)

河村守雄

生活習慣病(成人病)—骨粗鬆症—
健康・体力づくり事業財団講演, 2009.8 (大阪)

林 久恵

透析患者の下肢血流障害に伴う足の問題とその対策
第6回札幌フットケア研究会, 2009.9 (札幌)

加藤智香子

骨粗鬆症について
平成20年度なごや健康カレッジ「転ばん大幸教室」再会教室, 2009.9 (名古屋)

猪田邦雄, 加藤智香子

転倒予防について
平成21年度なごや健康カレッジ「転ばん大幸教室」, 2009.9 (名古屋)

河上敬介

骨格筋の形と触察法—肩関節を中心に—
第2回福岡県理学療法士会北九州支部研修会, 2009.10 (福岡)

鳥橋茂子

科学情報利用法の変遷と研究成果の発表
名古屋大学附属図書館セミナー「学術情報の現在：私の研究生生活から見た学術情報流通」, 2009.10 (名古屋)

河村守雄

リハスタッフのための運動器疾患の画像の見方
Genes 講演, 2009.11 (大阪)

河村守雄

生活習慣病(成人病)—骨粗鬆症—
健康・体力づくり事業財団講演, 2009.11 (名古屋)

河村守雄

運動プログラムの管理—腰痛症合併の場合—
健康・体力づくり事業財団講演, 2009.11 (名古屋)

河村守雄

運動プログラムの管理—変形性関節症合併の場合—
健康・体力づくり事業財団講演, 2009.11 (大阪)

加藤智香子

ロコモティブシンドロームと転倒・骨折予防
平成21年度なごや健康カレッジ「転ばん大幸教室」, 2009.12 (名古屋)

河上敬介

運動器を三次元で捉えるための解剖観察
第57回大分県理学療法士協会研修会, 2009.12 (大分)

河村守雄

運動プログラムの管理—腰痛症合併の場合—
健康・体力づくり事業財団講演, 2009.12 (日進)

河村守雄

運動プログラムの管理—変形性関節症合併の場合—
健康・体力づくり事業財団講演, 2009.12 (日進)

作業療法学専攻

5 作業療法学専攻

[著書]

伊藤恵美

言葉を操る

『幸せな高齢者としての生活』(唐澤かおり, 八田武志編著)ナカニシヤ出版, 2009. pp 37-52

伊藤恵美

余暇の過ごし方

『幸せな高齢者としての生活』(唐澤かおり, 八田武志編著), 2009. pp 193-210

辛島千恵子

インターク面接のコツ—発達障害

『作業療法の面接技術: ストーリーの共有を目指して』(香山明美, 小林正義編)三輪書店, 2009. pp 18-30

辛島千恵子, 麦井直樹

第2章 評価方法 II. 身体能力の評価 5. 表情

『作業療法評価学 (作業療法学全書 3)』(生田宗博編)協同医書出版, 2009. pp 91-94

辛島千恵子

第2章 評価方法 III. 発達と評価 10. 社会性の発達と評価

『作業療法評価学 (作業療法学全書 3)』(生田宗博編)協同医書出版, 2009. pp 215-221

美和千尋

第2章 評価方法 V. 精神機能の評価 1. 意欲と行動の機能

『作業療法評価学 (作業療法学全書 3)』(生田宗博編)協同医書出版, 2009. pp 263-275

美和千尋

第2章 評価方法 V. 精神機能の評価 2. 行動の制御機能

『作業療法評価学 (作業療法学全書 3)』(生田宗博編)協同医書出版, 2009. pp 275-282

[原著論文]

星野藍子, 鈴木國文

就労体験プログラムにおける統合失調症患者の障害特徴と支援

作業療法 28(6): 646-656, 2009

HASEGAWA Junko, **HOSHIYAMA Minoru**

Attention deficits of patients with chronic-stage traumatic brain injury: a behavioral study involving a dual visuo-spatial task

J Clin Exp Neuropsychol 31(3): 292-301, 2009

NAKATA Hiroki, SAKAMOTO Kiwako, HONDA Yukiko, MOCHIZUKI Hideki, **HOSHIYAMA Minoru**, KAKIGI Ryusuke

Centrifugal modulation of human LEP components to a task-relevant noxious stimulation triggering voluntary movement

Neuroimage 45(1): 129-142, 2009

NAKATA Hiroki, SAKAMOTO Kiwako, INUI Koji, **HOSHIYAMA Minoru**, KAKIGI Ryusuke

The characteristics of no-go potentials with intraepidermal stimulation

Neuroreport 20(13): 1149-1154, 2009

JOMORI Izumi, **HOSHIYAMA Minoru**

Auditory brain response modified by temporal deviation of language rhythm: an auditory event-related potential study
Neurosci Res 65(2): 187-193, 2009

八田武俊, 八田純子, 岩原昭彦, 永原直子, **伊藤恵美**

年齢による化粧行動と自意識
人間環境学研究 7(1): 61-66, 2009

堀田千絵, **伊藤恵美**, 岩原昭彦, 永原直子, 八田武俊, 八田純子, 八田武志

ネガティブな記憶の忘却に伴う主観的経過時間と精神的健康との関連—加齢による影響の検討—
人間環境学研究 7(2): 143-149, 2009

辛島千恵子

知的障害児・者の作業療法のエビデンスとノーマライゼーションの具現化—国内外の文献レビューから
作業療法ジャーナル 43(5): 445-451, 2009

辛島千恵子

情動的コミュニケーションを基盤にした働きかけと現象学的分析—自閉症児の志向性から作業療法の成果を問う
小児保健研究 68(6): 681-691, 2009

KEINO Hiromi, KEINO Hiroomi, **MIWA Chihiro**, KAWAKITA Kenji, HOSOKAWA Masanori, FUNAHASHI Atsushi

Facilitation of social and interpersonal behaviors of children with pervasive developmental disorders through psycho-educational horseback riding
J Animal-Assis Edu Therapy (Nihon Dobutu Kaizai Kyoiku Ryohogaku Zassi) 1(1-2): 1-8, 2009

KEINO Hiromi, FUNAHASHI Atsushi, KEINO Hiroomi, **MIWA Chihiro**, HOSOKAWA Masanori, HAYASHI Yoshihiro, KAWAKITA Kenji

Psycho-educational horseback riding to facilitate communication ability of children with pervasive developmental disorders
J Equine Sci 20(4): 79-88, 2009

大山香織, **美和千尋**

老人保健施設通所リハビリ者を対象とした人形劇と紙芝居の反応の違い
愛知作業療法 17: 3-8, 2009

田中紀行, 杉村公也, 島崎博也, 出口 晃, 鈴木恵理, 川村陽一, **美和千尋**, 白石成明

足浴による温熱作用が健常成人の運動機能に与える影響—性差による足浴温熱効果の特徴—
日本温泉気候物理医学会雑誌 72(2): 141-147, 2009

美和千尋, 島崎博也, 田中紀行, 出口 晃, 鈴木恵理, 杉村公也, 川村陽一

足浴が健常高齢者の脳循環状態と認知機能に及ぼす影響
日本温泉気候物理医学会雑誌 72(4): 250-255, 2009

[総説・解説・その他]

辛島千恵子, 杉本由美子

作業療法と特別支援教育—待ちに待った、この時代
作業療法 28(5): 489-499, 2009

船橋吉美, **辛島千恵子**

児、教師、母親、作業療法士をつなぐトータルコンタクトクッション—特別支援教育の先駆けとして

作業療法 28(5): 504-509, 2009

中村俊彦, 片桐有紀, 辛島千恵子

成人期における福祉施設での作業療法—金銭管理および性的関心に焦点を当てた調査を参考に
作業療法ジャーナル 43(5): 439-443, 2009

立松麻記子, 美和千尋

急性期医療機関からみた精神科デイケアとの連携のあり方—急性期治療病棟での短期間の治療後に必要とされる精神科デイ
ケアのあり方
作業療法ジャーナル 43(6): 529-533, 2009

辛島千恵子

食べない子への対応
発達教育 28(5): 4-7, 2009

鈴木國文

精神医学における近代 (la modernité) と神経症概念
精神医学史研究 13(1): 54-60, 2009

鈴木國文

陽性転移、陰性転移 (精神療法・心理社会療法ガイドライン)
精神科治療学 24(増刊): 16-17, 2009

鈴木國文

統合失調症の作業療法 (精神療法・心理社会療法ガイドライン)
精神科治療学 24(増刊): 170-171, 2009

奈良間美保, 榊原久孝, 鈴木重行, 鈴木國文, 浅野みどり, 玉腰浩司, 山田純生, 河村守雄, 堀 容子, 會田信子, 石田和人,
清水英樹, 林 久恵, 大西文二
大学院教育改革支援プログラム「専攻横断型の包括的保健医療職の育成」の取組み
日本看護医療学会雑誌 11(1): 1-5, 2009

鈴木國文

フランス精神医学の中の精神分析—受容と変容
臨床精神病理 30(1): 28-39, 2009

鈴木國文

「解離」概念とアスペルガー障害
臨床精神医学 38(10): 1485-1490, 2009

[科研費・班研究等]

伊藤恵美, 寶珠山稔, 美和千尋, 清水英樹, 上村純一, 後藤真也

スモン患者の QOL とその向上への支援
平成20年度厚生科学研究費補助金 (特定疾患対策研究事業) スモンに関する調査研究班総括・分担研究報告書, 2009

[学会発表]

辛島千恵子

特別講演: 発達障害をもつ子どもと成人、家族のための ADL

日本小児科系学会東海地区大会, 2009.1 (名古屋)

森口 歩, 平松敦子, 桑原美喜, 中野由起子, 福井絵理, 河合伸哉, 清水英樹

当院の作業療法士による浴動評価の現状(抄録集 p 186, 2009)

第13回全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会研究大会, 2009.2 (大阪)

石川智子, 小嶋輝久, 山内貴宏, 清水英樹

歩行関連動作の着目ポイント伝達による病棟スタッフの視点と対応の変化(抄録集 p 206, 2009)

第13回全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会研究大会, 2009.2 (大阪)

山本智世, 井澤諭子, 井手窪俊一, 小林靖幸, 清水英樹

当院における脳卒中患者の病棟介助歩行開始時期とその後のADLへの効果—臨床経験年数による相違—(抄録集 p 245, 2009)

第13回全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会研究大会, 2009.2 (大阪)

星野藍子, 鈴木國文

就労体験プログラムにおける統合失調症患者の障害特徴と支援(抄録集)

第28回日本社会精神医学会, 2009.2 (宇都宮)

鈴木國文

精神科医療における言語の問題—自立支援法の時代に

第28回日本社会精神医学会, 2009.2 (宇都宮)

中川与四郎, 鈴木國文

統合失調症者への訪問看護に作業療法士が参加する意義

第28回日本社会精神医学会, 2009.2 (宇都宮)

佐藤雅城, 美和千尋, 出口 晃, 川村憲市, 杉村公也, 鈴木恵理, 前田一範, 田中紀行, 島崎博也, 川村陽一

温泉足浴、人工炭酸泉足浴、温水足浴による下肢血流の比較(プログラム・抄録集 p 88, 2009)

第74回日本温泉気候物理医学会総会, 2009.5 (つくば)

島崎博也, 美和千尋, 川村陽一, 杉村公也, 出口 晃, 鈴木恵理, 岩崎 靖, 佐藤雅城, 川村憲市, 田中紀行

足浴が高齢者における脳酸素摂取量および認知機能に及ぼす影響(プログラム・抄録集 p 89, 2009)

第74回日本温泉気候物理医学会総会, 2009.5 (つくば)

田中紀行, 島崎博也, 出口 晃, 鈴木恵理, 川村陽一, 杉村公也, 美和千尋

随意運動介助型電気刺激装置の膝伸展不全に対する効果(プログラム・抄録集 p 102, 2009)

第74回日本温泉気候物理医学会総会, 2009.5 (つくば)

美和千尋, 高木博司, 横山 登, 田中紀行, 島崎博也, 出口 晃, 杉村公也, 鈴木恵理, 川村陽一

うたせ湯が筋血流量、筋硬度、深部体温および心理的变化に及ぼす影響(プログラム・抄録集 p 117, 2009)

第74回日本温泉気候物理医学会総会, 2009.5 (つくば)

鈴木國文

黎明期・浸透期の写真家たち

第56回日本病跡学会, 2009.6 (名古屋)

新井友里, 灘 雄介, 辛島千恵子

「やった、出来たね」で発揮される力を見つけ、育てるOT：重症心身障害児・者施設における「もの作り」活動の実践(第2報)

(抄録集 C6- III -5, 2009)

第43回日本作業療法学会, 2009.6 (郡山)

伊藤恵美, 美和千尋, 寶珠山稔, 清水英樹, 上村純一
スモン患者の QOL 向上に向けての支援 (抄録集 (CD) D5-11-1, 2009)
第43回日本作業療法学会, 2009.6 (郡山)

金樹亜美, 伊藤恵美
住宅改造に対する作業療法士の意識と現状 (抄録集 (CD) E2-III-2, 2009)
第43回日本作業療法学会, 2009.6 (郡山)

美和千尋, 伊藤恵美, 清水英樹, 寶珠山稔
スモン患者による転倒チェックリストからみた転倒要因 (抄録集 (CD) A2-1-5, 2009)
第43回日本作業療法学会, 2009.6 (郡山)

立松麻記子, 林 昌吾, 森寺すみ子, 美和千尋
多職種によるリハビリテーション委員会の効果と留意点 (抄録集 (CD) D2-111-6, 2009)
第43回日本作業療法学会, 2009.6 (郡山)

小西一馬, 立松麻記子, 森 和輝, 美和千尋
就労支援プログラム参加者の転帰 (抄録集 (CD) E6-1-5, 2009)
第43回日本作業療法学会, 2009.6 (郡山)

SUZUKI Kunifumi

Créativité et modernité dans la société japonaise sur le plan psychiatrique
Colloque Medical Franco-Japonais 2009, 2009.6 (Paris, France)

八田武志, 岩原昭彦, 伊藤恵美, 永原直子
中高年者の高次脳機能と尿漏れについて
第73回日本心理学会大会, 2009.6 (京都)

HATTA Takeshi, IWAHARA Akihiko, **ITO Emi**, NAGAHARA Naoko, NAKAO Masahiro, HONJO Hisashi
Relation between cognitive function and urinary incontinence in healthy community-dwelling middle and elderly people (Abstract p 30, 2009)
International Neuropsychological Society Mid-year Meeting 2009, 2009.7 (Helsinki, Finland)

ITO Emi, HATTA Takeshi, NAGAHARA Naoko, IWAHARA Akihiko
Awareness of memory impairment in middle and old aged community dwellers (Abstract p 31, 2009)
International Neuropsychological Society Mid-year Meeting 2009, 2009.7 (Helsinki, Finland)

Naoko NAGAHARA, Takeshi HATTA, **ITO Emi**, Akihiko IWAHARA
Is the Stroop- Color-Word Test sensitive to cognitive decline in elderly people? (Abstract pp 31-32, 2009)
International Neuropsychological Society Mid-year Meeting 2009, 2009.7 (Helsinki, Finland)

岩原昭彦, 永原直子, 伊藤恵美, 八田武志
中高年者の高次脳機能と生活習慣 (2) 認知的活動が高次脳機能に与える影響
第73回日本心理学会大会, 2009.8 (京都)

鈴木美郷, 浅田妙子, 星野藍子
居場所としてのデイケアで本当にいいのか?—大規模デイケアの取り組みから (抄録集)
第14回日本デイケア学会年次大会, 2009.9 (宜野湾)

丸山 崇, 牧いづみ, 丸山 猛, 小田美咲, 清水英樹

当院の夜間排泄の動作方法・自立度決定における OTR の関わり—現状と問題点—(抄録集 p 171, 2009)
リハビリテーション・ケア合同研究大会広島2009, 2009.10 (広島)

早川裕貴, 中谷 努, 安里まゆみ, 清水英樹
入院中に実施した家屋改修についての追跡調査(抄録集 p 237, 2009)
リハビリテーション・ケア合同研究大会広島2009, 2009.10 (広島)

毛利将平, 鈴木國文, 中川与四朗, 渡部貴史, 星野藍子
成立過程から見た我が国の精神科作業療法—近年の作業療法士の増加から見る作業療法士の役割と背景理論(抄録集)
第13回精神医学史学会, 2009.10-11 (横浜)

鈴木國文

欧米における作業療法の起源(成立過程から見た我が国の精神科作業療法: その5)
第13回精神医学史学会, 2009.10-11 (横浜)

美和千尋, 水口和代, 深谷直美, 磯貝理栄, 富山直輝, 上村純一, 小寫健一, 進藤啓子
愛知県士会現職者共通研修(新人教育プログラム)受講者の意識調査—平成17年度と20年度調査の比較より—(学会誌 p 85,
2009)
第9回東海北陸作業療法学会, 2009.11 (金沢)

上村純一, 西尾周介, 上野菜穂
睡眠障害を呈した高齢期パーキンソン病患者への介入について(抄録集 p 83, 2009)
第9回東海北陸作業療法学会, 2009.11 (金沢)

渡邊浩一, 坂根勇輝, 岡本 梓, 中島恵理子, 金柁亜美, 伊藤恵美
全人工関節置換術施行患者の術前・術後の作業療法—クリニカル・パスと生活動作マニュアルを用いて
第29回近畿作業療法学会, 2009.11 (京都)

後藤有紗, 内藤小百合, 星野藍子
作業療法士が地域で活動していくために—精神障害 CBOT 研究会から見えてきた課題—(抄録集)
第17回日本精神障害者リハビリテーション学会, 2009.11 (郡山)

朝倉起己, 神野なつ美, 鈴木美郷, 並河勇志, 星野藍子, 山田純栄
精神科デイケアにおける作業療法士の役割と視点—精神障害 CBOT 研究会での一考察—(抄録集)
第17回日本精神障害者リハビリテーション学会, 2009.11 (郡山)

〔公開講座・講演会〕

辛島千恵子
発達障害をもつ子どもの生活支援
滋賀県作業療法士会研修会, 2009.2 (草津)

辛島千恵子
子育て支援、生活力をつけることについて
発達協会実践セミナー講座, 2009.7 (東京)

辛島千恵子
広汎性発達障害の家族支援
旭川療育園職員向け実践講座, 2009.8 (岡山)

伊藤恵美

作業療法と名古屋大学医学部保健学科作業療法学専攻について
岐阜県立加納高校, 2009.9 (岐阜)

辛島千恵子

広汎性発達障害の作業療法
旭川療育園職員向け実践講座, 2009.9 (岡山)

辛島千恵子

発達障害児のライフステージにそった作業療法
作業療法士協会公開講座, 2009.12 (東京)

編 集 後 記

名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報第13巻を発刊いたしました。平成21年度（2009年度）の各専攻の教育・研究活動の報告と保健学科の公開講座、2009年（1月から12月）の各教員の教育・研究業績を掲載しました。

第1巻から第13巻までの業績は以下の通りです。

| | 第1巻 (1997年) | 第2巻 (1998年) | 第3巻 (1999年) | 第4巻 (2000年) | 第5巻 (2001年) | 第6巻 (2002年) | 第7巻 (2003年) | 第8巻 (2004年) | 第9巻 (2005年) | 第10巻 (2006年) | 第11巻 (2007年) | 第12巻 (2008年) | 第13巻 (2009年) |
|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 著書 | 17 | 39 | 55 | 56 | 38 | 33 | 74 | 70 | 90 | 100 | 107 | 83 | 107 |
| 原著論文 | 58 | 123 | 141 | 163 | 137 | 175 | 138 | 156 | 153 | 219 | 157 | 143 | 157 |
| 総説・解説・その他 | 64 | 61 | 92 | 106 | 58 | 76 | 81 | 39 | 98 | 100 | 86 | 102 | 117 |
| 科研費・班研究 | 6 | 12 | 10 | 26 | 23 | 19 | 28 | 27 | 30 | 34 | 31 | 25 | 24 |
| その他印刷物等 | 10 | 14 | 26 | 18 | 13 | 9 | 20 | 20 | 11 | 18 | 14 | 17 | 10 |
| 学会発表 | 115 | 173 | 252 | 268 | 246 | 287 | 341 | 376 | 380 | 380 | 418 | 446 | 480 |
| 公開講座・講演会 | 45 | 73 | 96 | 102 | 70 | 72 | 86 | 99 | 85 | 78 | 102 | 90 | 81 |
| 計 | 315 | 495 | 672 | 739 | 585 | 671 | 768 | 787 | 847 | 929 | 915 | 906 | 976 |

第1巻からの業績数の推移をみますと、全体として多くの項目で増加傾向を示しております。2009年は、著書、総説・解説・その他、学会発表は過去最大の業績数となりました。本年報が自己点検・外部評価の一つの指標となり、今後の保健学科における教育・研究のさらなる発展に寄与していくことを願っています。

これまでの保健学科教育・研究年報は今年度で発行が終了となります。保健学科教育・研究年報は平成10年度の保健学科発足を機に、それまで10巻にわたって発行してきた名古屋大学医療技術短期大学部紀要に代わるものとして刊行が開始されました。教員が自己評価・自己点検を定期的に行うためのみならず、学際的な研究の足がかりとすることや、学内・関連施設・他学保健学科への広報活動を果たすことを目的とした発刊でした。以後、平成14年度の大学院博士課程前期課程設置、平成16年度の後後期課程設置など、保健学科の歩みに沿って充実していく教育・研究活動を記録にとどめてまいりました。その12年の間には年報様式にも変化があり、冊子体での刊行・配布は第8巻をもって終了し、以後はインターネット上でのPDF版公開のみとなりました。

来年度からは、保健学科ホームページや教員プロフィールを機能的にシステム化することで、これまで年報に掲載されていた各専攻ならびに教員の教育・研究業績をより閲覧しやすい方法で公開するよう予定されています。本年報の終了も時代とともに成長し続ける保健学科の一過程と受け止めて頂ければ幸いです。

最後に、これまで本年報の編集作業にご尽力を頂いた保健学情報掛の職員の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成23年3月
年報編集委員長 河野由理

年報編集委員

| | |
|-----------|------|
| 看護学専攻 | 河野由理 |
| 放射線技術科学専攻 | 磯田治夫 |
| 検査技術科学専攻 | 石川哲也 |
| 理学療法学専攻 | 太田 進 |
| 作業療法学専攻 | 浅野京子 |

名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報 第13巻

2011年3月15日 発行

発 行 名古屋大学医学部保健学科

〒461-8673 名古屋市東区大幸南一丁目1番20号

TEL(052)719-1504

印 刷 (株)荒川印刷

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目16番38号

TEL(052)262-1006 (代表)
